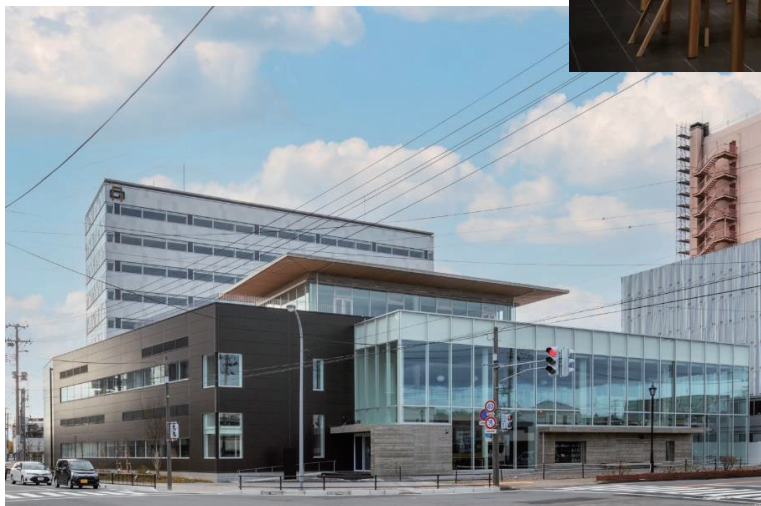


令和3年度

酒田の教育



酒田駅前交流拠点「ミライニ」は、
令和2年11月に一部先行オープンしました。(写真下)
令和4年春には、市立図書館がミライニに移転予定です。(写真上)

酒田市教育委員会

目 次

酒田市教育等に関する施策の大綱	1
酒田市の教育目標	2
教育委員会各計画概要（体系図）及び成果指標等	
第2期酒田市教育振興基本計画体系図及び成果指標	5
酒田市生涯学習推進計画 生涯学習施策の体系図及び成果指標	11
酒田市文化芸術推進計画体系図及び目標数値・実績	13
酒田市スポーツ推進計画施策体系及び基本目標・数値目標	15
第3次酒田市子ども読書活動推進計画概要及び目標数値・実績	17
令和3年度教育委員会の主要施策	
令和3年度当初予算主要事業等一覧	20
令和3年度 各課等所管別主要施策	
令和3年度当初予算の概要	27
・企画管理課	28
・学校教育課	31
・社会教育文化課	35
・スポーツ振興課	38
・図書館	40
令和3年度 予算資料（抜粋）	41
資料編	64
教育長及び委員	
職員の配置状況	
令和元年度の教育費予算等	
教育施設一覧表	
児童・生徒数等の推移	
特別支援教育	
小中学生の体位	
社会教育施設・スポーツ施設の利用状況	
市立図書館蔵書	
酒田市の指定文化財状況	
酒田市教育のあゆみ	
酒田市立小中学校の移り変わり	

酒田市教育等に関する施策の大綱

策定 平成 27 年 6 月 23 日 改訂 平成 30 年 10 月 1 日

対象期間：平成 30 年度から令和 4 年度までの 5 年間

1 新しい時代に必要となる人間力の育成と公益の心を育む教育の推進

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育み、一人ひとりの可能性を高めるとともに、自ら学び、自ら考え、自立した一人の人間として、新しい時代を力強く生きていくための総合的な力を育てます。いのちを大切にし、他を思いやり、社会のために役立とうとする公益の心を育みます。

2 ふるさと酒田に誇りと愛着を持ち続け、地域社会に貢献できる人材の育成

先人から受け継いできた歴史、伝統、文化、自然などを活用した様々な体験活動・交流活動を通して、いつまでもふるさと酒田に誇りと愛着を持ち続け、地域社会に貢献できる人を育てます。市民が地域を知り、学び、成長する場として、人が集い、交流する拠点づくりを進めます。

3 安全・安心でより良い教育環境の整備と活力ある学校づくりの推進

安全・安心を確保しつつ、より良い教育環境・学習環境の整備を推進します。特に、児童生徒数の減少が見込まれる中においても、豊かに学び合える活力ある学校づくりを進めます。

4 家庭、学校、地域、産業界の協働による地域活性化の推進

人口減少社会が抱える様々な課題の克服に向け、家庭、学校、地域、産業界がそれぞれの教育力を発揮し、協働して健全で活力あふれる地域社会づくりを推進します。幼児教育から高等教育までの教育機関が連携し、これからの社会を担い、地域産業へ貢献し、国際的に活躍する人材の育成を進めます。

5 一人ひとりが健康で、楽しく、生きがいを持ち続けられる生涯学習、生涯スポーツの推進

健康でいきいきと充実した生活を送り、生涯学び続けることができる環境づくりを進め、地域社会への自立的な参画を推進します。「する」「みる」「ささえる」スポーツを通して、生涯にわたりスポーツに親しむ取り組みを進めます。

6 酒田らしさの創造につながる文化芸術の推進と歴史・文化遺産の保存と活用

文化芸術の力でまちの魅力を磨き、自由で多様性を認め合う心豊かな生活が送れるよう、人が輝くまち酒田の創造に向けた取り組みを進めます。地域の貴重な歴史、文化遺産、民俗芸能など市民共有の財産として保存活用します。

酒田市の教育目標

第1期酒田市教育振興基本計画では、「すべての人がそれぞれに持つ多様な個性と特性を尊重し、自主的精神に充ち、時代の変化に主体的に対応できる人間の育成」「一人ひとりが資質と人格を磨きつつ、他人への思いやりの気持ちを持ちながら行動し、たくましく、創造力に富み、地域社会や国際社会に貢献する人間を育む」を理念に3つの教育目標を示しました。

第2期酒田市教育振興基本計画においてもこれらの理念を受け継ぎ、第2章で示した現状を踏まえつつ、「酒田市教育等に関する施策の大綱」に掲げた、酒田の人づくりの象徴である「公益の心」を育むため、目標として次のとおり掲げます。

学び合い ともに生きる 公益のまち酒田の人づくり

夢や目的に向かって主体的に学ぶことは、明るく活力のある町づくりに欠かすことができません。学び「合う」ことで、さらに人とのかかわりや、協力し合うことの重要性を学ぶことにつながるとともに、課題解決に向けた力が育まれます。

それぞれが持つ「多様性」を受け入れ、ともに生きていく「共生社会」の実現を目指すものです。

江戸時代において酒田の豪商であった本間家の三代当主本間光丘は、全国長者番付にその名を連ねる大富豪でありましたが、利益を上げるだけでなく、酒田の街を飛砂の害から守るため私費を投じて砂防林の造成を行ったことをはじめ、公共福祉への寄進や飢饉時の救済奉仕など、酒田の人々全体の公益の向上に尽力しました。令和の時代になっても、私たちには光丘のような公共の利益を大切にする心が重要であり、こうした心を「公益の心」と捉え、明日の酒田をひらく人材を育むことを目指すものです。

【目指す人間像】

第2期酒田市教育振興基本計画では、教育目標『学び合い ともに生きる 公益のまち酒田の人づくり』の実現に向け、「目指す人間像」を次のとおり掲げます。

自ら学び、考え、 時代の変化に対応できるたくましい人

学び を生かす人

多くの職種が人工知能により代替されるといわれている社会状況にあっても、ICT を主体的に使いこなす能力だけでなく、未知の状況にも対応できる「思考力」「判断力」「表現力」や人間ならではの「創造性」は普遍的に重要です。

変化が激しい社会を生き抜くため、市民一人ひとりが生涯にわたって質の高い学びを重ね、様々な課題に対応するため主体的に判断し、未来に向かって創造的に考え行動できる力を育んでいきます。

自分と他の人を大切にし、 多様性を認め支え合う人

自他を 尊重 する人

自分と他者、生き方や価値観、置かれている環境の違いを互いに尊重し合い、一人ひとりが自立しながらそれぞれが補い合うことで、共に高め合い、障がいのある人もない人も、男女の区別なく、人種や文化の違いなどを越えて、共に学び共に活躍できる共生社会を実現する人物を育みます。

ふるさとの自然・歴史・文化を愛し、 公益の心でこれからの社会を担う人

ふるさと を担う人

酒田は江戸時代から明治中期まで湊町として栄え、そこに育まれた文化が今でも地域に根付いています。それは、この地の恵まれた自然と公益の心をもった先人の努力によって創り上げてきたものでもあります。

グローバル化が進む現代だからこそ、時間をかけて築かれた地域のよさを愛し、地域コミュニティや各団体、企業とのつながりを大事にして、協働で酒田の未来を創る担い手となる人を育んでいきます。

教育委員会 各計画概要（体系図）
及び成果指標等

第2期酒田市教育振興基本計画 体系図

教育目標

学び合い ともに生きる
公益のまち酒田の人づくり

目指す人間像

自ら学び、考え、
時代の変化に対応できるたくましい人
自分と他の人を大切にし、
多様性を認め支え合う人
ふるさとの自然・歴史・文化を愛し、
公益の心でこれからの社会を担う人

基本方針

<基本方針Ⅰ>
「いのち」の大切さを学ぶ教育を推進する

<基本方針Ⅱ>
豊かな心と健やかな体を育成する

<基本方針Ⅲ>
社会の変化に対応できる確かな学力を育成する

<基本方針Ⅳ>
特別なニーズに対応した教育を推進する

<基本方針Ⅴ>
安全・安心で快適な教育環境づくりを推進する

<基本方針Ⅵ>
ふるさとを愛し、地域の担い手となる心を育成する

<基本方針Ⅶ>
活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める

<基本方針Ⅷ>
人生100年時代を見据えた学びを推進する

<基本方針Ⅷ>
文化芸術による自由で多様性を認める心豊かな市民生活を築き上げる

<基本方針Ⅹ>
スポーツによる健康な市民生活と魅力あるまちづくりを推進する

<基本方針Ⅺ>
市民の心を豊かにする「知」の拠点 図書館機能を拡充する

主要施策

1 「いのちの教育」の推進

2 思いやりの心と規範意識の育成

3 豊かな心の育成

4 健やかな体の育成

5 確かな学力の育成

6 変化に対応し、社会で自立できる力の育成

7 勤労観・職業観の育成

8 特別支援教育の充実

9 教育環境の整備推進

10 信頼される学校、地域とともにある学校づくりの推進

11 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進

12 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

13 人生をマルチステージと捉えた生涯学習の推進

14 豊かな人間性を育む文化芸術活動の推進

15 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進

16 図書館の持つ様々な機能を拡充

施策

(1) 自尊感情・自己有用感を育む教育の推進
(2) 防災教育・安全教育の推進

(1) 生徒持参物の充実
(2) 小中一貫教育の推進（後編）
(3) 道徳教育と人権教育の充実
(4) いじめ防止に向けた取組みの推進
(5) 学校の相談支援体制の充実

(1) 学校における体験学習と交流体験の推進
(2) 読書活動の推進
(3) 幼児教育との連携

(1) 健康教育の推進
(2) 基礎的運動能力の向上
(3) 食育の推進
(4) 安全・安心な学校給食の提供

(1) 学力向上対策の充実
(2) 小中一貫教育の推進

(1) 情報活用能力の育成とICT環境の整備
(2) 外国語教育の充実
(3) 環境教育の推進
(4) 理科教育・「ものづくり」の推進
(5) 主権者教育・消費者教育の推進

(1) キャリア教育の充実

(1) 共生社会の形成を目指した理解・啓発の推進
(2) 切れ目のない支援に向けた関係機関と連携
(3) 特別支援教育支援体制の充実

(1) 学校施設の整備推進
(2) 学校環境の適正化の推進
(3) 通学の安全確保
(4) 学びのセーフティネットの充実
(5) 私立学校等の確保
(6) 学校における働き方改革の推進

(1) コミュニティ・スクールや地域学校
協働活動の推進
(2) 教職員研修等の充実

(1) ふるさと教育の推進
(2) 文化財等の保存・継承と活用
(3) 地域における伝統文化の保存と活用

(1) 家庭教育の支援
(2) 地域教育力の向上
(3) 地域産業界、高等教育機関等との連携
(4) 青少年指導活動の推進

(1) 生涯学習の推進

(1) 文化芸術活動の推進

(1) 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進
(2) 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進
(3) スポーツによる賑わいとまちづくりの推進
(4) 安全安心なスポーツ活動のための環境整備

(1) 図書館サービスの拡充
(2) 酒田駅前交流拠点施設「ライニ」の利用推進
(3) 光丘文庫の機能拡充
(4) 子どもの読書活動の推進

○第2期酒田市教育振興基本計画成果指標

基本方針Ⅰ 「いのち」の大切さを学ぶ教育を推進する

主要施策1 「いのちの教育」の推進

施策（1）自尊心・自己有用感を育む教育の推進

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合	小6： 77.9 % 中3： 70.7 %	小6： 80 % 中3： 75 %

施策（2）防災教育・安全教育の推進

KPI	現状値(R2)	指標値(R6)
学校管理下における事故災害で負傷する児童生徒の割合	9.9%	8.0 %未満

主要施策2 思いやりの心と規範意識の育成

施策（1）生徒指導の充実

KPI	現状値(R2)	指標値(R6)
Q-Uアンケートにおける「学級満足群」の割合	小 62.0 % 中 65.7 %	小中ともに80 %以上
学校のきまり（規則）を守っている児童生徒の割合	小6：93.5 % (R1) 中3：94.5 % (R1)	小中ともに100 %に近づける

施策（4）いじめ防止に向けた取組みの推進

KPI	現状値(R2)	指標値(R6)
Q-Uアンケートにおける「侵害行為認知群」と「不満満足群」の割合	小：16.3 % 中：17.0 %	小中ともに15 %未満
いじめの認知件数に占める、いじめが解消しているものの割合	小： 80.1 % 中： 84.7 %	小中ともに100 %に近づける

基本方針Ⅱ 豊かな心と健やかな体を育成する

主要施策3 豊かな心の育成

施策（1）学校における体験学習と交流体験の推進

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
「自然体験学習」参加児童満足度	96%	100%
「少年の翼」参加児童満足度	100%	100%
「はばたき」参加生徒満足度	100%	100%

施策（2）読書活動の推進

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
学校図書室貸出冊数 (1人当たり月平均)	小：10.0 冊 中： 0.9 冊	小：12 冊 中： 2 冊
読書が好きな児童生徒の割合	小：81.3 % 中：72.6 %	小：90 % 中：80 %

主要施策4 健やかな体の育成

施策(1) 健康教育の推進

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
運動をすることが好きな児童生徒の割合	小5男子：94.2% 小5女子：91.5% 中2男子：88.7% 中2女子：83.3%	小5男子 95% 小5女子 95% 中2男子 90% 中2女子 90%
50m走の平均タイム	小5男子：9.58秒 小5女子：9.70秒 中2男子：8.05秒 中2女子：8.72秒	その年度の全国平均以上

施策(3) 食育の推進

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
栄養教諭等の巡回指導回数	86回	増加させる
地元産食材の利用率	小学校 75% 中学校 72%	増加させる

基本方針Ⅲ 社会の変化に対応できる確かな学力を育成する

主要施策5 確かな学力の育成

施策(1) 学力向上対策の充実

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
全国学力・学習状況調査で正答率が全国平均以上の科目数	5科目中 1科目	全科目
国語、算数・数学の勉強が「好き」な児童生徒の割合	小6国語：73.8% 小6算数：60.8% 中3国語：54.7% 中3数学：60.4%	小6国語：80%以上 小6算数：80%以上 中3国語：80%以上 中3数学：80%以上

施策(2) 小中一貫教育の推進

KPI	現状値(R1)	指標値(R6)
近隣の小・中学校と教育課程に関する共通の取組みを行った学校の割合	小：40.9% 中：28.6%	小中ともに100%
学力向上に向けた各中学校区における年度ごとの取組みの達成状況	数値なし	すべての中学校区で達成率100%
生徒指導の充実に向けた各中学校区における年度ごとの取組みの達成状況	数値なし	すべての中学校区で達成率100%

主要施策6 変化に対応し、社会で自立できる力の育成

施策(1) 情報活用能力の育成とICT環境の整備

KPI	現状値(R2)	指標値(R6)
学校におけるICT環境の整備（学校における無線LAN整備率）	2.70%	100%
ICT機器を活用できる教員の割合	小：86% 中：81%	小：100% 中：100%

施策（２）外国語教育の充実

KPI	現状値(R2)	指標値 (R6)
「英語が好き」という児童生徒の割合	小5：80.2% 小6：76.1% (H26 全国 70.9%) 中1：74.1% 中2：56.5% 中3：62.5%	小5：80%以上 小6：80%以上 中1：60%以上 中2：60%以上 中3：60%以上
CEFR※ A1 レベル相当以上の英語力を取得または有すると思われる中学生の割合	26.80%	50%
CEFR B2 レベル相当の英語力のある英語担当教員の割合	21.40%	50%

※ 外国語を学習している人の言語運用能力を客観的に示すための国際標準規格。A1, A2, B1, B2, C1, C2 の6段階に分けられている。

主要施策7 勤労観・職業観の育成

施策（１）キャリア教育の充実

KPI	現状値(R1)	指標値 (R6)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小：86.1% 中：67.3%	小：88% 中：70%
難しいことでも失敗をおそれないで挑戦する児童生徒の割合	小：81.7% 中：69.5%	小：86% 中：74%

基本方針Ⅳ 特別なニーズに対応した教育を推進する

主要施策8 特別支援教育の充実

施策（３）特別支援教育支援体制の充実

KPI	現状値(R2)	指標値 (R6)
障がいのある児童生徒に対する「個別の指導計画」の作成率 (通級による指導、通常の学級)	通級：100% 通常：未実施	通級：100% 通常：100%

基本方針Ⅴ 安全・安心で快適な教育環境づくりを推進する

主要施策9 教育環境の整備推進

施策（１）学校施設の整備推進

KPI	現状値(R2)	指標値 (R6)
トイレ洋式化整備率 (学校数)	小：81.8% 中：57.1%	小：100% 中：100%

施策（６）学校における働き方改革の推進

KPI	現状値(R2)	指標値 (R6)
複数月平均の超過勤務時間が80時間を超える教員数	(調査未実施)	小：0人 中：0人
健康診断時における要精密検査該当者の精密検査の受診率 (教職員)	81.2%	100%

基本方針Ⅵ ふるさとを愛し、地域の担い手となる心を育成する

主要施策 1 1 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進

施策（3）地域における伝統文化の保存と活用

KPI	現状値 (R1)	指標値 (R6)
地域の行事に参加している児童生徒の割合	小：91.1 % 中：77.1 %	小：95 % 中：80 %
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある児童生徒の割合	小：65.8 % 中：47.8 %	小：68 % 中：50 %

基本方針Ⅷ 人生100年時代を見据えた学びを推進する

主要施策 1 3 人生をマルチステージと捉えた生涯学習の推進

施策（1）生涯学習の推進

KPI	現状値	指標値 (R6)
生涯学習活動を行っている市民の割合	H30 65.5 %	70%
地域の行事に参加した市民の割合	H29 51.5 %	60%
生涯学習の成果を地域・まちづくりで生かしたいと思う割合	H30 65.6 %	70%

基本方針Ⅸ 文化芸術による自由で多様性を認める心豊かな市民生活を実現する

主要施策 1 4 豊かな人間性を育む文化芸術活動の推進

施策（1）文化芸術活動の推進

KPI	現状値	指標値 (R6)
文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	R2 35.0 %	60%

基本方針Ⅹ スポーツによる健康な市民生活と魅力あるまちづくりを推進する

主要施策 1 5 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進

施策（1）誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

KPI	現状値	指標値 (R6)
成人の週1回以上のスポーツ実施率	R1 48.8 % ^{※1}	R6 50 % (R11 60 %) ^{※2}
子ども（小学生）のスポーツ実施率	R1 51.4 %	R6 83 % (R11 85 %) ^{※3}
スポーツ行事への参加者数	R1 41,057 人	R6 37,700 人 (R11 38,000 人) ^{※3}

※1 「成人の週1回以上のスポーツ実施率」の現状値は、指標値に含む「散歩、ウォーキング、階段昇降、健康体操やレクリエーションスポーツ（輪投げ、カローリングほか）など、目的意識をもって身体活動をするもの」を含んでいない数値になっています。

※2 R11の指標値は酒田市スポーツ推進計画の数値目標より

※3 数値目標はR3に見直し予定

施策（2）感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

KPI	現状値	指標値 (R6)
国民体育大会への出場種目数	R1 20種目	R6 20種目以上 (R11 20種目以上) [※]

※R11の指標値は酒田市スポーツ推進計画の数値目標より

施策（３）スポーツによる賑わいとまちづくりの推進

KPI	現状値	指標値（R6）
湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口（市外・県外）	R1 1,515 人	R6 1,520 人 (R11 1,600 人) ※

※R11の指標値は酒田市スポーツ推進計画の数値目標より

施策（４）安全安心なスポーツ活動のための環境整備

KPI	現状値	指標値
スポーツ施設の延べ利用者数	R1 687,104 人	R6 764,600 人 (R11 770,000 人) ※

※R11の指標値は酒田市スポーツ推進計画の数値目標より

基本方針Ⅺ 市民の心を豊かにする「知」の拠点 図書館機能を拡充する

主要施策 16 図書館の持つ様々な機能の拡充

施策（１）図書館サービスの拡充

KPI	現状値（R1）	指標値（R6）
人口一人当たりの入館回数	3.17 回	増加させる
人口一人当たりの館外貸出冊数	4.6 冊	増加させる

施策（２）酒田市駅前交流拠点施設ミライニの利用推進

KPI	現状値（R1）	指標値（R6）
年間入館者数	数値なし	40万人

施策（３）光丘文庫の機能拡充

KPI	現状値（R1）	指標値（R6）
光丘文庫デジタルアーカイブ月平均延閲覧者数	981人	増加させる

施策（４）子どもの読書活動の推進

KPI	現状値（R1）	指標値（R6）
子ども（15歳以下）一人当たりの年間貸出冊数	11.9冊	増加させる

生涯学習施策の体系図

生涯学習の柱

I 《学ぶ》

生涯学習の
機会や場の充実

II 《つながる》

生涯学習活動の
支援体制の充実

III 《生かす》

生涯学習の
成果の活用

目指す方向

1 人生100年時代を
見据えた学びの推進

2 生涯学習機会の提供

3 家庭・学校・地域の連携

1 広報・情報提供体制の充実

2 関連施設の利活用

1 学校・大学等との連携の
推進

2 地域活動との連携の推進

3 地域人材の育成

4 公益活動の充実

5 持続可能なまちづくり

施策の展開

(1)全世代型を対象にした事業の充実

(2)乳幼児期を対象にした事業の充実

(3)高齢期を対象にした事業の充実

(1) 各種講座の提供

(2)学習成果の発表の場の確保

(1)家庭教育支援の充実

(2)学校での学びの充実

(3)地域での学びの充実

(4)連携による事業の充実

(1)学習情報発信のあり方

(2)人材の活用と育成

(3)相談体制の充実

(1)利用者ニーズへの対応

(2)生涯学習関連施設の利活用

(1)各種教育機関との連携

(2)学生と市民との学習交流活動の推進

(1)地域の歴史と文化を学ぶ機会の充実

(2)コミュニティ組織の育成・強化

○酒田市生涯学習推進計画成果指標

	成果指標	現状	令和6年度
1	生涯学習活動を行っている市民の割合 ＜学ぶ＞	65.5% 2018(H30)	70%
2	地域の行事に参加した市民の割合 ＜つながる＞	51.5% 2017(H29)	60%
3	生涯学習の成果を地域・まちづくりで生かしたいと思う割合 ＜生かす＞	65.6% 2018(H30)	70%



酒田市文化芸術推進計画 体系図

多様な交流が織りなす湊町文化の創造

【市民文化政策】

(ひとづくり／文化権を保障するもの)
自由で多様性を認める
心豊かな市民生活の実現

【都市文化政策】

(まちづくり／都市発展戦略)
誇りのもてる
酒田らしさの創造

都市文化政策

市民文化政策

1	文化芸術活動を行う環境の整備
2	誰もが文化芸術に親しむことが出来る文化的環境の整備
3	学校教育における文化芸術活動の充実
4	将来の文化芸術の担い手の育成
5	文化芸術活動を支える人材の育成
6	市民との協働・共創による事業展開
7	地域コミュニティとの施策連携による文化的環境づくり
8	文化芸術による国際交流
9	専門性の高い文化の仕掛け人の配置
10	文化芸術による社会包摂
11	文化芸術に関する施策と生涯学習との連携及び強化
12	多様な分野との連携及びネットワークづくり
13	文化財等の地域資源の活用
14	酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出
15	文化施設の活用
16	伝統的な食文化の継承と創造的な食文化の発信
17	観光との連携
18	産業との連携
19	組織体制の強化
20	市民の視点にたった情報発信・広報戦略

【基本的施策を展開するうえで共通する視点】

- 文化芸術による社会の課題解決
- 次代を担う子どもたちを対象にした文化芸術事業の充実（未来への投資）

基本目標

基本的施策

重点的視点

○酒田市文化芸術推進計画の目標数値・実績

基本目標	評価指標	現状値 (令和2年度)	目標値 (令和4年度)
市民文化政策 (ひとつづくり) 自由で多様性を認める 心豊かな市民生活の 実現	文化芸術活動のしやすいまちだと答える市民の割合	35.0%	60%
	文化芸術活動に参加した市民の割合	16.2%	33%
	文化芸術活動の満足度	25.2%	50%
	文化芸術活動を鑑賞した市民の割合	28.8%	43%
	子どもたちの文化芸術に触れる機会に対する満足度	20.7%	37%
都市文化政策 (まちづくり) 誇りのもてる 酒田らしさの創造	文化資源について誇りを持っている市民の割合	53.1%	79%
	多様な分野との連携事業数	教育関係1事業 観光関係1事業 商工関係1事業	多分野との連携 10事業
	文化施設※に行ったことのある市民の割合	市内4施設平均 58.3%	90%

※文化施設とは土門拳記念館、酒田市美術館、本間美術館、酒田市民会館「希望ホール」

酒田市スポーツ推進計画の施策体系

○計画期間：2019年度から2029年度までの11年間

○施策体系

【基本理念】

「する」「みる」「ささえる」～スポーツを楽しみ、健康で魅力あるまち酒田～

【基本目標】

I 誰もが楽しめる
生涯スポーツ

【推進項目】

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、市民誰でも気軽にスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動を楽しむことで、心身の健康の保持増進と健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指します。

II 感動と活力に満ちた
競技スポーツ

- (1) トップアスリートの育成・強化の推進
- (2) 競技スポーツに対する推進体制の充実
- (3) トップレベルのスポーツに触れる機会の創出

全国(世界)レベルで活躍できる選手を継続的に輩出することにより、感動と活力に満ちた競技スポーツの推進を目指します。

III スポーツによる
賑わいとまちづくり

- (1) スポーツツーリズムの推進
- (2) スポーツを通じた地域コミュニティの維持・再生
- (3) ホストタウン登録におけるニュージーランドとの交流

本市には、「湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」や「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」など特色のあるスポーツイベントが根付いています。これらのスポーツイベントを通して、スポーツの持つ力を最大限に活かし、大会やイベントの誘致に向けて山形県スポーツコミッションと連携して賑わいとまちづくりを推進します。

IV 安全安心な
スポーツ活動のための
環境整備

- (1) スポーツ施設の整備等
- (2) スポーツ施設の利用促進
- (3) 安全なスポーツ活動の推進

市民が気軽に安全安心にスポーツ活動を行うとともに、競技力の向上や大会誘致等による交流人口の拡大を図っていくため、市民ニーズに応じた施設の改修・整備を検討します。

また、市民が年間を通して運動・スポーツを行うことができるよう、学校体育施設等の更なる有効活用を検討します。

○酒田市スポーツ推進計画の基本目標・数値目標

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツ

【数値目標】

スポーツ実施率 成人の週1回以上のスポーツ実施率	⇒ 60% (R1: 48.8%)
週3回以上のスポーツ実施率	⇒ 30% (R1: 22.7%)
子ども(小学生)のスポーツ実施率	⇒ 85%※ (R1: 51.4%)
スポーツや運動が好きである子ども(小学生)	⇒ 85% (R1: 67.1%)
スポーツや運動が好きである子ども(中学生)	⇒ 75% (R1: 57.7%)
スポーツや運動が嫌いである子ども(中学生)	⇒ 8% (R1: 6.5%)
スポーツ行事への参加者数	⇒ 38,000人※ (R1: 41,057人)

※ 令和3年度に見直し予定

基本目標Ⅱ 感動と活力に満ちた競技スポーツ

【数値目標】

国民体育大会への出場種目数	⇒ 20種目以上 (R1: 20種目)
---------------	---------------------

基本目標Ⅲ スポーツによる賑わいとまちづくり

【数値目標】

湊酒田つや姫ハーフマラソン大会・みなと酒田トライアスロンおしんレース大会における交流人口(市外・県外)	⇒ 1,600人 (R1: 1,518人)
---	-----------------------

基本目標Ⅳ 安全安心なスポーツ活動のための環境整備

【数値目標】

スポーツ施設の利用者数	⇒ 770,000人 (R1: 687,104人)
-------------	---------------------------

「第3次 酒田市子ども読書活動推進計画」 概要

この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条の規定に基づいて策定された国の基本的な計画（第4次）と、山形県の推進計画（第3次）を基本とし、本市の総合計画、教育振興基本計画（後期）及び他の関連する計画との整合性のもと、市全体の連携を図りながら、「子どもの読書活動」を推進する計画として策定するものです。

【基本方針】

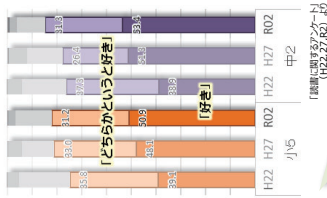
幼少期に身に付けた読書習慣を生涯にわたり継続できるよう支援する

- 1 子どもたちの身近に本があること
- 2 子どもたちの身近に本に親しむ場所があること
- 3 子どもたちの身近にいる大人たちが、子どもと本をつなぐこと

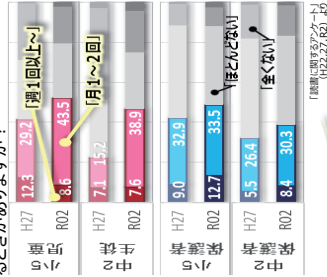
第2次推進計画期間における子どもの読書活動に関する状況等

《主な現状と課題》

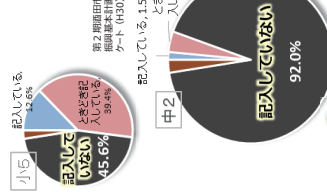
あなたは本を読むことが好きですか？



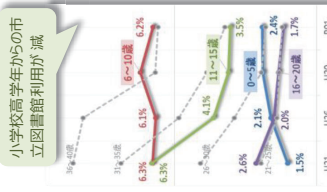
自分や家族が読んだ本の内容など、本に関係のあることで、家族とお話する機会がありますか？



読んだ本について、読書手帳に記入していますか？



市立図書館出人数 (構成比)



分析

- ① 乳幼児期、小学生期の読書習慣形成については、少しずつだが向上傾向。第1次計画でのブックスタート、第2次計画での家読推進の効果が見られる。
- ② 中学生以上への読書への関心を高める施策に手薄感がある
- ③ 第2次計画での重点項目である読書手帳の活用状況について、①のとおり向上しているにもかかわらず、小学校高学年からの利用率が低く、中学生では極端に落ちる

計画改正の主なポイント

- ① 読書習慣の定着のさらなる向上に向けて、第2次計画から推進している発達段階に応じた取り組みを継続推進
 - ・ブックスタート、家読推進、各種講座開催 等
- ② 新図書館の開館を機に、今後利用が増えると思われる中学生、高校生向けのコンテンツ強化
 - ・地域（市立図書館）と学校、学校図書館同士の連携強化
 - ・友だち同士で本を薦め合う機会の増設 等
- ③ 子どもをとりまく社会状況の変化への対応
 - ・ICT機器を活用した読書体験や調べ学習の推進
 - ・読書手帳の対象の見直し、情報端末の活用等新たな方策

「第3次 酒田市子ども読書活動推進計画」 推進のための主な方策

家庭での取り組み

ブックスタート事業 ◇ 継続

- ・赤ちゃんの読み聞かせ教室 ◇ 継続 …ブックスタートのフォローアップ
- ・9か月児健康相談親子ふれあい遊び ◇ 継続 …ブックスタートのフォローアップ

家読推進事業 ◇ 継続

- ・広報の強化 (ペーパー、HP、あらゆる機会での宣伝広報)
- ・読書手帳 …活用促進 (乳幼児向け = 子どもの親向け)
- ・家読講座 …啓発 (子どもの保護者や子どもの読書活動に関わる人向け)

保育園・幼稚園での取り組み

家読推進事業 ◇ 継続

- ・広報の強化 (ペーパー、HP、あらゆる機会での宣伝広報)
- ・読書手帳 …活用促進 (乳幼児向け = 子どもの親向け)

おはなし会・読み聞かせ会 ◇ 継続 …新規ボランティアグループ発足支援
貸出文庫・団体貸出 ◇ 継続

小学校・中学校での取り組み

学校図書館の活用 ◇ 継続・新規

- ・学校図書館と子どもをつなぐ図書専門員の配置日数の拡大で、より使いやす親しみやすい環境に

一斉読書 ◇ 継続

読書手帳 ◇ 一部継続

- ・下学年用は継続活用、小・中学校上・学年及び中学生版については従来の手帳型を見直し、学校図書管理システムの刷新を踏まえ、情報端末を利用した読書記録への移行を視野に入れる。(貸出履歴の活用など)

ICT機器を活用した読書体験や調べ学習の推進 ◇ 新規

- ・1人1台の情報端末を読書活動にも活用。子どもをとりまく社会状況の変化に対応する

学校図書館の整備・充実 ◇ 継続

学校連携 ◇ 継続

貸出文庫・団体貸出 ◇ 継続

市立図書館を中核とした地域全体での取り組み

身近に本のある環境づくり

- ・新図書館オープン (R4) を起爆剤とした、本への興味・関心度の向上
- ・高校生ぶくめ中学生以上を対象とした取り組み (下記参照)

おはなし会・読み聞かせ会 ◇ 継続

各種講座・講演会の開催 ◇ 継続 (親子手作り絵本講座、絵本作家講演会 等)

学校連携 ◇ 継続 (学校司書向け 児童生徒向け)

貸出文庫・団体貸出 ◇ 継続

既存ボランティアグループの活動支援・新規ボランティアグループ発足支援 ◇ 継続

子どもの読書への関心を高める取り組み

図書館を使った調べ学習の推進と講座の開催 ◇ 新規

- ・図書館やインターネットを活用して、学び、調べ、その過程を作品にまとめることで、調べ学習の推進を促すもの。

ピリオパトルの開催、資料提供 ◇ 新規

- ・書評対戦。すでに取り組んでいる学校現場と合同でのイベント開催や、関連資料の提供等。

ふるさとを知る資料や場の提供、情報発信 ◇ 新規

- ・新図書館常設の郷土作家コーナーを拠点としふるさと酒田の自然や文化、人を知る・学ぶ場としての図書館づくり、資料の提供等。

子どもたちが読んだ本をポスター等で紹介・展示するコーナーの設置 ◇ 新規

- ・中高生との連携によるボランティアコーナー運営企画への参加など、自分の読書体験を他者と共有する機会をつくる。

m y 本棚のレビュー機能の活用 ◇ 新規

- ・市立図書館ホームページの新機能。自分が読んだ本の感想等を公開、閲覧することができ、本を読むきっかけづくり。

○第3次酒田市子ども読書活動推進計画の目標数値・実績

施策と数値目標

	施策	目標指標	目標（2次計画） （令和2年度）	実績	目標（3次計画） （令和3～7年度）
1	ブックスタート事業	乳児への読み聞かせをよくする保護者の割合	96 %	93 % （平成30年度）	96 %
2	読書の意義と重要性の広報	1か月にまったく本を読まない児童生徒の割合	小学生 0 % 中学生 0 %	小学生 3.0 % 中学生 7.6 % （令和2年度調査）※参考値	小学生 0 % 中学生 0 %
3	魅力ある学校図書館づくり	学校図書館の児童生徒1人当たりの月間貸出冊数	小学生 10 冊/月 中学生 2 冊/月 （教育振興基本計画(後期)より）	小学生 10.0 冊/月 中学生 0.9 冊/月 （令和元年度）	小学生 12 冊/月 中学生 2 冊/月
4	読書活動の推進	市立図書館の児童図書の間貸出冊数（15歳以下の子ども1人当たり）※1	12.7 冊/年	12.7 冊/年 （平成30年度実績）	増加させる
5	読書離れ世代の読書関心向上	市立図書館の間館外貸出冊数（16～20歳1人当たり）※1、※2		1.8 冊/年 （令和元年度実績）	3.0 冊/年 （新規）
6	家読(うちどく)の推進	家族間で本に関することを話題にする児童・生徒の割合	小学生 70.0 % 中学生 50.0 %	小学生 53.8 % 中学生 46.6 % （令和2年度調査）	小学生 70 % 中学生 50 %

※1 該当年代の貸出数を、市の該当年齢人口で割ったもの

※2 市立図書館の統計の区分が5歳刻みであるため、19歳・20歳の数値も含まれる

令和3年度 教育委員会の主要施策

令和3年度当初予算 主要事業等一覧

I 「いのち」の大切さを学ぶ教育を推進する

1. 「いのち」の教育の推進

No.	事業名	予算額 (単位：千円 以下同じ)	事業概要	担当課
1	子どもの命を守る安全対策事業	2,232	◇「防災教育」等による子どもの命を守る教育の推進 ・子どもの命を守る安全教育推進会議の開催 ・児童生徒への防災教育及び安全教育等 ・教職員対象の防災教育研修会の開催 ・学校防災マニュアルの改善・整備 ・「電子版 酒田防災ハンドブック」の作成 ・安全巡視員の配置 ・見守り隊等への支援 ・安心安全メールの運用 ・救命救急講習会の開催等	学校教育課

2. 思いやりの心と規範意識の育成

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
2	小中一貫教育推進事業	2,139	◇中学校区の実態に即した小中一貫教育の推進 ・推進委員会の開催 ・中学校区ごとの実践と検証	学校教育課
3	教育相談事業	19,917	◇児童生徒の心の問題に関り、生徒指導と教育相談の充実を図る。 ・相談専門員を配置し、個別相談、電話相談（フリーダイヤル）の実施 ・適応指導教室を運営し、不登校児童生徒の指導を実施 ・スクールカウンセラーを配置し、問題行動等に対応する。 ・スクールソーシャルワーカーを配置し、児童生徒の家庭環境等の改善に対応。 ・特別支援教育巡回相談員を派遣し、LD、ADHD等支援が必要な児童生徒や保護者、学校への支援を実施 ・教職員の教育相談に関する理解を深めるため、各種教育相談研修会を開催 ・特別支援教育コーディネーター研修会を開催 ・特別支援学級担当者会を開催 ・ペアレント・トレーニングの実施 ・特別支援教育研修会を開催	学校教育課

II 豊かな心と健やかな体を育成する

3. 豊かな心の育成

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
4	自然体験学習事業	4,233	◇県内唯一の離島である飛島を利用した「飛島いきいき体験スクール」や鳥海高原家族旅行村を基点とした「自然体験学習」を実施し、酒田の自然を体験する。 ・飛島いきいき体験スクール実行委員会を組織し、希望する各学校の4年生又は5年生が飛島ならではの体験学習できるよう支援 ・自然体験学習実行委員会を組織し、希望する各学校の4年生又は5年生が鳥海高原家族旅行村ならではの体験学習できるよう支援	学校教育課
5	「少年の翼」交流事業	3,720	◇沖縄県今帰仁村の小学生との交流を通し、国内の異文化に触れる機会を与え、故郷の良さの再確認を図るとともに、自主性や協調性を育成 ・沖縄県今帰仁村へ小学5、6年生32名を派遣し、自然体験活動や歴史文化体験活動等、沖縄県今帰仁村の小学校の子ども達との交歓会や地元家庭への民泊を実施 ・沖縄県今帰仁村立小学校児童（6学年）36名を受け入れ	交流観光課
6	中学生海外派遣事業 「はばたき」	0	【令和3年度中止】 ◇国際感覚を身につけることを目指し、海外に生徒を派遣 ・中学2年生20名をアメリカ合衆国に派遣し、ホームステイや大都市見学を実施	交流観光課
7	鳥海山・飛島ジオパーク講座開催事業	231	◇鳥海山・飛島ジオパークに関する自然・歴史・文化等について学ぶ機会の提供 ・飛島エリアツアー ・ワンダージオバスツアー ・市民向けジオ講座	社会教育文化課

4. 健やかな体の育成

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
8	スポーツ活動等支援事業	4,808	◇小学校教員の指導力向上を図り、児童の体力・運動能力の向上を推進 ・市内全小学校の参加による陸上競技及び水泳競技記録会を開催 ・小学校中学年に陸上指導のサポーターを派遣 ◇部活動指導員を配置し、教員の負担軽減及び部活動の質的向上を目指す ・中学校における部活動の指導、大会への引率等を行う	学校教育課
9	小学校給食事業 共同調理場管理運営事業 中学校給食事業	395,208 10,647 365,507	◇安心・安全でおいしい給食を提供することにより、児童及び生徒に食事の重要性を理解させるとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせ、自然の恵みや生産者への感謝の心をはぐくむ。 ・学校給食の管理、運営 ・栄養教諭・学校栄養士による巡回指導の実施 ・地元産食材の利用促進 ・食育の日献立の実施（食育だよりの発行）など特色ある献立を提供	企画管理課

Ⅲ 社会の変化に対応できる確かな学力を育成する

5. 確かな学力の育成

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
10	学力向上対策事業	15,135	◇小学校単元研究委嘱、小中授業力向上研修、WEBQUによる「楽しい学校生活を送るためのアンケート」の実施等による学力向上対策の充実 ・「標準学力検査・知能検査」の実施と分析 ・「楽しい学校生活を送るためのアンケート」の実施と分析 ・市内の小中学校に外部講師の指導を受けながら、指導過程の委嘱研究の実施 ・小中学校のつながりを意識した授業改善に向けた実践的な「小中授業力向上研修」の実施 ・読書指導や図書館運営の充実を図るための研修の実施	学校教育課
11	小中一貫教育推進事業（再掲）	2,139	◇中学校区の実態に即した小中一貫教育の推進 ・推進委員会の開催 ・中学校区ごとの実践と検証	学校教育課
12	子ども読書活動推進事業	2,011	◇子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくりに取り組むと共に、家庭での読書活動を推進 ・ブックスタート、乳幼児及び児童と保護者を対象とした各種講座等の開催 ・読み聞かせボランティア講座（ボランティア養成）の開催 ・学校図書館等連携研修会 ・家読だより、中・高校生向け図書リスト配布等による啓発活動 ・読書手帳の活用 ・学校巡回文庫	図書館

6. 変化に対応し、社会で自立できる力の育成

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
13	外国語指導助手招致事業	44,189 (人件費含む)	◇国際理解教育の推進 ・市内各小中学校への外国語指導助手の派遣 ・英語教育コーディネーターの配置	学校教育課
14	理科教育推進事業	1,303	◇理的分野の関心を高めるための観察会や授業に活きる指導研修会を実施 ・野外観察会 ・自由研究相談会 ・星空観察会 ◇優れた科学研究を賞賛し科学への興味関心を高め、より積極的な研究姿勢を育成 ・優れた自由研究作品の表彰と理科研究収録誌「科学する子どもたち」の作成	学校教育課

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
15	GIGAスクール推進事業	36,786	◇児童生徒一人一台パソコンを導入し、GIGAスクール構想を推進 ・w i - f i 通信ネットワークの保守やフィルタリングソフトライセンスの更新 ・学習支援ソフト「interCLASScloud」「eライブラリ」の導入	学校教育課
16	中村ものづくり事業	2,003	◇科学的な原理を応用した「科学・工学系ものづくり」の楽しさを子ども達に体験させることで科学的・技術的な資質の育成を図り、ものづくりに関する教育を推進 ・ものづくり実行委員会が子ども達の科学的・技術的な資質向上を図る各種事業を開催	学校教育課
17	学校ICT環境整備事業	6,094	◇校務支援システムの整備を図り、安全かつ快適な学校ICT環境を構築 ・校務支援システムの新たな機能の追加	学校教育課

7. 勤労観・職業観の育成

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
18	キャリア教育推進事業	1,270	◇将来の夢を育むためのキャリア教育の推進 ・学校提案型のキャリア教育活動の実施	学校教育課
19	中学生職場体験学習推進事業	631	◇キャリア教育の一環として中学生の職場体験学習を実施する ・中学2年生職場体験学習の実施	学校教育課

IV 特別なニーズに対応した教育を推進する

8. 特別支援教育の充実

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
20	教育支援員配置事業	84,225	特別な支援を必要とする児童生徒への対応については、引き続き県内で最大規模となる50名の教育支援員を各小中学校に配置し、一人ひとりのニーズに応じた支援体制の充実に努めます。	学校教育課
21	日本語指導講師等派遣事業	1,242	◇日本語指導講師の派遣 ・日本語でのコミュニケーションが困難な児童生徒に対し、個別に日本語を指導する。 ◇長期入院学習アドバイザーの派遣 ・長期療養が必要な児童生徒に対し、学習支援を行い、退院後の教室復帰の不安を緩和する。	学校教育課

V 安全・安心で快適な教育環境づくりを推進する

9. 教育環境の整備推進

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
22	施設整備事業（小学校）	5,682	◇市内小学校の中規模的な施設・設備の修繕を計画的に更新・改修し、安全で快適な教育環境を整備し教育環境の向上を推進	企画管理課
23	学校トイレ改修事業（中学校）	62,256	◇和式から洋式への取り替え工事、老朽改修工事を行い、教育環境の向上を推進 ・第六中学校トイレ改修工事（一期）（令和2年度から3年度へ繰越）	企画管理課
24	私学振興補助事業	2,100	◇市内の私立高等学校運営の健全化を図り、市内の私学教育の振興を推進 ・市内の私立高等学校に対し、運営費補助金を交付	企画管理課

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
25	学区改編推進事業	253	◇学校規模の適正化の推進 ・学区改編審議会の開催 ・児童生徒数の動きや複式学級編制の見込みなど、子どもを取り巻く教育環境について地域と共有を図るための情報発信 ・適正規模・適正配置に課題のある学区で理解を更に深めるための意見交換会等の開催	企画管理課
26	学校統合事業	2,481	◇田沢小学校が南平田小学校に編入統合するための必要な作業を行う。 ・田沢小学校閉校式の実践 ・南平田小学校への引っ越し	企画管理課
27	大学等修学支援事業	3,040	◇進学を希望する生徒の教育を受ける機会の確保 ・大学等修学に際し修学貸付の利子を補助し、保護者の経済的負担を軽減	企画管理課
28	学校給食施設環境整備事業(小学校) 同上【繰越】(小学校・中学校)	6,050 84,988	◇調理用機器の更新により、調理員の労働環境の改善、調理業務の効率化を図る。 ・老朽化した食器洗浄機の更新 ◇夏季調理業務へ対応するため調理室へのエアコン設置(琢成小外8校、鳥海八幡中)	企画管理課
29	学習バス・スクールバス整備事業	9,773	◇マイクロバス1台新規購入 ・乗車対象人数の見直しにより、平田小学校区を運行	学校教育課

VI ふるさとを愛し、地域の担い手となる心を育成する

11. 郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
30	スクールプログラム実施事業	449	◇ふるさと教育の推進 ・土門拳記念館及び酒田市美術館におけるスクールプログラムを構築し、授業の一環として取り組み、多様性に対応した人材の育成を目指す。	社会教育文化課
31	未来へ受け継ぐ伝統文化はぐくみ事業	1,344	◇地域における伝統文化の保存と活用 ・「民俗芸能公演会(民俗芸能フェスタ)」、「黒森歌舞伎酒田公演」の開催 ・小学校5年生を対象にした狂言ワークショップの開催	社会教育文化課
32	山居倉庫保存活用計画策定事業	4,080	◇文化財等の保存、継承と活用 ・山居倉庫を後世に伝えていくための基本的な計画「山居倉庫保存活用計画」の策定	社会教育文化課
33	【拡充】 史跡旧鑑屋修復事業	69,894	◇文化財等の保存、継承と活用 ・旧鑑屋の屋根の大規模修繕及び耐震補強工事を行う。	社会教育文化課

VII 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める

12. 家庭・学校・地域の連携・協働の推進

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
34	東北公益文科大学連携推進事業	849	◇東北公益文科大学の学生等による小中学生の学習支援の実施 ・中学校の放課後を利用した生徒の学習支援の実施 ・小学生を対象にした夏休み宿題お手伝い教室のサポート ・中学生を対象にした英語講座の開催(講師は東北公益文科大学教員)	企画管理課

Ⅷ 人生100年時代を見据えた学びを推進する

13. 人生をマルチステージと捉えた生涯学習の推進

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
35	生涯学習推進講座開催事業	3,005	◇現代的課題の解決と地域づくりの推進 ・「個人のニーズ」と「社会の要請」の学習機会をバランスよく提供 ・学んだ成果を地域に生かせる学習機会の提供 ・地域・家庭・学校・幼稚園・保育所等と連携した事業の推進	社会教育文化課

Ⅸ 文化芸術による自由で多様性を認める心豊かな市民生活を実現する

14. 豊かな人間性を育む文化芸術活動の推進

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
36	文化芸術推進事業	24,448	◇文化芸術基本条例と文化芸術推進計画に基づいた文化芸術に関する施策の推進 ・各種文化芸術関連事業の実施 ・文化芸術推進審議会の開催	社会教育文化課
37	文化施設長寿命化対策事業	192,278	◇市民会館、土門拳記念館、酒田市美術館の計画的修繕の実施	社会教育文化課
38	庄内文化賞・阿部次郎文化賞顕彰事業	583	◇文化芸術に関して顕著な功績のあった個人・団体を顕彰し、庄内地方の文化芸術の振興に寄与	社会教育文化課
39	土門拳文化賞顕彰事業	1,779	◇国内のアマチュア写真愛好家を対象に優れた作品を顕彰 ・写真コンクール「第26回酒田市土門拳文化賞」の開催 ・土門拳記念館と東京都及び大阪府で、受賞者（土門拳文化賞1名と土門拳文化賞奨励賞3名）の作品展を開催	社会教育文化課
40	市民芸術祭開催事業	2,485	◇市民の文化芸術活動を広く一般に公表し、文化芸術に対する市民の理解と関心を深め、芸術文化団体等の活動を支援 ・「酒田市民芸術祭」を開催	社会教育文化課

Ⅹ スポーツによる健康な市民生活と魅力あるまちづくりを推進する

15. 「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
41	白崎資金スポーツ振興事業	933	◇感動と活力に満ちた競技スポーツの推進 ・小中高・一般の一貫した指導体制の確立と指導者の資質向上を目指し、実技講習や講演会を開催 ・中央研修会・講習会等に派遣し、指導者のレベルアップを推進 ・全国大会等の上位大会に参加し優秀な成績を収めた選手の栄光を称え表彰	スポーツ振興課
42	スポーツ少年団活動事業	3,262	◇誰もが楽しめる生涯スポーツの推進 ・各種大会、他地域との交流活動や体力測定などの各種活動を実施 ・指導者・育成母集団の育成と団活動の円滑な運営を推進するため、各種研修会の開催や派遣等を実施	スポーツ振興課
43	スポーツ振興激励金交付事業	1,930	◇感動と活力に満ちた競技スポーツの推進 ・各種競技大会に出場する団体及び個人を激励 ・地区予選を勝ち抜いた選手で、小学生・中学生は東北大会以上、高校生以上は全国大会に出場する場合に激励金を贈呈	スポーツ振興課
44	スポーツ行事開催事業	16,850	◇誰もが楽しめる生涯スポーツの推進及びスポーツによる賑わいとまちづくりの推進 子どもから一般市民まで、広く市民が参加できる各種スポーツ大会・スポーツ教室を開催し、日常的なスポーツ活動の普及促進を図る ・湊酒田つや姫ハーフマラソン大会 ・市民体育祭 ・巡回駅伝競走大会 ほか	スポーツ振興課

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
45	大会補助事業	1,115	◇感動と活力に満ちた競技スポーツの推進 ・全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会 ・東北総合体育大会（相撲競技） ・武道団体協議会演舞大会 ほか	スポーツ振興課
46	体育施設整備事業	27,307	◇安心安全なスポーツ活動のための環境整備 体育施設の修繕や競技用備品を整備 ・光ヶ丘野球場防球ネット設置工事 ・武道館屋根及び外壁防水改修工事 ・外山キャンプ場赤松ヒュッテ解体工事	スポーツ振興課
47	体育施設照明設備改修事業	3,388	◇安心安全なスポーツ活動のための環境整備 ・経年劣化がみられる体育施設において、劣化状況を調査しながら、順次、計画的にLED化を進める。 ・光ヶ丘野球場の屋外照明設備の調査委託料	スポーツ振興課
48	体育施設耐震改修事業	16,267	◇安心安全なスポーツ活動のための環境整備 耐震診断の結果、耐震改修工事が必要と判断された体育施設について、耐震改修工事を計画的に進めて行く ・八幡体育館の耐震及び長寿命化改修工事の調査手数料・設計委託料	スポーツ振興課
49	国体記念体育館改修事業	72,090	◇安心安全なスポーツ活動のための環境整備 ・建築からおよそ30年が経過する国体記念体育館について、外壁や屋根、設備機器の改修を行うもの ・国体記念体育館の長寿命化改修工事の設計委託料	スポーツ振興課

XI 市民の心を豊かにする「知」の拠点 図書館機能を拡充する

16. 図書館の持つ様々な機能の拡充

No.	事業名	予算額	事業概要	担当課
50	光丘文庫デジタルアーカイブ事業	1,465	◇酒田の歴史を視覚的に学べるコンテンツの拡充 ・県指定文化財「保定記」、「続保定記」（印旛沼古掘場御普請之部）の追加 ・「酒田大震写真図」や「大日本職業別明細図」等の古地図画像の追加 ・電子版「酒田市史年表」の項目追加、修正 ・地元紙「荘内タイムス」（昭和35年～同37年）の電子化	図書館
51	図書館業務電算システム運営事業	18,212	◇図書管理システムを活用した自動貸出、オンライン検索・予約等の機能による利用者の利便性向上 ・図書管理システムの賃貸借及び保守管理 ・書誌データ等の購入	図書館
52	子ども読書活動推進事業（再掲）	2,011	◇子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくりに取り組むと共に、家庭での読書活動を推進 ・ブックスタート、乳幼児及び児童と保護者を対象とした各種講座等の開催 ・読み聞かせボランティア講座（ボランティア養成）の開催 ・学校図書館等連携研修会 ・家読だより、中・高校生向け図書リスト配布等による啓発活動 ・読書手帳の活用 ・学校巡回文庫	図書館
53	酒田コミュニケーションポート（仮称）整備事業	711,817	◇新しい図書館を中核とした公共施設の利用促進 ・酒田駅前交流拠点施設ミライニ（旧・（仮称）酒田市コミュニケーションポート）のグランドオープンに向けた事業調整 ・先行オープン期間中の施設の活用、維持管理 ・複合施設棟B棟等完成に伴う公共施設土地建物購入	図書館

令和 3 年度 各課等所管別主要施策

酒田市教育委員会 令和3年度当初予算の概要

自ら学び、考え、時代の変化に対応できるたくましい人

自分と他の人を大切に、多様性を認め支え合う人

ふるさとの自然・歴史・文化を愛し、公益の心でこれからの社会を担う人

《企画管理課》

- II 豊かな心と健やかな体を育成する
 - 学校給食関連事業【小/共/中】(395,208千円/10,647千円/365,507千円)
- V 安全・安心で快適な教育環境づくりを推進する
 - 学校施設の改修、学習環境整備
 - 学校トイレ改修事業【中】(繰越) (62,256千円)
 - 施設整備事業【小】(5,682千円)
 - 学校給食施設環境整備事業【小】(6,050千円)
 - 同上(繰越)【小/中】(78,811千円/6,177千円)
 - 学校規模の適正化の推進
 - 学校統合事業(2,481千円)
 - 学区改編推進事業(253千円)
 - 教育の機会均等
 - 大学等修学支援事業(3,040千円)
 - 私立学校等の振興
 - 私学振興補助事業(2,100千円)
- VII 活力あるコミュニティ形成に向け、地域の教育力を高める
 - 地域産業界、高等教育機関との連携
 - 東北公益文科大学連携推進事業(849千円)

《スポーツ振興課》

- X スポーツによる健康な市民生活と魅力あるまちづくりを推進する
 - 生涯スポーツ、競技スポーツの推進及びスポーツによる賑わいと街づくりの推進
 - 白崎資金スポーツ振興事業(933千円)
 - スポーツ振興激励金交付事業(1,930千円)
 - スポーツ行事開催事業(16,850千円)
 - ・漆酒田つや姫ハーフマラソン大会、市民体育祭、巡回駅伝等の開催
 - 大会補助事業(1,115千円)
 - スポーツ少年団活動事業(3,262千円)
 - 安心安全なスポーツ環境の整備
 - 体育施設整備事業(65,004千円)
 - ・光ヶ丘野球場、武道館等
 - 体育施設耐震化改修事業(16,267千円)
 - 国体記念体育館改修事業(72,090千円)

《学校教育課》

- I 1人1つの大切さを学ぶ教育を推進する
 - 子どもの「いのち」を守る教育の推進
 - 子どもの命を守る安全対策事業(2,232千円)
 - いじめ・不登校等に対応するための相談支援体制の充実
 - 教育相談事業(19,917千円)
- II 豊かな心と健やかな体を育成する
 - 体験活動、交流活動の推進
 - 自然体験学習事業(4,233千円)
 - 「少年の翼」交流事業(3,720千円)
 - スポーツ活動等支援事業(4,808千円)
- III 社会の変化に対応できる豊かな学力を育成する
 - 単元研究委嘱、小中授業力向上研修等による学力向上対策の充実
 - 学力向上対策事業(15,135千円)
 - 中学校区の実態に即した小中一貫教育の推進
 - 小中一貫教育推進事業(2,139千円)
 - 国際理解教育の推進
 - 外国語指導助手招致事業(44,189千円;人件費含む)
 - 理科教育・「ものづくり」の推進
 - 理科教育推進事業(1,303千円)
 - 中村ものづくり事業(2,003千円)
 - ICT機器の活用
 - 学校ICT環境整備事業(6,094千円)
 - GIGAスクール推進事業(36,786千円)
 - キャリア教育活動の実施
 - キャリア教育推進事業(1,270千円)
 - 中学生職場体験学習推進事業(631千円)
- IV 特別なニーズに対応した教育を推進する
 - 特別なニーズへの支援
 - 教育支援員配置事業(84,225千円)
 - 日本語指導講師等派遣事業(1,242千円)
- V 安全・安心で快適な教育環境づくりを推進する
 - 学習バス・スクールの整備
 - 学習バス・スクールバス整備事業(9,773千円)

《社会教育文化課》

- II 豊かな心と健やかな体を育成する
 - 鳥海山・飛鳥ジョパークに関する自然・歴史・文化等について学ぶ機会の提供
 - 鳥海山・飛鳥ジョパーク講座開催事業(231千円)
- VI ふるさを愛し、地域の担い手となる心を育成する
 - 文化財等の保存と活用
 - 山居高庫保存活用計画策定事業(4,080千円)
 - 史跡旧蹟屋修復事業(69,894千円)
 - 地域における民俗文化財の保存と活用
 - 未来へ受け継ぐ伝統文化はぐくみ事業(1,344千円)
 - ふるさと教育の推進
 - スクールプログラム実施事業(449千円)
- VIII 人生100年時代を見据えた学びを推進する
 - 現代の課題の解決と地域づくりの推進
 - 生涯学習推進講座開催事業(3,005千円)
- IX 文化芸術による自由で多様性を認める心豊かな市民生活を實現する
 - 市民会館、美術館の計画的修繕
 - 文化施設長寿命化対策事業(192,278千円)
 - ・市民会館、土門奉記念館、市美術館の計画的修繕の実施
 - 文化芸術の振興
 - 文化芸術推進事業(24,448千円)
 - ・各種文化芸術関連事業の実施及び文化芸術推進審議会の開催
 - 文化芸術団体等の活動を支援
 - 市民芸術祭開催事業(2,485千円)

《図書館》

- XI 市民の心を豊かにする「和」の拠点図書館機能を拡充する
 - 図書活動の充実、利用者の利便性の向上
 - 図書館業務電算システム運営事業(18,212千円)
 - 新しい図書館を中核とした公共施設の利用促進
 - 酒田コミュニケーションポート(仮称)整備事業(711,817千円)
 - 光丘文庫の機能拡充
 - 光丘文庫デジタルアーカイブ事業(1,465千円)
 - 第3次酒田市子ども読書活動推進計画に基づく読書活動の推進
 - 子ども読書活動推進事業(2,011千円)

企画管理課 主要施策

- 1 **第2期酒田市教育振興基本計画の推進**
 - ・第2期酒田市教育振興基本計画の進行管理のため、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」の方法を検討
- 2 **東北公益文科大学との連携推進**・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **【主要事業等一覧：No.34】**
 - ・東北公益文科大学の持つ知的資源を活用し、通し教育委員会・小中学校と連携した、中学校の放課後を利用した生徒の学習支援などの活動をとおして、協力関係を築く。
- 3 **私立学校の振興**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **【主要事業等一覧：No.24】**
 - ・独自の教育理念のもと本市の教育振興に貢献している私立高等学校を設置する学校法人に対し、運営費補助金を交付し、健全な運営に資する。
- 4 **教育の機会均等**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **【主要事業等一覧：No.27】**
 - ・家庭の経済状況にかかわらず、高等教育機関での修学が確保されるよう、市独自で大学修学等利子補給金を支給し、経済的支援を行うことで子どもたちの教育を受ける機会の確保に資する。
- 5 **教育環境の整備**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **【主要事業等一覧：No.22・No.23・No.28】**
 - ・老朽化している学校の施設・設備の改修・更新等を行い、安全で良好な教育環境の整備や長寿命化を図る。
 - ・施設整備事業（小学校）〔アスベスト（煙突断熱材）対策 封じ込め工事（南平田小）、断熱材劣化度調査（広野小、十坂小）〕
 - ・学校トイレ改修事業〔工事（第六中一期）、工期：6月～1月〕
 - ・調理用機器の更新により、調理員の労働環境の改善、調理業務の効率化を図る。また、小学校9校、中学校1校の調理室にエアコンを整備し、夏季の調理業務に対応する。
- 6 **学校給食・食育の充実**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **【主要事業等一覧：No.9】**
 - ・安心・安全でおいしい給食を提供することにより、児童及び生徒に食事の重要性を理解させるとともに、食に関する正しい知識や望ましい食習慣を身につけさせ、自然の恵みや生産者への感謝の心をはぐくむ。
 - ・学校給食の管理、運営
 - ・栄養教諭・学校栄養士による巡回指導の実施
 - ・地元産食材の利用促進
 - ・食育の日献立の実施（食育だよりの発行）など特色ある献立を提供
- 7 **学校規模の適正化の推進**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **【主要事業等一覧：No.25・No.26】**
 - ・適正規模に課題のある学校（複式学級が編制されている学区、複式学級編制が見込まれる学区）について、地域への情報提供と話し合いを継続的に行い、地域の理解と複式学級の解消を目指して調整を行っていく。
 - ・田沢小学校が南平田小学校に編入統合するための必要な作業を行う。

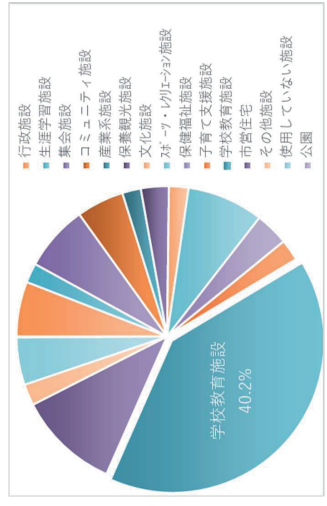
酒田市市学校施設整備方針【概要版】

1 背景・目的等

学校施設は、市が保有する全公共施設面積の約40%の面積を有し、今後集中的に更新時期を迎えようとする一方、少子化による児童生徒の減少と学校規模の小規模化が進み、今後更に進むことが予測されています。これを踏まえ、施設の長寿命化及び学校規模の適正化を進めることにより、ライフサイクルコストの縮減及び財政負担の平準を図ることを目的とします。

【対象期間】令和3年度～令和7年度（5年間）

【対象施設】小学校23校、中学校8校、学校給食共同調理場1施設

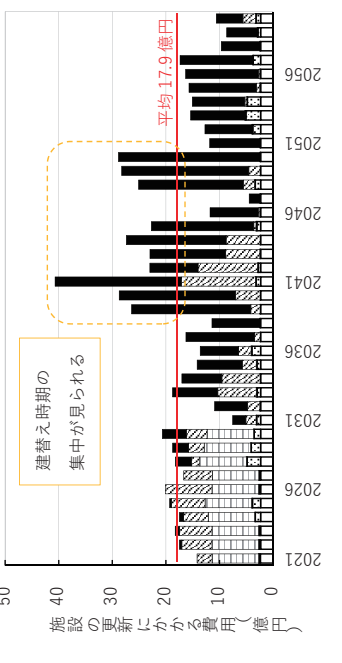


2 取り巻く状況と実態

1970年代から80年代にかけて、人口増加に伴う児童生徒数の増加に合わせて、多くの建物が集中整備され、特に1979（昭和54）年は7棟17,470㎡、1988（昭和63）年は9棟17,627㎡と集中しています。

築30年を超える建物は87,372㎡で全体床面積の54%を占めています。さらに築20年を超える建物を含めると117,554㎡となり、全体床面積の73%に達し、老朽化が進んでいます。

従来の建替え型での施設整備を今後も行うと想定し、建設後30年で大規模改修、60年で建替えを行う条件で試算した場合、今後40年間の維持・管理コストは、総額715億円、年平均では17.9億円/年となります。



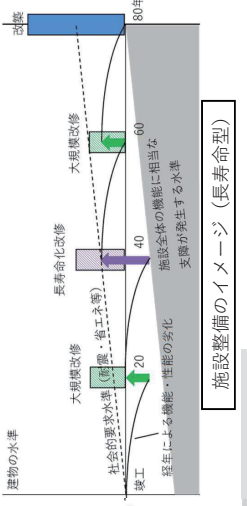
3 目指すべき姿と整備方針

【目指すべき姿】

- ①新しい時代の安全・安心な教育環境の確保
- ②学習・生活環境の質的向上
- ③計画的・効率的な学校施設の整備
- ④学校施設の適正化と有効活用（複合化・共用化）

大規模改修	長寿命化改修
<ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修 ・外壁改修 ・設備機器更新 ・老朽化の著しい部位の修繕 ・故障や不具合の修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ・サッシ改修 ・内部改修（学習形態等への対応・省エネルギー化） ・機能向上・省エネルギー化に伴う設備システム変更・機器交換、配管配線交換 ・バリアフリー改修 ・防災、防犯改修 ・高耐久改修

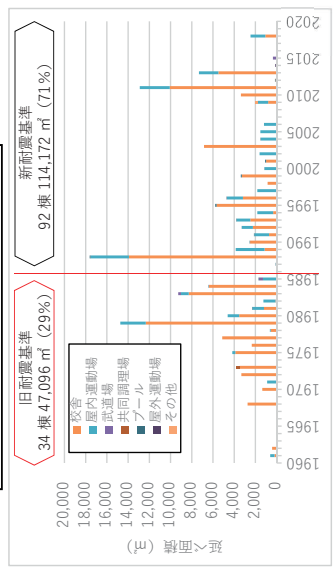
【整備方針】



施設整備方針の転換

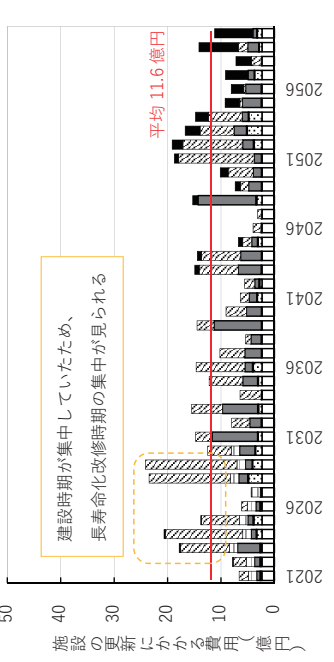
従来の「建替え型」から「長寿命化イメージ」への転換。目標使用年数を「80年」とし長寿命化・計画的かつ効率的な改修・大規模改修：建設（長寿命化改修）後20年長寿命化改修：建設後40年・優先順位を付けて財政負担の平準化・予防保全の視点で計画的改修

4 長寿命化実施方針



建設（長寿命化改修）後20年で大規模改修、40年で長寿命化改修、80年で建替えを行う条件で試算した場合、今後40年間の維持・管理コストは、総額465億円、年平均では11.6億円/年となり、従来の建替え型の年平均17.9億円/年と比較して、約35%（年間約6.3億円）の削減効果がみられます。

施設	大規模改修	長寿命化改修	建替え	その他施設関連経費	合計	年平均（合計）
飛鳥小学校	96.19億円	203.21億円	41.71億円	123.55億円	464.65億円	11.62億円
飛鳥中学校	79.93億円	77.62億円	75.80億円	69.87億円	293.22億円	7.33億円
飛鳥小学校	77.62億円	75.80億円	69.87億円	69.04億円	292.33億円	7.31億円
飛鳥中学校	75.80億円	69.87億円	69.04億円	65.60億円	280.31億円	7.01億円
若狭小学校	69.87億円	69.04億円	65.60億円	65.60億円	270.11億円	6.75億円
瓜野小学校	69.04億円	65.60億円	65.60億円	65.60億円	265.84億円	6.65億円
合計	464.65億円	1116.20億円	252.83億円	782.46億円	2616.14億円	65.40億円



削減効果
△250億円
(年平均△6.3億円)

通し番号	建物基本情報	施設名	施設名	総合評価点数
1	特別教室棟	特別教室棟	特別教室棟	98.89
2	屋内運動場	屋内運動場	屋内運動場	84.38
3	校舎	校舎	校舎	80.47
4	管理棟、教室棟	管理棟、教室棟	管理棟、教室棟	75.93
5	給食室	給食室	給食室	65.60

通し番号	建物基本情報	施設名	施設名	総合評価点数
1	屋内運動場	屋内運動場	屋内運動場	79.93
2	校舎	校舎	校舎	77.62
3	管理棟、教室棟	管理棟、教室棟	管理棟、教室棟	75.80
4	管理棟、教室棟、給食室	管理棟、教室棟、給食室	管理棟、教室棟、給食室	69.87
5	給食室	給食室	給食室	69.04

教育委員会企画管理課 令和3年度事業

■ 施設整備事業（小学校）（5,682千円）

令和3年度

煙突改修等 南平田小 煙突修繕（アスベスト対策：封じ込め工法）

広野小、十坂小 煙突内断熱材劣化度調査

（アスベスト含有断熱材劣化度等調査）



■ 学校トイレ改修事業（中学校）（62,130千円）【繰越明許】

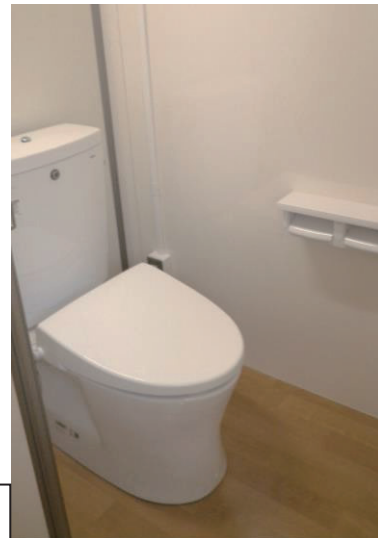
令和3年度（令和2年度から令和3年度へ繰越して実施）

（文科省令和2年度第3次補正：学校施設環境改善交付金（大規模改造（トイレ））

トイレ改修工事（建築、設備） 第六中学校（一期：生徒用）



改修前の例



改修後の例

■ 学校給食施設環境整備事業（小・中学校）（84,988千円）

【繰越明許】

令和3年度（令和2年度から令和3年度へ繰越して実施）

（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業）

調理室のエアコン整備

小学校9校（琢成小・若浜小・富士見小・松原小・松陵小・泉小・十坂小・

宮野浦小・八幡小）、中学校1校（鳥海八幡中）

学校教育課 主要施策

- 1 いのちの教育の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.1・No.3】
 - (1) 災害時における児童生徒の危機回避能力の育成及び各校の防災・安全管理体制の見直しと防災教育の推進
 - ・学校防災マニュアルの改善及び整備、AED操作・心肺蘇生等に関する研修会の開催
 - ・「電子版 酒田防災ハンドブック」の作成
 - (2) いじめ・不登校等に対応するための相談支援体制の充実
 - ・教育相談専門員5名、スクールカウンセラー、教育相談員の配置
 - ・家庭訪問相談員、スクールソーシャルワーカーの派遣 ・研修会の開催
- 2 豊かな心と健やかな体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.4】
 - (1) 体験活動や交流活動の推進
 - ・自然体験学習 ・陸上指導サポーターの派遣と部活動指導員の配置
- 3 変化に対応し、社会で自立できる力の育成
・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.10～14・No.16】
 - (1) 学力向上対策の充実
 - ・標準学力検査とWEBQUアンケートを継続実施
 - ・「英語学習意識調査」の実施
 - ・小中授業力向上研修会、教師の効果的な授業改善に向けた単元研究委嘱など
 - (2) 小中一貫教育の推進
 - ・研修会の開催
 - (3) 外国語教育の充実
 - ・ALT7名、英語教育コーディネーター1名の配置
 - (4) 理科教育・「ものづくり」の推進
 - ・理科教育推進事業（自由研究相談会、野外観察会、指導研修会の実施）
 - ・中村ものづくり事業
（チャレンジものづくり塾、サイエンス発明教室、ものづくり出前授業の実施）
 - (5) 情報活用能力の育成とICT環境の整備
 - ・児童生徒1人1台端末及び情報教育推進室を活用した授業づくり研修会等の実施
 - ・校務支援システムの新機能（出席簿機能）を追加整備
 - (6) キャリア教育の充実
 - ・学校提案型のキャリア教育活動に対する事業交付金の交付
 - ・中学生職場体験学習への事業交付金の交付
- 4 特別なニーズに対応した教育の推進・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.20・No.21】
 - (1) 個別の支援を要する児童生徒への適切な支援
 - ・教育支援員50名を学校の要望により配置（6時間/日×200日）
 - (2) 特別支援教育巡回相談員3名の派遣
 - (3) 日本語講師等の派遣

- 5 学習バス・スクールバスの整備・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.29】
 - ・学習バス・スクールバス1台の購入
- 6 教職員の働き方改革の推進・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.17】

校務支援システムに新たな機能を追加し、働き方の積極的な見直しを推進する。

GIGAスクール推進事業

【令和3年度予算額 36,786千円】

○ 事業目的

Society 5.0時代を生きる子供たちにとって、教育におけるICTを基盤とした先端技術等の効果的な活用が求められる中、令和2年度に整備した校内ネットワーク及び一人一台パソコンを活用することで、これまでの教育実践の実績に最先端のICTを融合した学習活動の一層の充実を図る。

○ 事業内容

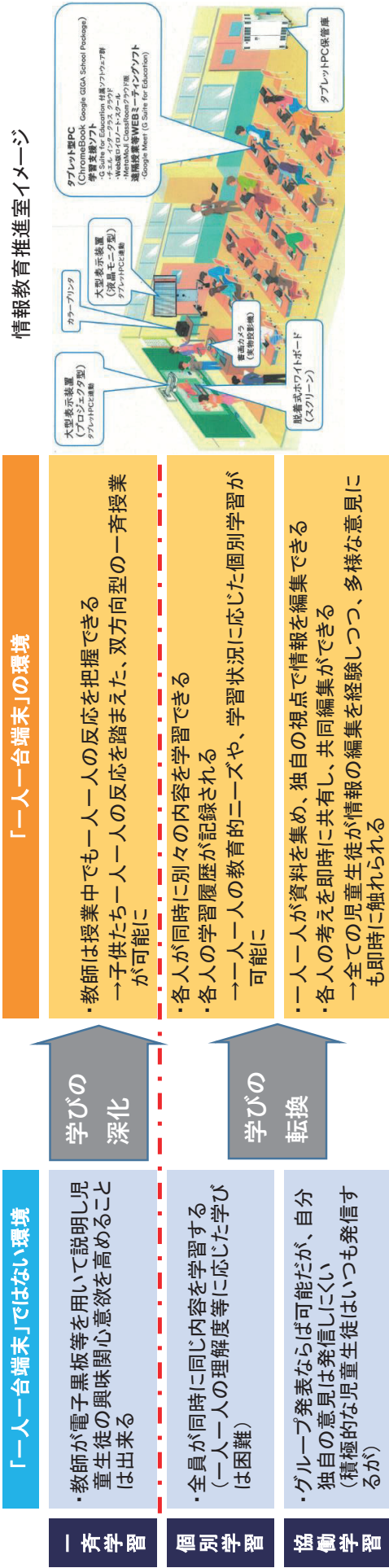
令和2年度

- ◆ 大容量高速ネットワーク無線通信環境を整備
- ◆ Wi-Fiルーターの購入(442台)
- ◆ 一人一台パソコンを整備(7,153台)
- ◆ webカメラ等機器の購入(197台)
- ◆ GIGAスクールサポーターの配置
- ◆ 情報教育推進室の創設

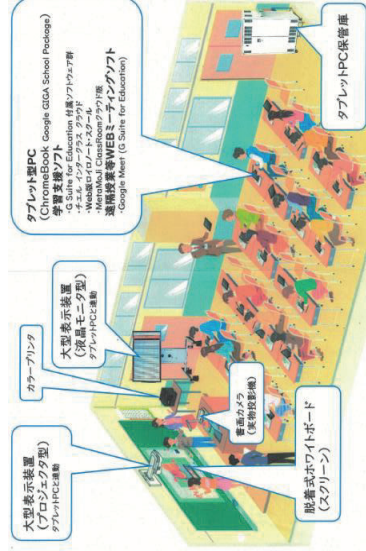
令和3年度以降

- ◆ 学校内ネットワークの安全な運用とパソコン等機器の保守管理及び運用サポート【2,425千円】
- ◆ パソコンを自宅に持ち帰って遠隔学習を行う際に、インターネット環境がない家庭へモバイルルーターを貸出(7月開始予定)
- ◆ セキュリティを確保するフィルタリングソフト及び教師のオンライン学習を支援する学習支援ソフトの適切な管理【17,814千円】
- ◆ 児童生徒の学力の定着と向上を目的とした学習ソフト(ライセンス: eライブラリ予定)の導入【12,672千円】
 - ・確認テストの結果から、一人ひとりに向けて自動構成された問題を出題し、チェックとフォローがシームレスにできる。
 - ・メッセージのやり取りができるコミュニケーション機能を搭載し、児童生徒の意欲関心や気持ちの把握ができる。
- ◆ 情報教育推進室による研修や情報発信の充実
- ◆ 個別に著作権者より許諾を得る必要があった授業用の公衆送信利用について、管理協会を通して補償金を支払うことにより、許諾なしに利用できるもの。
- ・小学生120円/人、中学生180円/人【1,045千円】

○ 事業成果



情報教育推進室イメージ



○ セキュリティポリシーの制定

小中学校内で使用する情報資産を、さまざまな情報漏えい等の脅威から防御するため、「酒田市小・中学校情報セキュリティポリシー」を制定する。本ポリシーにおいて、学校内で使用する情報資産を機密性の高いものからC3情報、C2情報、C1情報に分類し、原則的にC1情報以外は持ち出し不可とするなど、学校内における情報セキュリティ対策等について定めるもの。

酒田市教育研修センター構想

1 酒田市の今後10年の教育の姿

- ・自尊心・自己有用感を育む教育の推進
- ・生徒指導の充実
- ・学力向上対策の推進
- ・小中一貫教育の推進
- ・情報活用能力の育成とICT環境の整備
- ・外国語教育の推進
- ・理科教育・「ものづくり」の推進
- ・特別支援教育支援体制の充実
- ・教職員研修の充実
- ・生涯学習の推進

【第2期酒田市教育振興基本計画
第3章 今後10年間を通じて目指す教育の姿より】

2 教職員研修の現状

- ◆ これまでの研修の機会として
 - 市教育委員会が主催する学習指導、研修、教育相談等を通して教員の資質・能力の向上を図ってきた。
Ex. 教育相談研修講座、単元研修委嘱、指導力向上研修
 - 各小・中学校において授業研究会、校内研修会の内容を工夫・改善することで教職員の資質・能力向上を図ってきた。

3 今後の方向性と取り組み

今後の社会の大きな変化
複雑で多様化する今日の課題

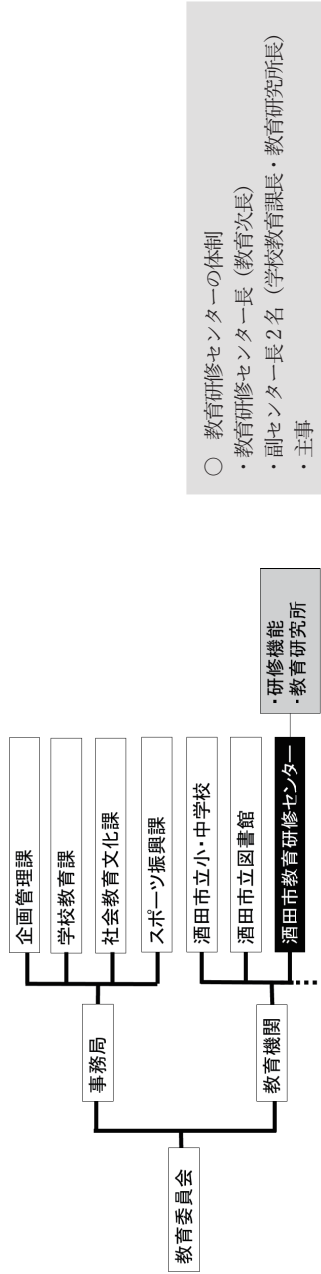
研修内容を精査し工夫、改善
さらなる教員の資質・能力の向上

【第2期酒田市教育振興基本計画
第4章 取り組みべき施策 基本施策より】

4 酒田市教育研修センター（仮称）を設置

(1) 酒田市教育研修センター（仮称）を設置する。

GIGA スクール用端末等の ICT 機器を整備した研修室を設置し、ICT 機器を活用した最新の授業づくりの研修を実施する等、多様化する課題に対応する教職員の資質・能力の向上を図るため、酒田市教育研修センター（仮称）を設置する。
また、酒田市教育研修センターに、酒田市教育研究所を置き、教育に関する調査研究を行う。



(2) 酒田市教育研修センター（仮）で実施する事業内容

酒田市教育研修センター（仮称）

社会教育	理科ものづくり	学力向上対策	小中一貫教育	情報教育推進	特別支援教育	教育相談	教育研究所
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育文化課、スポーツ振興課の指導員研修等を位置づけていく。 ・図書館ミライニを中心に図書専門員研修を行い、読書教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・理科センター研修会、理科研究発表等を位置づけ、理科教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・算数・数学 ・英語 ・単元研究委嘱 ・授業力向上研修 ・年次重点教科の研修を位置づける。 ・学力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導 学力向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクールの取組みを計画し推進する。 ・情報教育推進のための環境を整え、研修の機会を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援研修会、教育支援員研修会等を行い、教職員の資質向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談研修講座等を行い、教職員の資質向上を図る。 ・他機関と連携し、課題の解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・領域の研究会に全教職員が所属し、研修、新卒の運営等にあたる。

重点化する事業の研修

- 例えば、理科教育の研修内容を情報教育推進と関連付けることで、ICT機器を活用したわかりやすい提示の仕方や活動の仕方について研修することができるようになる。これまで授業研究会を中心とした研修のあり方を、大きく変えていくことにつながる。
- 学校研究に係る研修内容や事例・情報についてセンターに集約することで、学力向上、小中一貫教育など、重点事業に係る情報をいつでも参照することができる。それぞれの研修に参加できない場合でも、データベースを参照することで、いつでもだれでも研修をすることができるようになる。
- 酒田市教育研究所を研修センターに置くことで、行政主体の研修と研究所の研修が一体化できる。研修内容の精査と工夫、改善につなげることができる。今後予定されている東北大会（R5 生活・総合、R5 特別活動、R6 メディア教育）について、市全体として重点として取り組み成果を上げることができる。

社会教育文化課 主要施策

1 生涯学習推進計画に基づいた人生100年時代を見据えた学びの推進

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.7・No.35】

現代的課題解決に向けた知的好奇心を満たす講座、酒田を見つめ酒田を知る講座を展開し、地域づくりに資する。

- (1) 生涯学習の機会や場の充実<学ぶ>
 - ・生涯学習推進講座開催事業
 - ・鳥海山・飛島ジオパーク講座開催事業
- (2) 生涯学習活動の支援体制の充実<つながる>
- (3) 生涯学習の成果の活用<生かす>

2 「社会包摂と育成」の方針に基づいた文化芸術の施策の推進

・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.30・No.36～40】

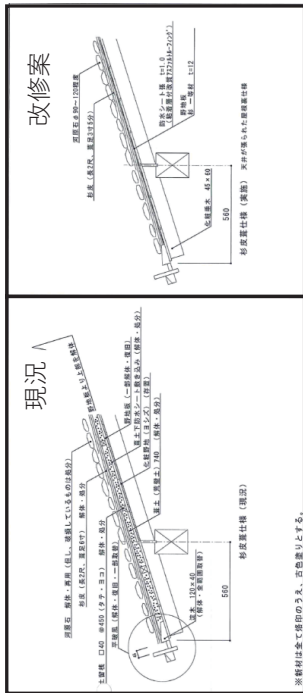
- (1) 誰もが文化芸術に触れる機会の提供
 - ① 市内外で活躍するアーティストによるワークショップの開催
 - ・コンテンポラリーダンスの魅力を発信するためのワークショップ・公演
 - ・ダンスとピアノのワークショップ ほか
 - ② 質の高い鑑賞機会の提供
 - ・宝くじ文化公演「ハッピー・ジャズ・アワー」 ほか
 - ③ アートマルシェの開催
 - ・いろいろな展、佐藤タカヒロ展
- (2) 文化芸術・デザインに関する研修会の開催
- (3) 文化芸術活動を担う人材の育成
 - ・山形交響楽団によるクリニックの開催
- (4) 市民ワークショップの開催
- (5) スクールプログラムの構築

3 文化財等の保存と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.31～33】

多くの市民が地域の歴史文化に関心を持ち、積極的に関わる姿勢を涵養する。

- (1) 国指定史跡旧鑑屋の屋根修繕及び耐震補強工事
- (2) 山居倉庫を次世代に継承していくための「山居倉庫保存活用計画」を令和4年度までの2か年で策定する。
- (3) 文化遺産である伝統芸能の継承や伝統を受け継ぐ地域の活性化を図る。

屋根改修



葺土を取りやめた上で在来の工法に準じて全面を新たに葺き替える。
置石は健全なものを洗浄・強化剤浸透の上再使用する。置石は、各置石が接し、移動しない程度(80%)を目的に敷き込む。

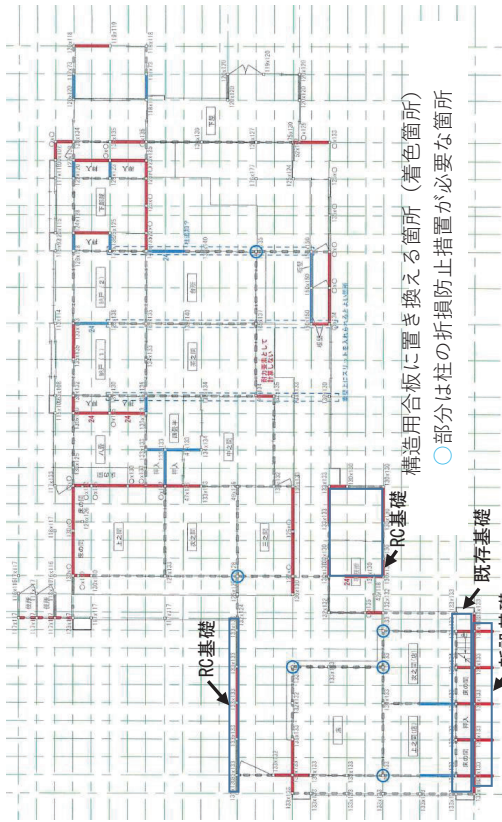


杉板が劣化し、葺土まで流され、栈木が露出するなど傷んでいる屋根

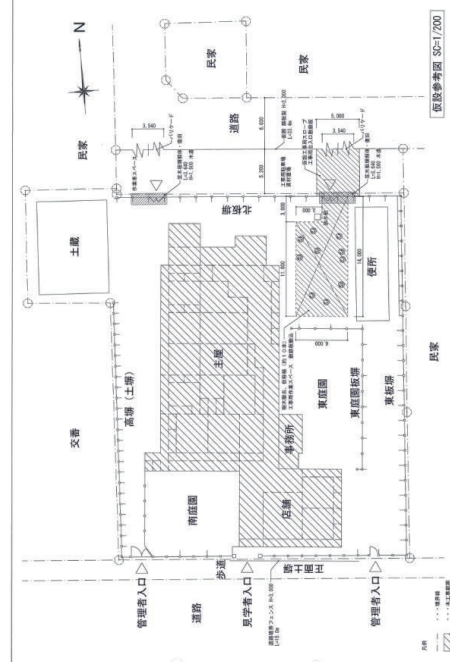
単管パイプ等を使用した素屋根を立上げ建物を覆い工事を行う。
解体する部分の部材には番付札を付す。

耐震補強方針

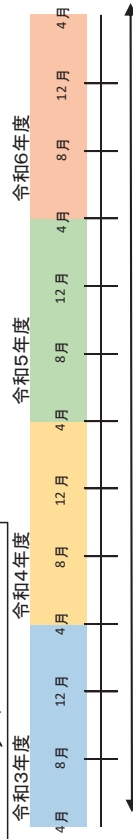
1. 屋根の軽量化
2. 一部の土壁を構造用合板に置き換え
3. 構造用合板の浮き上がり防止のため、基礎を新設しこれに緊結させる。
4. 土台及び梁に鉄骨部材を配置
5. 構造的に重要な小屋組部分に鉄筋ブレースを配置
6. 柱の折損防止措置



旧鑑屋仮設置範囲



スケジュール



修復工事

R3	69,894千円	R4	42,817千円	R5	39,231千円	R6	31,234千円
調査解体工事	耐震補強工事	屋根葺替工事	耐震補強工事	電気防災工事	耐震補強工事	耐震補強工事	給排水工事

総額(計画) 250,281千円 (H28～R6)

※実質は国の内示額に合わせた業務発注となる。

山居倉庫保存活用計画策定事業

令和3年度～4年度

山居倉庫を後世に伝えていくための基本的な計画である「山居倉庫保存活用計画」を策定し、史跡等の本質的な価値と構成要素を明確化し、それらを適切に保存活用していくための基本方針、方法、現状変更等の取り扱い基準の策定等を目的として保存活用計画を策定する。

事業目的



狙い

スケジュール

平成29年度～令和2年度（調査事業）
 調査委員会設置
 各種調査
 調査報告書刊行
 令和3年度（保存活用計画策定事業）
 保存活用計画策定委員会設置
 保存活用計画策定委員会の開催
 保存活用計画策定に必要な調査
 令和4年度
 保存活用計画策定に必要な調査
 保存活用計画策定委員会の開催
 保存活用計画策定
 令和5年度（公有化事業）
 山居倉庫の境界測量
 山居倉庫の公有化
 （整備計画策定事業）
 整備計画策定

【保存活用計画策定範囲】



【保存活用計画（定めるべき内容）】

1. 計画策定の沿革・目的
2. 史跡の概要
3. 史跡等の本質的価値
4. 現状・課題
5. 大綱、基本方針
6. 保存管理
7. 活用
8. 整備
9. 運営・体制の整備
10. 施策の実施計画の策定・実施
11. 経過観察

事業内容

歳入

合計金額	4,080千円
① 国補助金	2,040千円
② 一般財源	2,040千円

歳出

合計金額	4,080千円
① 報償費	114千円
② 費用弁償	924千円
③ 普通旅費	384千円
④ 保存活用計画策定委託料	2,658千円

スポーツ振興課 主要施策

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために「新しい生活様式」を実践し、多くの市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツに参加し、幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、「酒田市スポーツ推進計画」を着実に実行し、各種施策を展開していく。

1 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進・・・・・・・・【主要事業等一覧：No.42・No.44】

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、市民誰でも気軽にスポーツを「する」「みる」「ささえる」活動を楽しむことで、心身の健康の保持増進と健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指すため、その環境整備に努める。

- ・スポーツ少年団活動事業
 - ・スポーツ行事開催事業
- (湊酒田つや姫ハーフマラソン大会、市民体育祭、巡回駅伝競走大会ほか)

2 感動と活力に満ちた競技スポーツの推進

・・・・・・・・【主要事業等一覧：No.41・No.43・No.45】

全国（世界）レベルで活躍できる選手を継続的に輩出することにより、感動と活力に満ちた競技スポーツの推進を目指す。

- ・白崎資金スポーツ振興事業
 - ・スポーツ振興激励金交付事業
 - ・大会補助事業
- (全日本シニア・マスターズ体操競技選手権大会、東北総合体育大会（相撲競技）ほか)

3 スポーツによる賑わいとまちづくりの推進・・・・・・・・【主要事業等一覧：No.44】

特色のあるスポーツイベントである「湊酒田つや姫ハーフマラソン大会」や「市民体育祭」など、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた新しい生活様式に配慮して開催内容の見直しを図りながら、スポーツの持つ力を最大限に活かし、賑わいとまちづくりを推進する。

- ・スポーツ行事開催事業
- (湊酒田つや姫ハーフマラソン大会、市民体育祭、巡回駅伝競走大会ほか)
(感染症拡大防止の観点から、「みなと酒田トライアスロンおしんレース大会」は今年度中止)

4 安全安心なスポーツ活動のための環境整備・・・・・・・・【主要事業等一覧：No.46～49】

市民が気軽に安全安心にスポーツ活動を行うとともに、競技力の向上や大会誘致等による交流人口の拡大を図っていくため、市民ニーズに応じた施設の改修・整備を検討する。

また、耐震診断の結果、耐震補強が必要と判断された体育施設については、トイレの洋式化、バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮しながら耐震改修工事を計画的に進めていくとともに、屋外体育施設の老朽化した夜間照明設備についても、年次計画を立てながら順次更新して行く。

- ・ 体育施設整備事業（光ヶ丘野球場の防球ネット設置工事、武道館の屋根・外壁等防水改修工事、外山キャンプ場の赤松ヒュッテ解体工事、その他備品購入費）
- ・ 体育施設照明設備改修事業（光ヶ丘野球場の照明設備改修工事に向けた調査委託料）
- ・ 国体記念体育館改修事業（国体記念体育館の改修工事に向けた設計業務委託料）
 - ・ 体育施設耐震改修事業（八幡体育館の耐震及び長寿命化に向けた設計業務委託料）

図書館 主要施策

1 図書館活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.51】

- ・市民の心を豊かにする「知の拠点」としての役割を果たすため、視聴覚資料も含めた資料の充実のほか、レファレンスサービスの充実や日本海総合病院等との連携を図る。
- ・図書館管理システムを活用して、自動貸出、オンライン検索・予約・リクエストなど、利用者の利便性の向上を図る。

① 図書館業務電算システム運営事業

2 子どもの読書活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.52】

- ・子どもたちの身近に本がある環境づくりを、家庭、園、学校と連携し推進することで、幼少期からの読書習慣を醸成する。
- ・今年度が「第3次酒田市子ども読書活動推進計画」の初年度となる。また令和4年度より指定管理者による運営が開始予定のため、共に取り組むべき施策を検討していく。

① 子ども読書活動推進事業

3 地域史研究拠点としての光丘文庫の機能拡充・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.50】

- ・光丘文庫所蔵資料について広く全国に周知を図り、酒田の歴史について学び、親しんでもらうため、「光丘文庫デジタルアーカイブ」のコンテンツを拡充する。

① 光丘文庫デジタルアーカイブ事業

4 新しい図書館を中核とした公共施設の利用促進・・・・・・・・・・ 【主要事業等一覧：No.53】

- ・酒田駅前再開発において図書館を中核とした公共施設（酒田駅前交流拠点施設ミライニ（旧（仮称）酒田市コミュニケーションポート））を整備し、市民の多様な活動及び学習の場を創出することにより、交流促進及び中心市街地の活性化を図る。

① 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備事業

令和 3 年度 予算資料(抜粋)

《教育費》

（企画管理課）	
○ 学校統合事業	44
○ 東北公益文科大学連携推進事業	44
○ 私学振興補助事業	45
○ 大学等修学支援事業	45
○ 施設整備事業（小学校）	46
（学校教育課）	
○ 教育相談事業	46
○ 子どもの命を守る安全対策事業	47
○ 教育支援員配置事業	47
○ 学力向上対策事業	48
○ 外国語指導助手招致事業	48
○ 理科教育推進事業	49
○ 小中一貫教育推進事業	49
○ 学校ICT環境整備事業	50
○ GIGAスクール推進事業	50
○ スポーツ活動等支援事業	51
○ キャリア教育推進事業	51
○ 自然体験学習事業	52
○ 中村ものづくり事業	52
（社会教育文化課）	
○ 生涯学習推進講座開催事業	53
○ 生涯学習振興支援事業	53
○ 鳥海山・飛鳥ジオパーク講座開催事業	54
○ 文化施設長寿命化対策事業	54
○ 土門拳文化賞顕彰事業	55
○ 市民芸術祭開催事業	55
○ 文化芸術推進事業	56
○ スクールプログラム実施事業	56
○ 文化財保存活動支援事業	57
○ 未来へ受け継ぐ伝統文化はぐくみ事業	57
○ 史跡旧燈屋修復事業	58
○ 山居倉庫保存活用計画策定事業	58
（スポーツ振興課）	
○ 白崎資金スポーツ振興事業	59
○ スポーツ少年団活動事業	59
○ スポーツ行事開催事業	60
○ 体育施設整備事業	60
○ 体育施設照明設備改修事業	61
○ 国体記念体育館改修事業	61
○ 体育施設耐震改修事業	62
（図書館）	
○ 光丘文庫デジタルアーカイブ事業	62
○ 子ども読書活動推進事業	63
○ 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備事業	63

令和3年度酒田市一般会計 歳出当初予算（10款）

（単位：千円）

款項	目	本年度予算額	前年度予算額	比較	増減率 (%)	本年度予算額の財源内訳					
						特定財源			一般財源		
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	国庫支出金	県支出金
10	教育費	5,122,774	6,809,913	△ 1,687,139	△ 24.8	43,008	11,327	764,000	560,692	3,743,747	
1	教育総務費	1,139,296	1,157,042	△ 17,746	△ 1.5	424	4,913	8,700	30,688	1,094,571	
	1 教育委員会費	5,362	5,867	△ 505	△ 8.6					5,362	
	2 事務局費	642,337	637,244	5,093	0.8	424	41		509	641,363	
	3 指導費	268,124	304,625	△ 36,501	△ 12.0		4,237		27,977	235,910	
	4 教育研究所費	280	675	△ 395	△ 58.5					280	
	5 私立学校振興費	2,100	2,450	△ 350	△ 14.3					2,100	
	6 学事費	215,970	201,614	14,356	7.1		635	8,700	119	206,516	
	7 教育諸費	5,123	4,567	556	12.2				2,083	3,040	
2	小学校費	1,012,230	1,141,251	△ 129,021	△ 11.3	2,405	2,559	5,000	260,258	742,008	
	1 学校管理費	465,522	486,015	△ 20,493	△ 4.2		220	5,000	234	460,068	
	2 教育振興費	88,830	124,684	△ 35,854	△ 28.8	2,405			2,135	84,290	
	3 学校保健費	457,878	458,020	△ 142	△ 0.0		2,339		257,889	197,650	
	4 学校建設費	0	72,532	△ 72,532	△ 100.0					0	
3	中学校費	635,567	612,056	23,511	3.8	2,128	1,597	0	166,671	465,171	
	1 学校管理費	162,498	159,135	3,363	2.1		70		285	162,143	
	2 教育振興費	89,538	73,058	16,480	22.6	2,128			1,208	86,202	
	3 学校保健費	383,531	379,863	3,668	1.0		1,527		165,178	216,826	
4	生涯学習費	1,780,574	3,397,684	△ 1,617,110	△ 47.6	38,051	2,258	647,100	60,302	1,032,863	
	1 生涯学習振興費	424,868	422,641	2,227	0.5		217	3,000	19,260	402,391	
	2 文化振興費	493,223	534,361	△ 41,138	△ 7.7	291	775	173,000	38,282	280,875	
	3 文化財保護費	106,455	61,864	44,591	72.1	36,440	1,266	29,100	2,054	37,595	
	4 図書館費	756,028	2,378,818	△ 1,622,790	△ 68.2	1,320		442,000	706	312,002	
5	保健体育費	555,107	501,880	53,227	10.6	0	0	103,200	42,773	409,134	
	1 スポーツ振興費	555,107	501,880	53,227	10.6			103,200	42,773	409,134	

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費	所 属 R3 教育委員会企画管理課 R2 一
事 業 名	【新規事業】 学校統合事業			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
2,481				2,481
上位 施策の概要	第1章 > 政策3 > 施策5 学校施設の整備 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 少子化による児童生徒の減少と学校の小規模化が進む中、児童及び生徒の教育環境の維持向上を図るため、学校規模の適正化を進め、よりよい教育環境を確保すること。			
成 果 指 標	目 的 ・ 趣 旨			目 標 値 等
	田沢小学校と南平田小学校の統合に係る諸準備を行い、学校統合を円滑に進める。			
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等			
事業の概要	○事業内容 (1) 田沢小学校・南平田小学校統合準備委員会の開催 両校の地域住民、学校、PTA、教育後援会、同窓会の代善で組織し、令和4年4月1日の統合に向けて、教育課程など必要事項の協議や調整を行う。 ・会議費(消耗品費、通信運搬費) 83千円 (2) 田沢小学校の閉校 ・閉校式典経費(食糧費、消耗品費、通信運搬費) 132千円 ・学校備品等の移転経費(消耗品費、通信運搬費) 1,766千円 ・閉校記念事業費補助金(記念誌の製作等) 500千円			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	2目 事務局費	所 属 R3 教育委員会企画管理課 R2 教育委員会企画管理課																																												
事 業 名	【継続事業】 東北公益文科大学連携推進事業																																															
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他																																												
849	424			425																																												
上位 施策の概要	第1章 > 政策3 > 施策6 地域の教育機関との連携 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 東北公益文科大学の持つ知的資源を活用し、教育委員会・小中学校と連携した事業を実施することにより、東北公益文科大学に対する市民理解の向上及び本市を支える人材の育成を図ること。																																															
成 果 指 標	目 的 ・ 趣 旨			目 標 値 等																																												
【総】連携事業参加者の満足度	80%以上維持																																															
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等																																															
事業に関わる東北公益文科大学教員及び学生数	30人																																															
事業の概要	○事業内容 (1) 中学校の放課後を利用した生徒の学習支援(東北公益文科大学学生) (2) 小学生を対象にした夏休み宿題お手伝い教室のサポート(東北公益文科大学学生) (3) 中学生を対象にした英語講座の開催(講師は東北公益文科大学教員) ○取組状況 (1) 放課後学習支援 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>実施中学校</td> <td>5校</td> <td>5校</td> <td>2校</td> </tr> <tr> <td>実施回数</td> <td>44回</td> <td>38回</td> <td>14回</td> </tr> <tr> <td>参加生徒</td> <td>140名</td> <td>120名</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>参加学生</td> <td>18名</td> <td>15名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>担当大学教員</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> </table> (2) 夏休み、宿題お手伝い教室のサポート <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>参加学生</td> <td>8名</td> <td>5名</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>参加児童</td> <td>33名</td> <td>35名</td> <td>-</td> </tr> </table> (3) 英語講座 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> <td>令和元年度</td> <td>令和2年度</td> </tr> <tr> <td>参加生徒</td> <td>51名</td> <td>50名</td> <td>21名</td> </tr> </table> ○主な特定財源 地方創生推進交付金(国) 424千円					平成30年度	令和元年度	令和2年度	実施中学校	5校	5校	2校	実施回数	44回	38回	14回	参加生徒	140名	120名	27名	参加学生	18名	15名	17名	担当大学教員	1名	2名	2名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	参加学生	8名	5名	-	参加児童	33名	35名	-		平成30年度	令和元年度	令和2年度	参加生徒	51名	50名	21名
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																													
実施中学校	5校	5校	2校																																													
実施回数	44回	38回	14回																																													
参加生徒	140名	120名	27名																																													
参加学生	18名	15名	17名																																													
担当大学教員	1名	2名	2名																																													
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																													
参加学生	8名	5名	-																																													
参加児童	33名	35名	-																																													
	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																													
参加生徒	51名	50名	21名																																													

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	5目 私立学校振興費	所 属	R3 教育委員会企画管理課 R2 教育委員会企画管理課																														
事 業 名	私学振興補助事業			【継続 事業】																															
予算額 (千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	2,100																														
予算額 (千円)	3,040				3,040																														
上位 施策 の 概要	第1章 > 政策3 > 施策6 地域の教育機関との連携 第2期酒田市教育振興基本計画 (令和2年度～令和11年度) 上位 施策 の 最 終 成 果 独自の教育理念のもと、本市の教育振興に貢献している私立高等学校の健全な運営により、子どもたちの教育の選択肢を広げ、多様な学びの場を確保すること。																																		
成 果 指 標	目 的 趣 旨		目 標 値 等																																
	市内の私立高等学校の運営費に対して補助を行うことにより、学校運営の健全化が図られ、市内の私立教育の振興につながる。																																		
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等		2校																																
補助金を交付する私立高等学校数																																			
○事業内容	酒田南高等学校運営費補助金 1,750千円 昭和37年度から継続交付 和順館高等学校運営費補助金 350千円 平成17年度から継続交付																																		
○交付要件	私立高等学校を設置する学校法人に対する補助金の額は、1校につき年額140万円以内とする。ただし、通信制課程のみを置く私立高等学校を設置する学校法人に対する補助金の額は、1校につき35万円以内とする。 また、平成30年度の私立高等学校2校の統合により、令和元年度より経過措置を行い、35万円ずつ減額調整を実施する。 ・経過措置による交付額 令和元年度：245万円 令和2年度：210万円 令和3年度：175万円 令和4年度：140万円																																		
○実績	(単位：千円) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td>酒田南高等学校運営費補助金</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>2,800</td> <td>2,450</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>天眞学園高等学校運営費補助金</td> <td>1,400</td> <td>1,400</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>和順館高等学校運営費補助金</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,150</td> <td>3,150</td> <td>3,150</td> <td>2,800</td> <td>2,450</td> </tr> </table> ※令和2年度は見込み					区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	酒田南高等学校運営費補助金	1,400	1,400	2,800	2,450	2,100	天眞学園高等学校運営費補助金	1,400	1,400	350	350	350	和順館高等学校運営費補助金	350	350	350	350	350	計	3,150	3,150	3,150	2,800	2,450
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																														
酒田南高等学校運営費補助金	1,400	1,400	2,800	2,450	2,100																														
天眞学園高等学校運営費補助金	1,400	1,400	350	350	350																														
和順館高等学校運営費補助金	350	350	350	350	350																														
計	3,150	3,150	3,150	2,800	2,450																														

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	7目 教育諸費	所 属	R3 教育委員会企画管理課 R2 教育委員会企画管理課																																			
事 業 名	大学等修学支援事業			【継続 事業】																																				
予算額 (千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	3,040																																			
予算額 (千円)	3,040				3,040																																			
上位 施策 の 概要	第1章 > 政策3 > 施策6 地域の教育機関との連携 第2期酒田市教育振興基本計画 (令和2年度～令和11年度) 上位 施策 の 最 終 成 果 保護者の経済的負担を軽減することにより、高等教育機関へ進学を希望する生徒の進学機会を確保すること。																																							
成 果 指 標	目 的 趣 旨		目 標 値 等																																					
	本市出身学生の大学等修学に際し、修学費の利子を補助することにより、保護者の経済的負担を軽減する。		40%																																					
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等		5件 30件																																					
制度啓発実施件数																																								
新規給付件数																																								
○事業内容	大学等の修学に際し金融機関の修学貸付に係る利子相当に対し、学生1人につき1年当たりの利子相当額4万円を上限に補助する。 大学等修学資金利子補給金 3,040千円 新規交付者分 40千円×30件 1,200千円 継続交付者分 40千円×46件 1,840千円																																							
○交付要件	毎年6月1日において大学等に在籍している本市出身の学生を有する保護者等、学生の家族(兄弟姉妹は除く。)の所得等の合計額が、次の金額以下であるもの交付する。																																							
○実績	(単位：件) <table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>25</td> <td>17</td> <td>9</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>継続</td> <td>36</td> <td>43</td> <td>42</td> <td>53</td> <td>45</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>69</td> <td>64</td> <td>67</td> <td>70</td> <td>54</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>交付額</td> <td>2,509,908円</td> <td>2,320,084円</td> <td>2,358,030円</td> <td>2,322,832円</td> <td>1,777,862円</td> <td>2,108,218円</td> </tr> </table> ※令和2年度は見込み ○啓発状況 保護者等へ事業内容の周知を図るため、様々な媒体で啓発を実施 ・市内高等学校へ3年生全生徒を対象にチラシを配布 ・県内大学、短大、専修学校のほか、市内各金融機関へチラシを送付 ・市広報に事業概要を掲載(6月1日号広報) ・市ホームページに事業概要を掲載 ・ハーパーラジオ放送(3月下旬に放送) ・フェイスブック掲載 ○本市の大学進学率(山形県学校基本調査より) H29年度：39.8% H30年度：37.3% R元年度：40.3% R2年度：42.8%					区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	新規	33	21	25	17	9	34	継続	36	43	42	53	45	28	計	69	64	67	70	54	62	交付額	2,509,908円	2,320,084円	2,358,030円	2,322,832円	1,777,862円	2,108,218円
区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度																																		
新規	33	21	25	17	9	34																																		
継続	36	43	42	53	45	28																																		
計	69	64	67	70	54	62																																		
交付額	2,509,908円	2,320,084円	2,358,030円	2,322,832円	1,777,862円	2,108,218円																																		

款 項 目	10款 教育費	2項 小学校費	1目 学校管理費	所 属 R3 教育委員会企画管理課 R2 教育委員会企画管理課
事 業 名	施設整備事業(小学校) 【継続事業】			
予算額(千円)	5,682	国庫支出金	県支出金	市 債
				5,000
				その他
				一般財源
				682
上位 施策の概要	第1章 > 政策3 > 施策5 学校施設の整備 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 計画的な学校施設の整備を進めることにより、より良い教育環境を確保すること。			
成 果 指 標	指 標	目 標 値 等		
目 的 趣 旨	市内小学校の中規模的な施設・設備の整備が必要となるものについて、計画的に更新・改修することで、安全で快適な教育環境が整備される。			
活 動 ・ 手 段 指 標	指 標	目 標 値 等	3箇所	
事業実施箇所数				
○事業内容	学校のアスベスト対策を実施する。 (1) 煙突修繕(南平田小学校) ポイラー煙突の断熱材アスベスト対策修繕を行う。 (2) 劣化度調査(広野小学校、十坂小学校) 煙突断熱材にアスベストが含まれる学校について劣化度調査を行う。 ○主な特定財源 過疎対策事業債(市債) 5,000千円			
事 業 の 概 要				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属 R3 教育委員会学校教育課 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	教育相談事業 【継続事業】			
予算額(千円)	19,917	国庫支出金	県支出金	市 債
				その他
				一般財源
				19,917
上位 施策の概要	第1章 > 政策3 > 施策1 いのちの教育の推進 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 個々の児童生徒理解や指導に生きたる研修と教師の行う相談活動を強化することにより、児童生徒の健全な心身の発達に寄与すること。			
成 果 指 標	指 標	目 標 値 等	増加させる	
目 的 趣 旨	児童生徒の心の問題に関わり、専門的に相談を受けることができるスクールカウンセラー等を配置し、生徒指導と教育相談の充実を図る。適応指導教室に通級する児童生徒に対して個々の状態に応じた指導をすることにより集団への適応能力を育成し社会的自立を目指す。			
活 動 ・ 手 段 指 標	指 標	目 標 値 等	50% 小0.2% 中2.0%	
適応指導教室通級児童生徒の学校復帰率				
小・中学校不登校生徒出現率				
○事業内容	(1) 教育相談専門員を相談室(総合文化センター2階)に3名、適応指導教室(浜田コミセン内)に2名、特別支援教育巡回相談員を3名配置する。 (2) 教育相談室にて個別相談、電話相談(フリーダイヤル)を行う。 (3) 適応指導教室を運営し、不登校児童生徒の指導を行う。 (4) 特別支援教育巡回相談員を派遣し、LD、ADHDを含めた支援が必要な児童生徒や保護者、学校への支援を行う。 (5) 児童生徒の臨床心理に関して高度な専門的知識のあるスクールカウンセラーを配置し、いじめや不登校等の問題行動に対応する。 (6) 子どもたちとのふれあいを通じてストレスを知らしめるために教育相談員を配置し問題行動や不登校の未然防止並びに初期対応を行う。 (7) ほっと子ども学校に登校できない児童生徒たちのために家庭訪問相談員を派遣し、児童生徒の心のケアと学校や関係機関を繋ぐために家庭訪問を行う。 (8) 家庭環境に心配がある子どもについて相談できるようにスクールソーシャルワーカーを派遣し、福祉等とつなぎ環境改善を図る。			
事 業 の 概 要	○開催研修会 (1) 教育相談研修会 (2回/年) (2) 教育相談研修会 (4回/年) (3) スクールカウンセラー・各相談員連絡会 (年2回実施) (4) 教育相談員研修会 (年3回実施) (5) 不登校保護者会 (年3回実施) (6) 特別支援教育コーディネーター研修会 (1回) (7) 特別支援学級担当者会 (3回) (8) ペアレント・トレーニング(年5回の1クール) (9) 特別支援教育研修会 (1回)			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会 R2 教育委員会 R1 教育委員会
事 業 名	子どもの命を守る安全対策事業				【継続事業】
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
2,232		742			1,490
総合計画	第1章 > 政策3 > 施策1				
個別計画	いのちの教育の推進				
上位 施策の概要	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 児童生徒が安全・安心に生活する意識の高揚を図るとともに、安全に関して主体的に判断し、行動できる能力を高めること。				
成 果 指 標	指 標	目 標 値 等			
【総】 自分にはよいところがあると思っている子どもの割合		増加させる			
目 的 趣 旨	各校の防災管理体制の見直しを図り、防災教育を含めた安全教育に携わる教職員の質の向上を目指す。災害時における児童生徒の危機回避能力を育成する。AED操作や心肺蘇生、海難事故及びアレルギーマニエーション対応など、子どもの命を守る安全教育を推進する。				
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等				
各種研修会への参加延べ人数	100人				
事 業 内 容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 子どもの命を守る安全教育推進会議の開催(2回)</p> <p>(2) 防災教育アドバイザによる児童生徒への防災教育及び教職員への防災管理研修(6校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災教育の観点からの社会科・理科・特別活動・総合的な学習の時間等の授業への助言 ・ 児童生徒向けの防災教育講話 ・ 各校で教職員を対象にした危機管理研修会での講話 ・ 各校での避難訓練視察、防災マニュアルの見直しへの助言 ・ 電子版防災教育ハンドブックの内容検討への助言 <p>(3) 教職員を対象にした防災教育研修会での講演</p> <p>(4) 学校防災マニュアルの改善・整備</p> <p>(5) 児童生徒への安全教育及び教職員への安全指導研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AED操作、心肺蘇生、海難事故及びアレルギーマニエーションについての児童生徒向けの講演と講話(小・中学校からの希望をもとに対校校を決定) ・ 教職員を対象にしたAED操作及び心肺蘇生等に関する救命教諭講習会の開催 				
事 業 の 概 要					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会 R2 教育委員会 R1 教育委員会
事 業 名	教育支援員配置事業				【継続事業】
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
84,225				15,000	69,225
総合計画	第1章 > 政策3 > 施策2				
個別計画	確かな学力の向上				
上位 施策の概要	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 教育支援員の質的向上及び個別の支援を要する児童生徒への適切な支援により、確かな学力の向上につなげること。				
成 果 指 標	指 標	目 標 値 等			
【総】 標準学力検査における全国標準以上の教科の割合		増加させる			
【総】 全国学力・学習状況調査における各教科が好まると答えた子どもの割合		増加させる			
目 的 趣 旨	教育支援員を配置することで、通常学級や特別支援学級において個別の支援を必要とする児童生徒への学級担任等の指導を補助したり、要支援児童生徒の介助にあたる。また、研修会を実施し、教育支援員による支援の質的向上を図る。				
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等				
教育支援員が対応したことにより効果が見られた児童生徒の割合	95%				
教育支援員が配置されたことにより効果が見られた学校の割合	100%				
事 業 内 容	<p>○業務内容</p> <p>(1) 通常学級における個別に支援を要する児童・生徒への学習支援と生活支援</p> <p>(2) 特別支援学級における児童・生徒への学習支援と生活支援</p> <p>(3) 教育支援員の質的向上を図るための研修会実施(年3回)</p> <p>○人数と勤務形態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育支援員50名を学校の要望を精査し配置する。 ・ 1日6時間 x 200日 <p>○研修内容</p> <p>(1) 第1回教育支援員等研修会(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職務について ・ 支援員の役割について ・ 学級でのサポートの仕方について <p>(2) 第2回教育支援員研修会(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援教育研修会と兼ねて実施 <p>(3) 第3回教育支援員研修会(10月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な支援のありかたについて(演習) ・ 困り感の背景にあるもの、手立てについて考える 				
事 業 の 概 要	<p>○主な特定財源</p> <p>さかた広域基金繰入金 15,000千円</p>				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属 R3 教育委員会中学校教育課 R2 教育委員会中学校教育課
事 業 名	学力向上対策事業 【継続事業】			
予算額(千円)	15,135	国庫支出金	県支出金	市 債
				その他
				一般財源
上位	第1章 > 政策3 > 施策2			
施設	確かな学力の向上			
策の概要	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果			
	基礎基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようとも、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。			
	成 果 指 標	目 標 値 等		
	【総】標準学力検査における全国標準以上の教科の割合	増加させる		
	【総】全国学力・学習状況調査における各教科が好ましく答えた子どもの割合	増加させる		
	目 的	児童生徒の能力・学力を把握し、学習指導要領に対応した授業改善や小中9年間を見通した学びの推進を通して、「生きる力」を支える「確かな学力」の育成を目指す。また、楽しい学校生活を送るためのアンケート実施と分析により学び合う集団を育成する。		
	活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等		
	標準学力検査における各教科以上の教科の割合	100%		
	全国学習における各教科が好ましく答えた子どもの割合	80%以上		
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 標準学力検査・知能検査の実施と分析 市内全小中学校において小学4年から中学3年を対象とした標準学力検査、小学4年、中学1年を対象とした知能検査を実施し、児童生徒の標準的学力と基礎的・基本的な内容の到達状況を把握し、日常の授業改善及び指導力の向上に資するための調査研究を行う。</p> <p>(2) WEBQU(楽しい学校生活を送るためのアンケート)の実施と分析 市内全小中学校において小学3年から中学3年を対象とした楽しい学校生活を送るためのアンケートを実施・分析し、学び合う集団づくりの育成を図る。</p> <p>(3) 単元研究授業 市内の小中学校に外部講師の指導を受けながら児童生徒の主体的な学習と活用力向上を目的とし指導過程の委頓研究を行う。</p> <p>(4) 小中授業力向上研修 算数・数学と外国語教育については市内全小中学校教員を対象とし、小中学校のつながりを意識した授業改善に向けた実践的な研修を行う。</p> <p>(5) 図書館教育・読書指導の充実 読書指導や図書館運営の充実を図るための研修を行う。</p> <p>(6) 教育参与の招聘による学力向上策の検討 大阪大学大学院人間科学研究科の志水宏吉教授より、学力向上施策に対する指導・助言を受けながら、学力向上施策について検討を行う。</p>			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属 R3 教育委員会中学校教育課 R2 教育委員会中学校教育課
事 業 名	外国語指導助手招致事業 【継続事業】			
予算額(千円)	8,652	国庫支出金	県支出金	市 債
				その他
				一般財源
上位	第1章 > 政策3 > 施策2			
施設	確かな学力の向上			
策の概要	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果			
	多様な文化や個性を認め合える国際理解の基礎を涵養することにより、変化に対応し、社会で自立できる力を育成すること。			
	成 果 指 標	目 標 値 等		
	【個】「英語が好き」という児童生徒の割合	増加させる		
	目 的	市内各小学校の外国語活動、中学校の英語の授業に外国語指導助手を派遣して、児童生徒の学習意欲とコミュニケーション能力の向上を図ることで、外国の人々の生活や文化について理解を深め、国際理解の基礎を涵養する。		
	活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等		
	ALTTの授業実施校数	29校		
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>(1) ALTTの業務内容(地域人材2名、JET5名) ①中学校で英語担当教員の授業や教材作成の補助を行う。 ②小学校で英語担任等が行う外国語活動や外国の生活・文化について理解を深める学習活動の補助を行う。 ③学校行事等に積極的に参加し、生徒との交流を深める。 ④英語弁論大会出場生徒への指導にあたる。</p> <p>(2) 英語教育コーディネーターの業務内容(1名) ①JETプログラム及び県国際交流室との連携 ②小・中学校への外国語教育支援(学校訪問) ③ALTT受け入れ及び帰国するALTTの対応 ④ALTT派遣計画作成 ⑤ALTTの生活面のサポート</p>			

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会学校教育課 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	理科教育推進事業 【継続事業】				
予算額(千円)	1,303	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
上位	第1章 > 政策3 > 施策2				
上位	確かな学力の向上				
上位	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度～令和11年度)				
上位	上位施策の最終成果				
上位	児童生徒の知的好奇心や理料的な資質の向上により、確かな学力の向上を図ること。				
上位	施策の概要				
上位	【総】標準学力検査における全国標準以上の教科の割合 【総】全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合				
上位	成 果 指 標				
上位	目 標 値 等				
上位	増加させる				
上位	増加させる				
上位	目 的 ・ 趣 旨				
上位	小・中学校教職員の理料的分野の指導力向上のための適切な研修を行うとともに、市内小・中学校校長等から推薦を受けた科学的研究について表彰することにより、児童生徒の知的好奇心や探究心を高める。				
上位	活動・手段指標				
上位	目 標 値 等				
上位	20点				
上位	科学賞応募に占める受賞作品数				
上位	○事業内容				
上位	(1) 理料的分野の関心を高めるための観察会及び授業に活かす指導研修会の実施				
上位	①自由研究相談会を7月上旬に開催する。				
上位	②星空観察会を7～9月に開催する。				
上位	③地学領域や生物領域を中心とした野外観察会を8月に開催する。				
上位	④授業に活かす指導研修会を9月に開催する。				
上位	(2) 科学賞の選考・授与				
上位	各小学校から推薦を受けた夏休み自由研究作品、中学校・高等学校・一般の応募作品の中から、栄誉賞、科学賞、奨励賞、努力賞を選定し授与する。また、理科研究記録誌を作成する。				
上位	①科学賞の審査 審査会の開催(3回)				
上位	②表彰式の開催				
上位	③理科研究記録誌「科学する子どもたち」の作成				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会学校教育課 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	小中一貫教育推進事業 【継続事業】				
予算額(千円)	2,139	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
上位	第1章 > 政策3 > 施策2				
上位	確かな学力の向上				
上位	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度～令和11年度)				
上位	上位施策の最終成果				
上位	義務教育9年間を連続した教育課程として捉え、児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえた具体的な教育内容の質を高め、酒田方式の小中一貫教育を推進すること。				
上位	施策の概要				
上位	【総】標準学力検査における全国標準以上の教科の割合 【総】全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合				
上位	成 果 指 標				
上位	目 標 値 等				
上位	増加させる				
上位	増加させる				
上位	目 的 ・ 趣 旨				
上位	小中一貫教育について推進委員会を設置し、調査・検討を行うことにより、各中学校区の実態に即した、特色ある小中一貫教育を推進する。				
上位	活動・手段指標				
上位	目 標 値 等				
上位	100%				
上位	○事業内容				
上位	(1) 推進会議の開催				
上位	・ 学校関係者、有識者による推進委員会を実施する。※学力向上推進会議を包括				
上位	・ 酒田市における小中一貫教育の方向性を検討する。				
上位	・ 各中学校区の取り組みを共有し、効果の検証を図るとともに、取り組みの改善につなげる。				
上位	(2) 小中一貫教育に係る合同研修会の実施				
上位	・ 中学校区ごとに合同研修会を実施する。				
上位	・ 「目指す子ども像の共有」及び「9年間の系統的な教育課程の編成・実施」を				
上位	目指し、軸となる取り組みを検討する。				
上位	(3) 中学校区ごとの実態				
上位	・ 授業の相互参観や交流を通して、指導観を共有するとともに、生徒指導の方針、				
上位	継続的な特別支援教育など、小中連携の取り組みを整理、統合していく。				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会学校教育課 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	学校 ICT 環境整備事業			【継続事業】	
予算額 (千円)	6,094	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
					6,094
総合計画	第1章 > 政策3 > 施策2				
個別計画	確かな学力の向上 第2期酒田市教育振興基本計画 (令和2年度～令和11年度)				
上位 施策の概要	<p>学校に整備された ICT 機器を活用し、高度かつ効率的な教育を実現することで、児童生徒の確かな学力の向上を図ること。</p> <p>上位 施策の最終成果</p> <p>【総】 標準学力検査における全国標準以上の教科の割合 (令和4年) 増加させる 【総】 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合 (令和4年) 増加させる 【個】 ICT 機器を活用できる教員の割合 小100% 中100%</p> <p>目的 趣 旨</p> <p>校務支援システムに新たな機能を追加することで、より快適な学校 ICT 環境を構築する。</p> <p>活動・手段指標</p> <p>目 標 値 等</p> <p>年度内事業の完了</p>				
事業内容	<p>校務支援システム出席管理機能の追加 令和2年度に整備した校務支援システム (指導要録) に出席管理機能を追加することとで教員の負担軽減を図り、働き方改革に繋げる。</p>				
事業の概要	<p>○主な特定財源 教育振興基金繰入金 6,094千円</p>				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会学校教育課 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	G I G A スクールの推進事業			【新規事業】	
予算額 (千円)	36,786	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
					36,786
総合計画	第1章 > 政策3 > 施策2				
個別計画	確かな学力の向上 第2期酒田市教育振興基本計画 (令和2年度～令和11年度)				
上位 施策の概要	<p>学校に整備された ICT 機器を活用し、高度かつ効率的な教育を実現することで、児童生徒の確かな学力の向上を図ること。</p> <p>上位 施策の最終成果</p> <p>【総】 標準学力検査における全国標準以上の教科の割合 (令和4年) 増加させる 【総】 全国学力・学習状況調査における各教科が好きと答えた子どもの割合 (令和4年) 増加させる 【個】 ICT 機器を活用できる教員の割合 小100% 中100%</p> <p>目的 趣 旨</p> <p>児童生徒一人一人に整備された G I G A スクールの端末を快適に使用できる校内ネットワークの保守・運用を行うとともに、セキュリティや協働学習支援ソフトの更新、学習ドリルの導入により、児童生徒の確かな学力の向上を図ること。</p> <p>活動・手段指標</p> <p>目 標 値 等</p> <p>年度内事業の完了</p>				
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) G I G A スクールネットワーク保守 校内無線ネットワークの保守委託により、快適なネットワーク環境の維持と障害が発生した場合に早期復旧を図る。</p> <p>(2) G I G A 用フィルタリングソフトウェア更新 G I G A スクールにおけるセキュリティソフトを間断なく更新することで、児童生徒の安全な利用環境を維持する。</p> <p>(3) 協働学習支援ツールライセンス更新 教職員が G I G A スクール端末に入っている基本ツールをより効果的に授業に活用するためにライセンス更新を行う。</p> <p>(4) 学習ソフトウェアライセンス購入 児童生徒が G I G A スクール端末を利用して個別最適化された学習を行うことができる学習ソフトウェア「eライブラリ (予定)」を導入する。</p>				
事業の概要					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会中学校教育課 R2 教育委員会中学校教育課
事 業 名	スポーツ活動等支援事業			【継続 事業】	
予算額 (千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
4,808		2,352			2,456
上位	第1章 > 政策3 > 施策3				
施設	豊かな心と健やかな体の育成				
策の概要	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 運動の楽しさや喜びに轉れさせながら、体育学習や部活動等の指導内容を充実させることにより、児童生徒の体力・運動能力の向上を図ること。				
【総】	運動が好きと思っている子どもの割合	目標値等	増加させる		
目的	陸上サポーターを派遣し、小学校教員の指導力向上を図ることで児童の体力・運動能力の向上を目指す。中学校において部活動の指導、大会への引率等を行うことを職務とする部活動指導員を配置することで、教員の負担軽減及び部活動の質的向上を目指す。				
活動・手段	サポーター派遣事業への参加校数	目標値等	15校 80%		
5段階中4以上の自己評価をした中学校の割合					
事業内容	(1) 記録会の開催 市内全小学校の参加による陸上競技及び水泳競技記録会を開催する。 (2) 陸上指導サポーターの派遣 小学校の体育授業における運動を支援するために、小学校中学年に陸上指導のサポーターを派遣する。 (3) 部活動指導員について ①派遣校 学校の希望により決定(10~15校程度) ②派遣時間 1校あたり年間計3~6時間 ③講師 教員委員会で選定 ④配置校 中学校 ⑤中学校7校に配置 ⑥業務内容 ・安全・障害予防に関する知識・技能の指導 ・学校外での活動(大会・練習試合等)の引率 ・用具・施設の点検管理 ・部活動の管理運営(会計管理等) ・保護者等への連絡 ・年間・月間指導計画の作成 ・生徒指導に係る対応 ・事故が発生した場合の現場対応 等				
事業の概要	○主な特定財源 教職員働き方改革推進事業補助金(県) 2,352千円				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属	R3 教育委員会中学校教育課 R2 教育委員会中学校教育課
事 業 名	キャリア教育推進事業			【継続 事業】	
予算額 (千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
1,270					1,270
上位	第1章 > 政策3 > 施策4				
施設	学校・家庭・地域との連携				
策の概要	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 キャリア教育を通じて地域の様々な職種の人と関わり地元を再認識することにより、児童生徒一人ひとりが、将来の夢を持ち、よりよく生きるための資質と能力を育成すること。				
【個】	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(令和6年度)	目標値等	小88% 中70%		
【個】	難しいことでも失敗をおそれないで挑戦する児童生徒の割合(令和6年度)	目標値等	小86% 中74%		
目的	各小中学校が独自の視点から企画実施するキャリア教育活動を実施する。				
活動・手段	5段階中4以上の自己評価をした小中学校の割合	目標値等	90%		
事業内容	○事業内容 「キャリア教育の推進」をテーマの柱に据え、学校提案型のキャリア教育活動を実施するため、キャリア教育推進事業交付金を交付する。 事業実施時の視点等 ・児童生徒が自らの将来において自己実現を図り、主体的な生き方ができるよう資質能力を育んでいく。 ・職場体験、地域人材、企業や商工会議所等との連携した取組みを通して、勤労観や職業観を育成する。 ・希望する職業に就くには学力や資格の取得が必須となることを学び、現在の学力や能力などを少しでも向上させる動機付けとする。 ・地元企業で就労し、自身のキャリアを児童生徒に直接伝えられる貴重な機会とする。また地元で働くことの良さを再認識してもらうことで将来的な若者の地元定着に繋げる。 ※事業交付金は、小中学校より計画・予算提案後に決定して事前交付する。				
事業の概要					

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属 R3 教育委員会学校教育課 属 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	【継続事業】 自然体験学習事業			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
4,233				4,233
上位	第1章 > 政策3 > 施策4 学校・家庭・地域との連携			
上位	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度)			
上位	上位施策の最終成果			
施策の概要	生まれ育った酒田の自然を体験することにより、酒田の自然の素晴らしさを誇りに感じる子どもを育成すること。			
成 果 指 標	「自然体験学習」参加児童満足度			目 標 値 等
	100%以上			
目 的 ・ 趣 旨	県内唯一の離島である飛島を利用した「飛島いきいき体験スクール」や島海高原家族旅行村を基点とした「自然体験学習」を実施することで、酒田の自然を体験する。			
活 動 ・ 手 段 指 標	「飛島いきいき体験スクール」参加児童数			目 標 値 等
	100人			
	「自然体験学習」参加児童数			450人
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 飛島いきいき体験スクール ①活動拠点となる飛島小中学校に必要備品を整備、維持管理する。 ②安全で充実した活動となるよう、事前踏査を行う。 ③体験スクール実施にあたり必要となる経費について保護者負担を軽減するたため負担金を交付する。 ④飛島いきいき体験スクール実行委員会 ・実施予定の2校(浜田小学校、宮野浦小学校)で実行委員会を組織する。 ・参加は各学校の希望とし、参加する児童は4年生又は5年生とする。 ⑤主な体験学習 ・海の生物観察・標本作り・植物の観察・昆虫の観察・ウミノコの観察 ・星空の観察・島のつくり・地層観察・飛島の昔話を聞く ・漁業体験(イカ釣り、イカをさばく、イカの公園、荒崎等) ・島巡り探検(巨木の森、テギ穴、海釣り公園、荒崎等) ・ボランティア活動(海岸のゴミ拾い、島内の清掃活動) ・貝殻、流木等を使ってのクラフト活動 など</p> <p>(2) 自然体験学習 ①活動拠点となる島海高原家族旅行村に必要備品を整備、維持管理する。 ②安全で充実した活動となるよう、利用者団体セミナールを実施する。 ③体験学習実施にあたり必要となる経費について業務委託する。 ④自然体験学習実行委員会 ・実施予定の10校(孫成小学校、浜田小学校、亀ヶ崎小学校、広野小学校、東海小学校、宮野浦小学校、八幡小学校、平田小学校、一條小学校、島海小学校)で実行委員会を組織する。 ・参加は各学校の希望とし、参加する児童は4年生又は5年生とする。 ⑤主な体験学習 ・登山・ネイチャーゲーム・野外炊飯・高原学習 ・猛禽類保護センター見学・木工クラフト など</p>			
事業の概要				

款 項 目	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 指導費	所 属 R3 教育委員会学校教育課 属 R2 教育委員会学校教育課
事 業 名	【継続事業】 中村ものづくり事業			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
2,003				2,003
上位	第1章 > 政策3 > 施策6 地域の教育機関との連携			
上位	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度)			
上位	上位施策の最終成果			
施策の概要	小中学生がものづくりに興味・関心を持ち、製品の仕組みや原理を身出す能力、創造性、原理を応用して生活に生かす力、主体的に課題解決に取り組み能力と態度を高めることにより、本市を支える人材を育成すること。			
成 果 指 標	「自然体験学習」参加児童満足度			目 標 値 等
	80%以上維持			
目 的 ・ 趣 旨	科学的な原理を応用した「科学・工学系ものづくり」の楽しさを子ども達に体験させることと科学的・技術的な資質の育成を図り、本市のものづくりに関する教育を推進する。			
活 動 ・ 手 段 指 標	事業参加延べ人数			目 標 値 等
	1,050人			
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>ものづくり実行委員会が子ども達の科学的・技術的な資質向上を図る事業を開催する。</p> <p>(1) チャレンジンションものづくり塾 ・小中学生を対象に年5回開催 Aコース：移動ロボット Bコース：3モーターロボット ・講師は産業技術短期大学、酒田光陵高等学校に依頼</p> <p>(2) サイエンス発明教室 ・鶴岡工業高等学校に講師を依頼し、低学年に合ったメニューを2コース設定 ・両コースが体験できるよう途中中入れ替え制で行う</p> <p>(3) ものづくり出前授業 ・希望校に講師を派遣し特別授業を実施 ・講師は鶴岡工業高等学校、酒田光陵高等学校に依頼</p> <p>○主な特定財源 中村ものづくり基金利子及び配当金 3千円 中村ものづくり基金繰入金 2,000千円</p>			
事業の概要				

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	1目 生涯学習振興費	所 属	R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	生涯学習推進講座開催事業 【継続 事業】				
予算額 (千円)	3,005	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
			217		102
					2,686
上位 施策の 概要	第1章 > 政策4 > 施策1 社会教育の振興 酒田市生涯学習推進計画(令和2年度～令和11年度) 上位施策の最終成果 社会の変化に対応した生涯学習の機会を提供することにより、個人が地域社会に自立的に参画するとともに、身近な地域活動への参加による交流の促進と人材の育成を通して地域コミュニティが活性化すること。 【総】地域の行事に参加した市民の割合(令和4年度) 60% 70% 自己の充実、生活の向上、豊かな人生を送るための講座や地域人材を育成する講座を開催し、様々な事業において地域人材の活躍の場を創出することによって、地域の行事等に関心をもつ市民を増やし、地域づくりの実践につなげていく。 講座延べ参加者数 34,000人				
事 業 の 概 要	○事業内容 人生100年時代を見据え、「いつでも」「どこでも」「だれでも」、すべての市民が生涯学習活動に取り組み、自ら学び、他者とつながり、持続可能なまちづくりにつながる生涯学習活動に資するような講座を実施する。 具体的には、人生を年代で区切らないマルチステージと捉え、各人の状況に応じて参加できる全世代を対象にした事業と、人間形成の基礎となる乳幼児期を対象にした事業、加えて多様化している高齢者の学習ニーズに対応した事業を展開する。 また、地元酒田を知ることによって郷土愛の醸成に資する講座も実施していく。 (1) 各種講座の実施 全世代型対象(学び直し講座等) 乳幼児期対象(幼児子育てつづがが出席講座等) 高齢期対象(デジタル社会対応講座<仮称>等) (2) 学習成果の発表の場の確保 生涯学習まつりの実施等 ○主な特定財源 家庭教育推進事業費補助金(県) 217千円 講座受講料 102千円				

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	1目 生涯学習振興費	所 属	R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	生涯学習振興支援事業 【継続 事業】				
予算額 (千円)	604	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
					604
上位 施策の 概要	第1章 > 政策4 > 施策1 社会教育の振興 酒田市生涯学習推進計画(令和2年度～令和11年度) 上位施策の最終成果 身近な地域活動への参加により交流が促進されるとともに、人材の育成を通して地域コミュニティが活性化すること。 【総】地域の行事に参加した市民の割合(令和4年度) 60% 生涯学習団体の自主活動に対して補助を行うことで、関係者による新たなネットワークの構築など自主活動の一層の充実を図る。 補助金交付団体の活動回数 140回				
事 業 の 概 要	○事業内容 地域指導者による青少年の健全育成活動、婦人会活動などの生涯学習活動を推進する諸活動へ補助金を交付し各団体の活動を支援する。 ○補助金交付予定団体 (1) 子ども会育成連合会 本市の地域子ども会相互の連絡連携を密にして、その充実と発展に寄与することを目的とし、学区地区連絡相互の連絡調整及び情報の交換、指導者及びびりダーの育成と研修等の活動をしている。 (2) 酒田海洋少年団 少年、少女に対し海に親しみながら、団体生活の規律を通して社会的徳性を陶冶(とうや)し、国際親善に寄与することを目的としている。あわせて、基本訓練及び海上訓練のほか子どもまつりへの参加を通して海軍思想の普及等の活動をしている。 (3) 婦人会連絡協議会 本市各地域婦人会の連携と親睦を図ることを目的とし、全国各地域婦人団体連絡協議会並びに県婦人連盟の活動方針を踏まえながら、各地域の実情や独自性を生かした活動を各地域婦人会が主となり行っている。 (4) 青少年を伸ばそう市民会議 青少年育成の重要性に鑑み、関係団体が連携して、次代を担う青少年の健全な活動及び育成を図ることを目的とし、市民の青少年に対する認識と協力意識の高揚を図る等の活動をしている。 (5) 白鳥を愛する会 最上川スワンパークに飛来する白鳥の生息環境をつくり、もって自然愛護の思想普及と市民の憩いの公園づくりを図ることを目的とし、白鳥及び野鳥の自然観察を通して子どもたちの情操教育や、四季を通して水と緑と花にふれあえる市民の広場としての環境づくり等の活動をしている。				

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	1目 生涯学習振興費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	鳥海山・飛島ジオパーク講座開催事業 【継続事業】			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
231				231
上位 施策の概要	<p>総合計画 第5章 > 政策5 > 施策5 鳥海山・飛島ジオパークの活用</p> <p>個別計画 酒田市生涯学習推進計画(令和2年度～令和11年度) 上位施策の最終成果</p> <p>鳥海山・飛島ジオパークに関する資源を磨き、住民と関係団体が一丸となって新たな発想で価値を築き上げることに、交流人口を増やすこと。</p> <p>【総】 八幡、松山、平田地域、飛島地区の交流人口の増加(令和4年度) 100万人</p> <p>目的・趣旨 鳥海山・飛島ジオパークに関する自然・歴史・文化等について学ぶ機会を提供することにより、郷土を愛し、大切にしようとする心を育てる。</p> <p>成果指標 目標値等 参加者の事業に対する満足度 85%</p>			
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 飛島エリアツアー ・ 成人を対象とした飛島をめぐる現地体験型学習ツアー (6月実施予定 10人)</p> <p>(2) ワンダージオバスツアー ・ 小学校高学年を対象とした現地体験型学習ツアー (夏休み前に実施予定 酒田・遊佐エリア 10人)</p> <p>(3) 市民向けジオ講座 ・ 市民を対象としたジオパーク初学向けの現地体験型学習ツアー (9月実施予定 10人 飯森山、城輪橋跡、丸池様等を予定) 第1講：各エリアの見どころ、歴史、文化を学習(講座形式) 第2講：酒田エリア(現地見学バスツアー) 第3講：遊佐エリア(現地見学バスツアー)</p>			

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	2目 文化振興費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課												
事 業 名	文化施設長寿命化対策事業 【継続事業】															
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他												
192,278			173,000	19,278												
上位 施策の概要	<p>総合計画 第1章 > 政策4 > 施策2 文化芸術の推進</p> <p>個別計画 酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度) 上位施策の最終成果</p> <p>文化施設の適切な機器の更新や施設整備により、多様な文化芸術活動が可能となる場を提供すること。</p> <p>【総】 文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年度) 45%</p> <p>目的・趣旨 文化施設について予防修繕的な視点による対策を施すことで、将来の修繕費用を抑制するとともに、機能の維持及び長寿命化を図る。</p> <p>活動・手段指標 目標値等 年度内事業の完了</p>															
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 市民会館の改修工事 ・ 外壁改修工事(全体に剥落の可能性があり事故発生の危険性が高い状態のため実施) ・ 舞台吊物機構改修工事(吊物巻取軸破損の可能性があるため実施) ・ 音響設備改修工事(機能劣化によるノイズ・音質低下を改善するため実施) …継続費を設定(2か年継続工事の2年目)</p> <p>【継続費】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>総額</th> <th>年度</th> <th>年割額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文化施設長寿命化対策事業</td> <td>217,003</td> <td>令和2年度</td> <td>130,202</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和3年度</td> <td>86,801</td> </tr> </tbody> </table> <p>○主な特定財源 地域活性化事業債(市債) 173,000千円</p>				事業名	総額	年度	年割額	文化施設長寿命化対策事業	217,003	令和2年度	130,202			令和3年度	86,801
事業名	総額	年度	年割額													
文化施設長寿命化対策事業	217,003	令和2年度	130,202													
		令和3年度	86,801													

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	2目 文化振興費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課												
事 業 名	土門拳文化賞顕彰事業 【継続事業】															
予算額(千円)	1,779	国庫支出金	県支出金	市 債												
				その他												
				1,779												
上位	第1算 > 政策4 > 施策2															
施設	文化芸術の推進															
策の概要	酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度)	上位施策の最終成果														
	地域の文化芸術を支える人材を育成するとともに、誰もが身近に多様な文化芸術を鑑賞し、及び文化芸術活動を活発に行うことができる文化的環境を整備すること。															
	成 果 指 標	目 標 値 等														
	【総】文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年度)	45%														
	目 的 ・ 趣 旨	土門拳氏の功績を記念した顕彰を行い、酒田市と土門拳記念館の魅力を全国にPRすることと、全国から注目を集めるとともに、市民の文化芸術への関心を高める。														
	活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等														
	受賞作品展入館者数	1,800人														
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>(1) 国内のアマチュア写真愛好家を対象に写真コンクール「第27回酒田市土門拳文化賞」を開催する。</p> <p>(2) 土門拳記念館と東京都及び大阪府において、受賞者(土門拳文化賞1名と土門拳文化賞奨励賞3名)の作品展「第27回酒田市土門拳文化賞受賞作品展」を開催する。</p> <p>(3) 新型コロナウイルス感染症防止のため令和2年度に実施できなかった「第26回酒田市土門拳文化賞受賞作品展」の東京展及び大阪展を、第27回と時期を別にして実施する。</p> <p>参考：酒田市土門拳文化賞応募者数(過去3回)</p> <table border="1"> <tr> <td>開催回</td> <td>応募者数</td> <td>(都道府県数)</td> </tr> <tr> <td>第26回</td> <td>138人</td> <td>(37都道府県)</td> </tr> <tr> <td>第25回</td> <td>137人</td> <td>(35都道府県)</td> </tr> <tr> <td>第24回</td> <td>131人</td> <td>(36都道府県)</td> </tr> </table>				開催回	応募者数	(都道府県数)	第26回	138人	(37都道府県)	第25回	137人	(35都道府県)	第24回	131人	(36都道府県)
開催回	応募者数	(都道府県数)														
第26回	138人	(37都道府県)														
第25回	137人	(35都道府県)														
第24回	131人	(36都道府県)														

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	2目 文化振興費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課															
事 業 名	市民芸術祭開催事業 【継続事業】																		
予算額(千円)	2,485	国庫支出金	県支出金	市 債															
				その他															
				2,485															
上位	第1算 > 政策4 > 施策2																		
施設	文化芸術の推進																		
策の概要	酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度)	上位施策の最終成果																	
	誰もが身近に多様な文化芸術を鑑賞するとともに、文化芸術活動を活発に行うことができる文化的環境を整備すること。																		
	成 果 指 標	目 標 値 等																	
	【総】文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年度)	45%																	
	目 的 ・ 趣 旨	市民の文化芸術活動を広く公衆する場として、酒田市市民芸術祭を開催することで、文化芸術に対する市民の興味関心の向上を図る。																	
	活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等																	
	市民芸術祭入場者数	25,000人																	
事業の概要	<p>○事業内容</p> <p>市及び教育委員会と酒田市芸術文化協会の主催で、市民芸術祭実行委員会により、第65回目となる市民芸術祭を開催する。</p> <p>(1) 市民会館で9月11日に開幕式典・公演を開催する。</p> <p>(2) 開幕公演では舞台公演以外にも、生け花、ステンドグラスなどの作品展示のほか、豆茶コーナーを設ける等、多くの市民の来場を促す。</p> <p>(3) 市内各地で酒田市芸術文化協会に加盟する団体等による事業を開催し、舞台公演や作品展示を行う。</p> <p>(4) 事業終了後、市民芸術祭の記録誌を発刊する。</p> <p>参考：令和2年度市民芸術祭実行委員会構成内容</p> <table border="1"> <tr> <td>実行委員長</td> <td>酒田市芸術文化協会会長</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>副実行委員長</td> <td>同 副会長</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>実行委員</td> <td>同 理事</td> <td>29名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務局(芸術文化協会)</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市社会教育文化課</td> <td>3名</td> </tr> </table>				実行委員長	酒田市芸術文化協会会長	4名	副実行委員長	同 副会長	4名	実行委員	同 理事	29名		事務局(芸術文化協会)	6名		市社会教育文化課	3名
実行委員長	酒田市芸術文化協会会長	4名																	
副実行委員長	同 副会長	4名																	
実行委員	同 理事	29名																	
	事務局(芸術文化協会)	6名																	
	市社会教育文化課	3名																	

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2目 文化振興費	R3 教育委員会社会教育文化課
事業名	文化芸術推進事業 【継続事業】			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
24,448	291	775		22,958
424	一般財源			
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策2			
個別計画	文化芸術の推進 酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度)			
上位 施策の概要	上位 施策の最終成果 酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度) 総合的に文化芸術の推進に取り組むことにより、自由で多様性を認める心豊かな市民生活と、誇りの持てる酒田らしさを創造すること。			
成 果 指 標	文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年)			目標値等
	【総】文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年)			45%
目 的 趣 旨	酒田市文化芸術基本条例及び酒田市文化芸術推進計画に掲げる「社会包摂と育成」の方針のもと、文化芸術全般にわたる多様な事業を実施することにより、総合的に文化芸術を推進する。			
活動・手段指標	ワークシヨップ・アウトリーチ等の体験型事業の実施数			目標値等
	地域資源に着目した事業の実施数			15回 2回
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 音楽のまちプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山形交響楽団による楽器クリニック及び指揮者工藤俊幸氏による合唱指導 ・吹奏楽部に所属する学生対象に山形交響楽団の奏者が楽器奏法について指導する。 ・市内中学生を対象にプロの指揮者による合唱コンクールのための合唱指導を行う。 ・室くじ文化公演「ハッピー・ジャズ・アワー」 ・広く市民が親しみやすく人気の高い分野で、質の高い鑑賞事業を実施する。 <p>(2) 現代ダンス活性化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンチネンポラリーダンスの魅力を発信するためワークシヨップ・公演を実施する。 <p>(3) SAKATAアートマルシェ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酒田市出身の画家佐藤真生氏を中心として、市民と協働でアート展を実施する。 ・佐藤タカヒロ展 ・平成30年に逝去された本市出身の漫画家故佐藤タカヒロ氏を偲んで原画展示会・関係者による講演会を開催する。 ・アートワークシヨップ ・佐藤真生氏、東北芸術工科大学准教授松村泰三氏を講師として、アートを体験できるワークシヨップを開催する。 <p>(4) 市民ワークシヨップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術を活かした街づくりについて考える講演会とワークシヨップを開催する。 			
事業の概要	<p>○主な特定財源</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望ホール振興基金利子及び配当金 7,958千円 希望ホール振興基金繰入金 8,700千円 一般財団法人地域創造助成金 6,300千円 			

款 項 目	10款 教育費	4 項 生涯学習費	2目 文化振興費	R3 教育委員会社会教育文化課
事業名	スクールプログラム実施事業 【新規事業】			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
449				449
449	一般財源			
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策2			
個別計画	文化芸術の推進 酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度)			
上位 施策の概要	上位 施策の最終成果 酒田市文化芸術推進計画(平成30年度～令和9年度) 総合的に文化芸術の推進に取り組むことにより、自由で多様性を認める心豊かな市民生活と、誇りの持てる酒田らしさを創造すること。			
成 果 指 標	文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年度)			目標値等
	【総】文化芸術活動に参加した市民の割合(令和4年度)			45%
目 的 趣 旨	酒田市文化芸術基本条例及び酒田市文化芸術推進計画に掲げる「社会包摂と育成」の方針のもと、土門拳記念館及び酒田市美術館におけるスクールプログラムを構築し、授業の一環として取り組み、多様性に対応した人材の育成を目指す。			
活動・手段指標	スクールプログラム実施回数			目標値等
	5回			5回
事業内容	<p>○事業内容</p> <p>(1) 令和3年度は、同プログラムの試行期間とし令和4年度からの本格実施を目指す。</p> <p>(2) プログラムの内容は、酒田市教育研究所(図工・美術)や市内教育事務所の先生方、土門拳記念館、酒田市美術館、酒田市教育委員会が共同で検討する方式をとる。</p> <p>(3) プログラムは、作品鑑賞を中心とした「基本プログラム」と、鑑賞から一歩踏み出し、学芸員の職業を体験して展覧会を企画したり、アーティストのワークショップに参加する「オリエジナルプログラム」から構成され、さらに学校独自に作成するプログラムもオリエジナルプログラムに含まれる。</p> <p>(4) スクールプログラム実施で期待される効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛の醸成 ・酒田で生まれた子供たちが、本市の宝である土門拳記念館や酒田市美術館を小中学校の授業の中で1度は訪問し、写真家土門拳をはじめとする本市出身の偉大な写真家や作家の活動を知ること、誇りの醸成が期待できる。 ・本物との出会い ・感動、共感、共鳴できる多様な作品との出会いは、作家や美術作品を通して深い学びや多様な生き方を知る機会となり、広い学びと生きる力を育むことが期待できる。 ・アートから学ぶ多様性 ・多様な答えが認められるアートの世界は、自分のものの見方、自分なりの答えが肯定されることから、自己肯定感を高め、多様な社会の価値に対する柔軟な考え方や物の見方を養うことが期待できる。 			
事業の概要				

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	3目 文化財保護費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	文化財保存活動支援事業 【継続事業】			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
1,519				1,519
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策2			
個別計画	文化芸術の推進 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度)			
上位 施策の概要	文化財を維持・公開することで、市民の文化財に触れる機会を確保し、文化財の保護に對する意識を高め、ふるさとへの誇りと愛着を持つことができている地域社会の実現を図ること。			
成 果 指 標	【国】文化資源について誇りを持っている市民の割合(令和4年)			目 標 値 等
	79%			
目 的・趣 旨	国、県及び市指定の文化財又は指定されていない無形民俗文化財の保存活動を行っている団体等に対する補助又は酒田市民俗芸能保存会を通じた活動に対する支援を行うことにより、文化財の保存と伝承を図る。			
活 動・手 段 指 標	国・県・市指定文化財の指定又は登録数(現状維持) 民俗芸能保存会加盟団体数(現状維持)			目 標 値 等
	398件 34団体			
○事業内容	<p>(1) 国指定名勝である「絶光寺庭園」の維持管理を支援する。</p> <p>(2) 国指定名勝である「本間氏別邸庭園(鶴舞園)」の維持管理を支援する。</p> <p>(3) 県指定無形民俗文化財の「松山能」の伝承及び技術の継承を行っている松山能振興会の活動を支援する。</p> <p>(4) 市指定無形民俗文化財の「松山藩萩野流砲術」の伝承及び技術の継承を行っている松山藩萩野流砲術伝承保存会の活動を支援する。</p> <p>(5) 酒田市の民俗芸能団体を支援している酒田市民俗芸能保存会の活動を支援する。</p>			
事 業 の 概 要				

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	3目 文化財保護費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	未来へ受け継ぐ伝統文化はぐくみ事業 【継続事業】			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
1,344		200		1,144
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策2			
個別計画	文化芸術の推進 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度)			
上位 施策の概要	伝統芸能等の継承者を育成し、市民に伝統芸能の鑑賞の場を提供することで、民俗芸能への関心と伝統文化への誇りを醸成するとともに、交流人口の増加や移住の促進につながるなど地域の活性化に資すること。			
成 果 指 標	【国】文化資源について誇りを持っている市民の割合(令和4年)			目 標 値 等
	79%			
目 的・趣 旨	酒田民俗芸能公演会(民俗芸能フェスタ)や黒森歌舞伎酒田公演を開催することなどにより、伝統芸能等の継承者を育成するとともに、保存継承団体の活動を支援する。			
活 動・手 段 指 標	市指定文化財の件数(現状維持) 公演等への参加延べ人数			目 標 値 等
	317件 2,000人			
○事業内容	<p>(1) 民俗芸能公演会(民俗芸能フェスタ)の開催 年1回 酒田市民俗芸能保存団体の発表の機会を創出するとともに、市民への民俗芸能の鑑賞の場を提供し、民俗芸能への関心を高めることにより継承の契機となっている。</p> <p>(2) 黒森歌舞伎酒田公演の開催 年1回 県指定無形民俗文化財「黒森歌舞伎」を広く市民に見ていただくことにより、座掛の価値を再認識し、保存継承の機運を高めることにより後継者育成を図っている。</p> <p>(3) 民俗芸能保存活動団体への練習会場の確保 市指定無形民俗文化財等の練習及び公演で使用する会場使用料を市が負担することにより、市指定無形民俗文化財等の活動を支援している。</p> <p>(4) 小学5年生向け狂言体験ワークショップの実施 小学5年生を対象に地元「松山能」による体験ワークショップを開催することにより、民俗芸能への関心と伝統文化のはぐくむ心を醸成している。</p>			
事 業 の 概 要	<p>○主な特定財源 市町村総合交付金(伝統芸能育成事業(ふるさと塾)) (県) 200千円</p>			

款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	3目 文化財保護費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	【継続事業】 史跡旧屋根修復事業			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
69,894	34,400	1,066	29,100	1,000
	第1章 > 政策4 > 施策2 文化芸術の推進			一般財源
上位 施策の概要	個別計画 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 国指定史跡「旧鶴屋」の保存と活用を図り、地域資源を理解し、愛着を持つことにより、地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成するとともに、交流人口の増加や移住の促進につながるなど地域の活性化に資すること。 【個】文化資源について誇りを待っている市民の割合(令和4年) 79% 目標値等			
目 的 趣 旨	国指定史跡「旧鶴屋」は、修理工事から20年が経過したことから、経年のため屋根などに腐食が生じ、雨漏りをしている箇所もあるほか、耐震性がなく地震で倒壊の恐れもあるため、修復工事(屋根の大規模修繕及び耐震補強工事)を実施するもの。			
活動・手段指標	年度内事業の完了			
目 標 値 等	79%			
事業の概要	令和3年度 仮設工事、調査解体工事、木工事、耐震補強工事 令和4年度(予定) 仮設工事、木工事、屋根工事、石工事、コンクリート工事 令和5年度(予定) 仮設工事、木工事、左官工事、電気設備工事 令和6年度(予定) 仮設工事、木工事、雑工事、機械設備工事			
事業内容	文化庁の指導を受けながら、屋根の大規模修繕及び耐震補強工事を行う。 事業の概要 主な特定財源 文化財保存事業費補助金(国) 34,400千円 文化財保存事業費補助金(県) 1,066千円 一般補助施設等整備事業債(市債) 29,100千円 旧屋根修復事業支援寄附金 1,000千円 (ガバメントクラウドファンディング)			

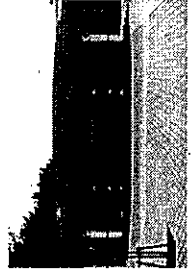
款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	3目 文化財保護費	所 属 R3 教育委員会社会教育文化課 R2 教育委員会社会教育文化課
事 業 名	【新規事業】 山居倉庫保存活用計画策定事業			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
4,080	2,040			2,040
	第1章 > 政策4 > 施策2 文化芸術の推進			一般財源
上位 施策の概要	個別計画 第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度) 上位施策の最終成果 山居倉庫の史跡指定を受け、多くの市民が山居倉庫の持つ歴史的価値を認識することにより、地域の歴史や文化を尊ぶ心を醸成するとともに、交流人口の増加や移住の促進につながるなど地域の活性化に資すること。 【個】文化資源について誇りを待っている市民の割合(令和4年) 79% 目標値等			
目 的 趣 旨	山居倉庫を後世に伝えていくための基本的な計画である「山居倉庫保存活用計画」を策定し、保存活用していく。			
活動・手段指標	年度内事業の完了			
目 標 値 等	79%			
事業の概要	事業内容 それぞれの分野の学識経験者で組織される策定委員会を組織し、「山居倉庫」の史跡等の本質的な価値と構成要素を明確化し、それらを適切に保存活用していくための基本方針、方法、現状変更等の取り扱い基準の策定等を進めていく。 事業概要 令和3年4月 支援業務委託業者決定 7月 第1回策定委員会 令和4年2月 第2回策定委員会 ※保存活用計画策定に必要な調査等を進めていく。 ○主な特定財源 文化財保存事業費補助金(国) 2,040千円			

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属 R3 教育委員会スポーツ振興課 R2 教育委員会スポーツ振興課
事 業 名	白崎資金スポーツ振興事業 【継続事業】			
予算額(千円)	933	国庫支出金	県支出金	市 債
				その他
				933
上位	第1章 > 政策3 > 施策3			
施策の概要	豊かな心と健やかな体の育成 酒田市スポーツ推進計画(令和元年度～令和11年度) 上位施策の最終成果 スポーツ活動に携わる指導者の資質向上や市民のスポーツへの関心を高め、国際大会や全国大会で活躍する選手を数多く育成する。			
成果指標	指標	目標	趣 旨	目標値等
【総】	運動が好きと思っている子どもの割合	増加させる		
【個】	スポーツや運動が好きである子どもの割合(令和11年度)	小85.0%、中75.0%		
【個】	国民体育大会への出場種目数(令和11年度)	20種目以上		
研修会受講者の満足度(5段階評価で4以上の評価率)	活動・手段指標	目標	趣 旨	目標値等
		80%以上		
○事業内容	白崎資金を活用して、小中高・一般の一貫した指導体制の確立と指導者の資質向上を目的とし、実技講習や講演会を開催することにより指導者のレベルアップを推進する。また、全国大会等の上位大会に参加し優秀な成績を収めた選手の栄光を称え表彰する。			
※令和2年度受賞者数: 19人				
○白崎資金の概要	白崎資金は、かつて市内で開業していた医師・故白崎重弥先生のご厚意により設けられたもので、白崎先生の遺志に基づき、スポーツで優秀な成績を残した選手の表彰を昭和55年から行っている。 (根拠: 白崎資金スポーツ優秀選手表彰に関する要綱)			
○主な特定財源	普通財産土地貸付収入 933千円			

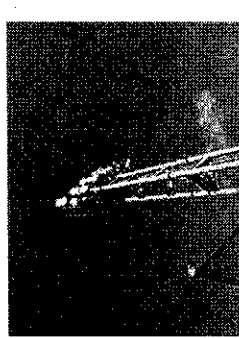
款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属 R3 教育委員会スポーツ振興課 R2 教育委員会スポーツ振興課
事 業 名	スポーツ少年団活動事業 【継続事業】			
予算額(千円)	3,262	国庫支出金	県支出金	市 債
				その他
				3,262
上位	第1章 > 政策3 > 施策3			
施策の概要	豊かな心と健やかな体の育成 酒田市スポーツ推進計画(令和元年度～令和11年度) 上位施策の最終成果 一人でも多くの子どもたちがスポーツ活動に参加できる環境を整備し、スポーツの楽しさを知り、夢を持って取り組むきっかけを体験させることにより、子どもたちの豊かな心と健やかな体を育む。			
成果指標	指標	目標	趣 旨	目標値等
【総】	運動が好きと思っている子どもの割合	増加させる		
【個】	子ども(小学生)のスポーツ実施率(令和11年度)	85%		
小学生のスポーツを対象とした各種大会、地域との交流活動、運動適性テスト、研修会の実施などにより、一人でも多くの子どもたちがスポーツ少年団活動に参加できる環境を整備する。	活動・手段指標	目標	趣 旨	目標値等
		35%		
○事業内容	スポーツ活動を通して、子どもたちの健全な心身を養成するため、各種大会、地域域との交流活動や体力測定などの各種活動を行う。また指導者・育成母集団の育成と団活動の円滑な運営を推進するため、各種研修会の開催や派遣等を行う。子どもたちの健全な心身の育成を目的とした酒田市スポーツ少年団本部活動に対し負担金を支出する。			
(1) 酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会(6種目競技)				
(2) 酒田市・遊佐町スポーツ交流大会				
(3) 運動適性テスト				
(4) 研修会開催・派遣等				
・酒田市スポーツ少年団本部指導者研修会開催				
・指導者講習会・技術講習会開催(6種目競技)				
・ジュニアスポーツフットラム(東京)				
・山形県スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会(県内)				
・山形県スポーツ少年大会(県内)				
指導者及び団員が集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動野外活動・交友交流活動等を通じて、青少年の心と身体を育てることを目的とした大会				
・スタートコート(スポーツ少年団)養成講習会(県内)				
※スポーツ少年団 団員数 令和2年度 1,387人(内小学生 1,368人) 加入率(小学生) 令和2年度 32%				

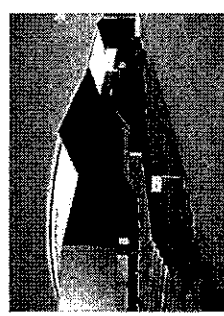
款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属 R3 教育委員会スポーツ振興課 R2 教育委員会スポーツ振興課															
事 業 名	スポーツ行事開催事業 【継続事業】																		
予算額(千円)	16,850	国庫支出金	県支出金	市 債															
				その他 8,001															
				一般財源 8,849															
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策4																		
個別計画	一人1スポーツの推進 酒田市スポーツ推進計画(令和元年度～令和11年度)																		
上位施策の概要	上位施策の最終成果 幅広い年齢層の多くの市民が参加できる各種スポーツ大会やスポーツ教室を開催し、市民の誰もが楽しめる生涯スポーツを推進することにより、スポーツによる賑わいとまちづくりを推進し、交流人口の拡大を図る。																		
成 果 指 標	【総】スポーツ行事への参加者数(令和4年度)			目 標 値 等 37,680人															
目 的 ・ 趣 旨	子どもから大人まで広く市民が参加できる各種スポーツ大会・スポーツ教室を開催し、日常的なスポーツ活動の普及を図る。																		
活 動 ・ 手 段 指 標	延べ参加者数(市体育大会・市民体育祭・つや姫ハーフマラソン・巡回駅伝)			目 標 値 等 8,800人															
事 業 内 容	○事業内容 市主催大会や各種競技大会のほか、県内で行われる縦断駅伝競走大会の実行委員会等に対し負担金を支出する。																		
開催予定の主なスポーツ行事	<table border="1"> <tr> <th>スポーツ行事</th> <th>開催予定日</th> <th>参加見込み数(人)</th> </tr> <tr> <td>(1) 体育大会</td> <td>5月～6月</td> <td>4,000</td> </tr> <tr> <td>(3) 市民体育祭</td> <td>7月4日</td> <td>2,000</td> </tr> <tr> <td>(4) 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会</td> <td>10月17日</td> <td>1,200</td> </tr> <tr> <td>(5) 巡回駅伝競走大会</td> <td>11月14日</td> <td>300</td> </tr> </table>				スポーツ行事	開催予定日	参加見込み数(人)	(1) 体育大会	5月～6月	4,000	(3) 市民体育祭	7月4日	2,000	(4) 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会	10月17日	1,200	(5) 巡回駅伝競走大会	11月14日	300
スポーツ行事	開催予定日	参加見込み数(人)																	
(1) 体育大会	5月～6月	4,000																	
(3) 市民体育祭	7月4日	2,000																	
(4) 湊酒田つや姫ハーフマラソン大会	10月17日	1,200																	
(5) 巡回駅伝競走大会	11月14日	300																	
主な特定財源	日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 8,000千円																		

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属 R3 教育委員会スポーツ振興課 R2 教育委員会スポーツ振興課								
事 業 名	体育施設整備事業 【継続事業】											
予算額(千円)	27,307	国庫支出金	県支出金	市 債								
				その他 3,345								
				一般財源 8,362								
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策4											
個別計画	一人1スポーツの推進 酒田市スポーツ推進計画(令和元年度～令和11年度)											
上位施策の概要	上位施策の最終成果 スポーツ施設の計画的な整備と適正な管理を進め、安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、競技力の向上や大会誘致による交流人口の拡大を図ること。											
成 果 指 標	【総】スポーツ行事への参加者数(令和4年度) 【個】スポーツ施設の利用者数(令和11年度)			目 標 値 等 37,680人 770,000人								
目 的 ・ 趣 旨	体育施設の修繕や競技用備品を整備し、安全で快適なスポーツ環境の提供や大会誘致等による交流人口の拡大により、生涯スポーツ及び競技スポーツの振興を図る。											
活 動 ・ 手 段 指 標	活動・手段指標			目 標 値 等 年度内事業の完了								
事 業 内 容	○事業内容 体育施設の改修及び備品整備等を実施する。 (1) 主な改修等 ・ 防球ネット設置工事(光ヶ丘野球場) ・ 屋根及び外壁防水改修工事(武道館) ・ 赤松ヒュッテ解体工事(外山キャンプ場) (2) 備品整備 ・ 屋外5.0mプール用レールロープ 10本(光ヶ丘プール) ・ ハードル 16台(陸上競技場) ・ 跳馬テーパー型 2台(国体記念体育館) (体育施設利用実績) <table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>758,144</td> <td>710,779</td> <td>687,104</td> </tr> </table>				年度	H29	H30	R1	人数	758,144	710,779	687,104
年度	H29	H30	R1									
人数	758,144	710,779	687,104									
主な特定財源	日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金 3,345千円 一般単独事業債(市債) 4,000千円 防災対策事業債(市債) 6,600千円 公共施設等適正管理推進事業債(市債) 5,000千円											

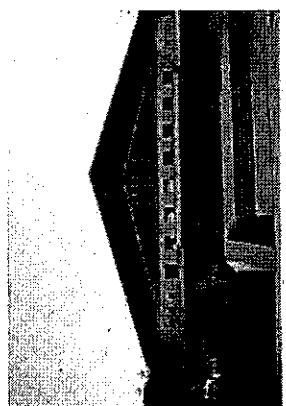


【武道館】

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属 R3 教育委員会スポーツ振興課 R2 一												
事 業 名	体育施設照明設備改修事業 【新規事業】															
予算額(千円)	3,388	国庫支出金	市 債 3,000	その他 388												
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策4 一人1スポーツの推進															
個別計画	酒田市スポーツ推進計画(令和元年度~令和11年度)															
上位施策の概要	上位施策の最終成果 スポーツ施設の計画的な整備と適正な管理を進め、安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、競技力の向上や大会誘致による交流人口の拡大を図ること。															
成 果 指 標	【総】スポーツ行事への参加者数(令和4年度) 【個】スポーツ施設の利用者数(令和11年度)			目 標 値 等 37,680人 770,000人												
目 的 ・ 趣 旨	体育施設の老朽化した照明設備を整備し、安全で快適なスポーツ環境を提供する。															
活 動 ・ 手 段 指 標	照 明 設 備 調 査			目 標 値 等 年度内事業の完了												
事業内容	○事業内容 設置からおよそ40年が経過し、経年劣化がみられる光ヶ丘野球場の屋外照明設備について、LEDへの更新を早急な工事を進める。他の体育施設においても、劣化状況を調査しながら、順次、計画的にLED化を進める。															
所在地	酒田市光ヶ丘三丁目2番23号															
照明設置	昭和55年															
基礎	6基															
利用実績	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>RI</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>182</td> <td>173</td> <td>153</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>14,961</td> <td>10,884</td> <td>13,656</td> </tr> </table>				年度	H29	H30	RI	件数	182	173	153	人数	14,961	10,884	13,656
年度	H29	H30	RI													
件数	182	173	153													
人数	14,961	10,884	13,656													
実施予定	令和3年度 照明設備調査 令和4年度(予定) 設計業務委託、改修工事															
○主な特定財源	地域活性化事業債(市債) 3,000千円															
【光ヶ丘野球場の屋外照明設備】																

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	所 属 R3 教育委員会スポーツ振興課 R2 一												
事 業 名	国体記念体育館改修事業 【継続事業】															
予算額(千円)	72,090	国庫支出金	市 債 68,400	その他 3,690												
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策4 一人1スポーツの推進															
個別計画	酒田市スポーツ推進計画(令和元年度~令和11年度)															
上位施策の概要	上位施策の最終成果 スポーツ施設の計画的な整備と適正な管理を進め、安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、競技力の向上や大会誘致による交流人口の拡大を図ること。															
成 果 指 標	【総】スポーツ行事への参加者数(令和4年度) 【個】スポーツ施設の利用者数(令和11年度)			目 標 値 等 37,680人 770,000人												
目 的 ・ 趣 旨	国体記念体育館の改修を行い、将来にわたり安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、年齢や性別、障がいの有無に関わらずスポーツに親しむようになり、スポーツ行事への参加者の増加につなげる。															
活 動 ・ 手 段 指 標	長寿命化計画用簡易調査業務委託 改修工事の時期、改修方法の検討 改修工事設計業務委託 外部改修工事 内部改修工事(施設の体館を併用)			目 標 値 等 年度内事業の完了												
事業内容	○事業内容 建築からおよそ30年が経過する国体記念体育館について、令和元年度に実施した長寿命化計画用簡易調査の結果に基づき、大規模改修工事のための設計業務を行う。															
所在地	酒田市飯森山二丁目296番地の1															
完成	平成3年6月															
床面積	8,843㎡															
利用実績	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>RI</th> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>2,441</td> <td>2,198</td> <td>2,594</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>92,308</td> <td>88,169</td> <td>88,748</td> </tr> </table>				年度	H29	H30	RI	件数	2,441	2,198	2,594	人数	92,308	88,169	88,748
年度	H29	H30	RI													
件数	2,441	2,198	2,594													
人数	92,308	88,169	88,748													
実施経過	令和元年度 長寿命化計画用簡易調査業務委託 及び予定 令和2年度 改修工事の時期、改修方法の検討 令和3年度 改修工事設計業務委託 令和4年度(予定) 外部改修工事 令和5年度(予定) 内部改修工事(施設の体館を併用)															
○主な特定財源	合併特例事業債(市債) 68,400千円															
【国体記念体育館】																

款 項 目	10款 教育費	5項 保健体育費	1目 スポーツ振興費	R3 教育委員会スポーツ振興課
事業名	体育施設耐震改修事業			R2 一
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
16,267			16,200	67
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策4			
個別計画	一人1スポーツの推進			
上位	酒田市スポーツ推進計画(令和元年度~令和11年度)			
施策	上位施策の最終成果			
の概要	スポーツ施設の計画的な整備と適正な管理を進め、安全で快適なスポーツ環境を提供することにより、競技力の向上や大会誘致による交流人口の拡大を図ること。			
成 果 指 標	目 標 値 等			
【総】スポーツ行事への参加者数(令和4年度)	37,680人			
【個】スポーツ施設の利用者数(令和11年度)	770,000人			
目 的 ・ 趣 旨	耐震診断の結果、耐震改修が必要な体育施設について改修を実施し、安全で快適なスポーツ環境を提供する。			
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等			
年度内事業の完了				
事業内容	旧耐震基準で建築され、耐震診断を実施した結果、耐震改修工事が必要と判断された八幡体育館について、耐震改修並びに機能向上を図るための改修工事を行う。			
所在地	酒田市観音寺宇町後15番地			
完成	昭和49年			
床面積	2,146㎡			
利用実績	年度	H29	H30	R1
	件数	1,327	1,259	1,139
	人数	22,727	20,930	18,833
実施予定	令和3年度	改修工事設計業務委託		
	令和4年度(予定)	改修工事(施設の休館を伴う)		
主な特定財源	16,200千円			
通算対策事業債				
【八幡体育館】				



款 項 目	10款 教育費	4項 生涯学習費	4目 図書館費	R3 教育委員会図書館
事業名	光丘文庫デジタルアーカイブ事業			
予算額(千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他
1,465				1,465
総合計画	第1章 > 政策4 > 施策3			
個別計画	知(地)の拠点としての図書館			
上位	第2期酒田市教育振興基本計画(令和2年度~令和11年度)			
施策	上位施策の最終成果			
の概要	郷土の歴史への関心を高め、貴重な史料を確実に未来の市民に伝えること。			
成 果 指 標	目 標 値 等			
【総】人口1人当たりの入館回数	増加させる			
目 的 ・ 趣 旨	光丘文庫が所蔵する史料等を最大限に活用し、酒田の歴史を学ぶためのコンテンツを追加することによって市民の郷土史への関心を高めるとともに、光丘文庫所蔵資料の価値をわかりやすく全国に発信するもの。			
活 動 ・ 手 段 指 標	目 標 値 等			
光丘文庫デジタルアーカイブ月平均ページ数	30,000ページ			
事業内容	光丘文庫デジタルアーカイブの構築(継続)			
	デジタルアーカイブに以下のコンテンツを追加する。			
	・ 県指定文化財「保定期」、「続保定期」(印旛沼古堀場御普請之部)の追加			
	・ 「酒田大震災写真図」や「大日本職業別詳細図」等の古地図画像の追加			
	・ 電子版「酒田市史年表」の項目追加、修正			
	・ 地元紙「荘内タイムス」(昭和35年~同37年)の電子化			
事業の概要				

款 項 目	10款 教育費	4目 生涯学習費	4目 図書館費	所 属	R3 教育委員会図書館 R2 教育委員会図書館
事 業 名	子ども読書活動推進事業 【継続 事業】				
予算額 (千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
2,011					2,011
上位	第1章 > 政策3 > 施策2、 確かな学力の向上				
施設	第3次酒田市子ども読書活動推進計画 (令和3年度～令和7年度)				
策	上位施策の最終成果				
の	子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくりに取り組みることにより、一人ひとりの子どもが自主的に読書に親しみ、読書習慣を身につけることができるようになり、生涯にわたる読書活動の継続につながる。				
概	【国】 乳児への読み聞かせをよくする保護者の割合 (令和7年度) 96%				
要	【県】 1か月にまったく本を読まない児童生徒の割合 (小学生) (令和7年度) 0%				
	【市】 1か月にまったく本を読まない児童生徒の割合 (中学生) (令和7年度) 0%				
	子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくりに取り組みむとともに、家庭での読書活動を高める。				
	活動・手段指標				
	市立図書館の児童図書年間貸出冊数 (15歳以下の子ども1人当たり)				目 標 値 等
	市立図書館の年間館外貸出冊数 (16～20歳1人当たり)				向上させる
					向上させる
事業内容	<p>(1) ブックスタートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康課、子育て支援課と連携。すべての子ども本との出会いの場であるとともに、読み聞かせによる親子のふれあいの時間の創出によって、子育てへの不安感や負担感を緩和する等子育て支援の役割も担う。 <p>(2) 赤ちゃん読み聞かせ教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックスタートのフォローアップ事業 <p>(3) 土曜おはなし会 (児童図書室お話し会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもと保護者を対象とした図書館ボランティアによる定期的なお話会の開催 <p>(4) 読み聞かせ出張講話</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校や地域に、読み聞かせ・読書推進関係の講師を派遣 <p>(5) 読み聞かせボランティア講座 (ボランティア養成)</p> <p>(6) 絵本作家講演会</p> <p>(7) 親子手作り絵本講座</p> <p>(8) 学校図書館等連携研修会</p> <p>(9) 家読(うちどく)の推進</p> <p>(10) 家読だより、幼児から高校生まで各年代向けの図書リスト配布等による啓発活動</p> <p>(11) 読書手帳の活用</p> <p>(12) 学校巡回文庫の実施</p>				
事業の概要					

款 項 目	10款 教育費	4目 生涯学習費	4目 図書館費	所 属	R3 教育委員会図書館 R2 教育委員会図書館
事 業 名	酒田コミュニケーションポータル (仮称) 整備事業 【継続 事業】				
予算額 (千円)	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
711,817	1,320	442,000	494	268,003	
上位	第6章 > 政策1 > 施策2、 中心市街地における都市機能の再生				
施設	酒田市立地適正化計画 (令和元年度～)、酒田市教育振興基本計画 (令和2年度～令和11年度)				
策	上位施策の最終成果				
の	中心市街地において民間、商業・観光振興施策等と連携し、相乗効果を狙った都市機能の再生・更新を図りエリア内の価値を高めて投資を呼び込み、魅力と賑わいを創出するまちづくりを目指す。				
概	【総】 中心市街地の土地価格の維持 (令和4年度) 49,500円/㎡				
要	【局】 立地適正化計画3指標 (例: 居住誘導区域内の人口密度) (令和12年度) 36.5人/ha				
	酒田駅前再開発において図書館を中核とした公共施設 (酒田駅前交流拠点施設ミラライニ (旧 (仮称) 酒田コミュニケーションポータル)) を整備し、市民の多様な活動及び学習の場を創出することにより、交流促進及び中心市街地の活性化を図る。				
	目的・趣 旨				
	駅前再開発事業の事業進捗率				
	活動・手段指標				目 標 値 等
					100%
事業内容	<p>(1) グランドオープンに向けた事業推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央図書館移転業務委託及び事業調整 分館ネットワーク環境整備 (ミラライニとのネットワーク構築) ミラライニ運営評価審議会の設置 複合施設B棟整備に係る事業調整 各種施設運用 (サービス含む) の検討 <p>(2) ミラライニ先行オープン期間の施設管理及び運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者へ先行オープン業務 (駅前観光案内所等の管理・運営) の委託 木工、刺し子ワークショップの開催 高校生をメインターゲットとした施設活用 <p>(3) 複合施設管理組合運営 (共用部) への参画等</p> <ul style="list-style-type: none"> A棟管理組合運営への参画 B棟管理組合、光の藻全体管理協議会設立に係る民間協議 <p>(4) 複合施設B棟等完成に伴う公共施設土地建物購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営立体駐車場、広場等が対象 公有財産購入費 613,465千円 				
事業の概要	<p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度 現中央図書館移転作業実施 令和4年度 複合施設B棟 (市営立体駐車場) 等完成 令和5年度 新中央図書館移転開始、ミラライニグランドオープン <p>○主な特定財源</p> <ul style="list-style-type: none"> 地方創生推進交付金 (国) 1,320千円 公共施設等適正管理推進事業債 (市債) 442,000千円 				

参 考 资 料

教育委員会

1. 教育長及び委員



教育長 鈴木 和仁



委員 岩間 奏子



委員 渡部 敦



委員 神田 直弥



委員 村上 千景

職 名	氏 名	当初就任年月日	現任期満了予定日
教 育 長	すずき かつひと 鈴 木 和 仁	令和 3年 4月 1日	令和 6年 3月31日
委 員	いわま かなこ 岩 間 奏 子	平成27年11月29日	令和 5年11月28日
委 員	わたべ たかし 渡 部 敦	平成28年11月29日	令和 6年11月28日
委 員	かん だ なおや 神 田 直 弥	平成29年 4月 1日	令和 3年11月28日
委 員	むら にかみ ちかげ 村 上 千 景	平成31年 4月 1日	令和 5年 3月31日

2. 職員の配置状況

(令和3年4月1日現在)

職名	区分		社会教育文化課	スポーツ振興課	図書館	学校給食 共同調理場	小学校	中学校	合計
	企画管理課	学校教育課							
事務	14	7	19	8	11				59
技術	5	11	1	2	1				20
技能 労務職	校務担当						22	7	29
	調理担当					2	12		14
計	19	18	20	10	12	2	34	7	122

※1 酒田市職員定数条例に基づき定数内とされる職員の配置状況。

※2 企画管理課に教育次長を含む。

※3 指導主事、管理栄養士及び埋蔵文化財採用の職員は技術に含む。

3. 令和3年度の教育費予算等

(1) 教育費の財源内訳

(単位：千円)

項 別	令和3年度 当初予算	特 定 財 源			一般財源
		国県支出金	地方債	その他	
教育総務費	1,139,296	5,337	8,700	30,688	1,094,571
小学校費	1,012,230	4,964	5,000	260,258	742,008
中学校費	635,567	3,725	0	166,671	465,171
生涯学習費	1,780,574	40,309	647,100	60,302	1,032,863
保健体育費	555,107	0	103,200	42,773	409,134
合 計	5,122,774	54,335	764,000	560,692	3,743,747

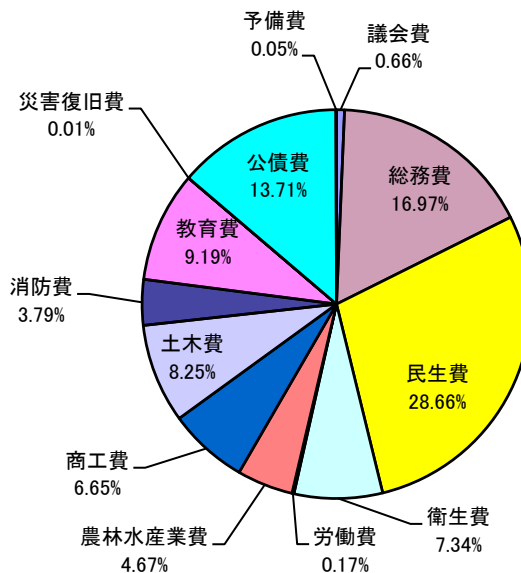
(2) 一般会計歳出と教育費（決算額）の推移

(単位：千円)

年 度	一般会計	教育費	割 合
平成19年度	43,251,271	5,845,627	13.5%
平成20年度	45,281,985	5,135,985	11.3%
平成21年度	52,406,131	6,042,858	11.5%
平成22年度	53,710,066	6,106,427	11.4%
平成23年度	51,954,728	6,476,335	12.5%
平成24年度	49,034,095	5,140,998	10.5%
平成25年度	55,233,430	5,708,534	10.3%
平成26年度	49,550,921	4,287,810	8.7%
平成27年度	55,153,798	3,652,083	6.6%
平成28年度	53,584,833	4,649,827	8.7%
平成29年度	56,472,247	5,101,293	9.0%
平成30年度	53,355,925	5,385,236	10.1%
令和元年度	55,131,337	5,447,768	9.9%
令和2年度	73,683,836	7,211,611	9.8%

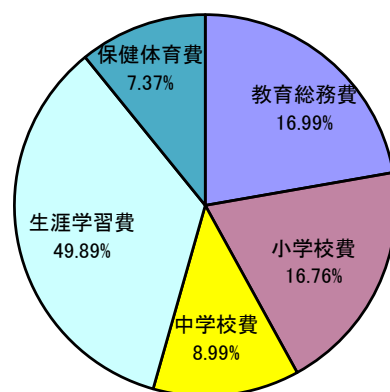
(3) 一般会計予算(歳出)の構成

令和3年度 (単位:千円)		
一般会計	55,730,000	100.00%
議会費	367,474	0.66%
総務費	9,459,923	16.97%
民生費	15,909,529	28.55%
衛生費	4,089,132	7.34%
労働費	92,610	0.17%
農林水産業費	2,602,334	4.67%
商工費	3,703,986	6.65%
土木費	4,596,549	8.25%
消防費	2,113,229	3.79%
教育費	5,122,774	9.19%
災害復旧費	3,000	0.01%
公債費	7,639,460	13.71%
予備費	30,000	0.05%



(4) 教育費予算(歳出)の構成

令和3年度 (単位:千円)		
教育費	5,122,774	100.00%
教育総務費	1,139,296	22.24%
小学校費	1,012,230	19.76%
中学校費	635,567	12.41%
生涯学習費	1,780,574	34.76%
保健体育費	555,107	10.84%



(5) 教育関係基金状況

名称	目的	(単位:千円)		
		元年度末 現在高	2年度末 現在高	
教育振興基金	小林信太郎氏、小林てつ氏、石原孝吉氏及び京野彰氏の遺志に基づく寄附金等をもって、教育振興及び文化芸術の資金に充てる。	33,578	53,949	
白崎資金調整基金	白崎重弥氏の遺志に基づき、教育振興の資金に充てる。	16,300	16,316	
茜谷義務教育基金	茜谷五市郎氏の寄附金をもって、小中学校の図書購入の資金に充てる。	17,100	13,675	
中村ものづくり基金	中村恒也氏の寄附金をもって、ものづくり振興の資金に充てる。	18,146	18,164	
希望ホール振興基金	市民会館の整備、設備及び事業活動充実のための資金に充てる。	131,033	133,914	
芸術文化振興基金	芸術文化の振興のための資金に充てる。	11,000	9,160	
茂木マラソン基金	茂木善作氏の遺志に基づく寄附金をもって、マラソン選手養成のための資金に充てる。	1,000	1,000	
奨学基金	奨学資金の貸与事務を円滑にすることに資する資金に充てる。	29,652	0	※統合

※小林教育振興基金、石原教育振興基金、義務教育奨学基金、京野教育振興基金、阿部次郎文化賞基金及び庄内文化賞基金は令和元年度に、奨学基金(現金のみ)は令和2年度に教育振興基金に統合。(奨学基金の貸付金は一般会計に承継)

4. 教育施設一覧表（学校教育施設）

（1）所在地・学級数等

《小学校》

（令和3年5月1日現在）

学校名	所在地	電話	学級数	児童数	教員数
酒田市立琢成小学校	栄町10-8	22-9731	8	167	14
酒田市立浜田小学校	浜田一丁目5-46	22-9535	9	200	16
酒田市立若浜小学校	若浜町1-1	23-4138	15	343	21
酒田市立富士見小学校	富士見町二丁目10-1	24-6791	15	355	23
酒田市立亀ヶ崎小学校	亀ヶ崎二丁目3-55	22-0455	20	447	29
酒田市立松原小学校	亀ヶ崎五丁目8-25	23-8080	22	494	30
酒田市立松陵小学校	住吉町9-36	33-0627	12	241	16
酒田市立泉小学校	東泉町四丁目4-1	26-3206	15	307	21
酒田市立飛島小学校	飛島字中村甲283	96-3009	0	0	0
酒田市立西荒瀬小学校	宮海字新林660	34-2004	8	123	12
酒田市立新堀小学校	木川字アラコウヤ32	93-2002	8	64	14
酒田市立広野小学校	広野字中通53	92-3003	6	74	10
酒田市立浜中小学校	浜中字上村370-2	92-2011	7	60	11
酒田市立黒森小学校	黒森字一の木450	92-2019	6	35	11
酒田市立十坂小学校	坂野辺新田字地続山987-1	31-0057	9	193	14
酒田市立宮野浦小学校	宮野浦一丁目11-1	31-2287	15	349	21
酒田市立平田小学校	荻島字面桜8	22-3014	7	133	12
酒田市立鳥海小学校	本楯字前田94-1	28-2713	7	148	12
酒田市立一條小学校	寺田字沖1-1	64-2031	7	66	12
酒田市立八幡小学校	観音寺字古楯1-1	64-3737	7	130	11
酒田市立松山小学校	山寺字見初沢157-1	62-2233	7	107	11
酒田市立田沢小学校	田沢字小平34-2	54-2742	3	20	6
酒田市立南平田小学校	飛鳥字腰巻99	52-2009	10	210	14
小学校計23校			223	4,266	341

※教員数には兼務者を含まない。

《中学校》

（令和3年5月1日現在）

学校名	所在地	電話	学級数	生徒数	教員数
酒田市立第一中学校	住吉町10-70	33-1122	16	380	30
酒田市立第二中学校	新橋四丁目19-3	22-1359	12	298	23
酒田市立第三中学校	松原南13-1	22-1029	20	515	36
酒田市立第四中学校	錦町一丁目32-1	31-0911	18	428	37
酒田市立第六中学校	下安町13-1	22-0666	15	352	30
酒田市立飛島中学校	飛鳥字中村甲283	96-3009	0	0	0
酒田市立鳥海八幡中学校	小泉字前田91-1	64-2063	13	228	23
酒田市立東部中学校	飛鳥字堂之後30	52-2042	12	215	22
中学校計8校			106	2,416	201

※教員数には兼務者を含まない。

(2) 面積・教室数等

《小学校》

(令和3年5月1日現在)

学校名	敷地面積		建物面積		保有教室数		プール 保有状況
	建物敷地	グラウンド	校舎	屋内運動場	普通教室	特別教室	
酒田市立琢成小学校	7,753	13,015	4,436	1,187	8	13	有
酒田市立浜田小学校	13,497	10,400	5,809	1,532	9	12	有
酒田市立若浜小学校	10,545	11,805	3,539	1,479	15	7	有
酒田市立富士見小学校	11,549	11,855	4,932	1,085	15	8	有
酒田市立亀ヶ崎小学校	11,018	12,872	5,860	1,613	20	9	有
酒田市立松原小学校	9,370	15,135	6,340	1,273	22	9	有
酒田市立松陵小学校	11,878	11,151	4,162	1,458	12	9	有
酒田市立泉小学校	10,898	13,092	4,884	1,131	15	10	有
酒田市立飛島小学校	783	1,402	754	134	0	0	無
酒田市立西荒瀬小学校	8,339	12,984	3,365	1,146	8	5	有
酒田市立新堀小学校	11,958	9,945	2,652	1,189	8	6	有
酒田市立広野小学校	7,883	6,269	2,100	996	6	7	有
酒田市立浜中小学校	13,414	11,007	2,578	1,036	7	6	有
酒田市立黒森小学校	6,343	9,534	2,305	1,051	6	6	有
酒田市立十坂小学校	14,232	10,828	3,751	1,105	9	9	有
酒田市立宮野浦小学校	6,749	8,347	5,495	1,108	15	12	有
酒田市立平田小学校	9,744	13,500	3,260	1,504	7	9	有
酒田市立鳥海小学校	12,037	21,573	3,404	1,140	7	9	有
酒田市立一條小学校	6,049	8,610	2,090	944	7	4	有
酒田市立八幡小学校	11,636	10,695	4,159	1,312	7	7	有
酒田市立松山小学校	6,614	7,548	3,488	1,160	8	7	有
酒田市立田沢小学校	5,940	6,764	1,359	448	3	5	有
酒田市立南平田小学校	15,853	14,730	4,009	1,570	11	6	有
小学校計23校	224,082	253,061	84,731	26,601	225	175	

《中学校》

(令和3年5月1日現在)

学校名	敷地面積		建物面積		保有教室数		プール 保有状況
	建物敷地	グラウンド	校舎	屋内運動場	普通教室	特別教室	
酒田市立第一中学校	10,472	14,574	5,318	1,945	16	11	無
酒田市立第二中学校	8,980	14,145	5,401	1,556	12	12	無
酒田市立第三中学校	11,200	12,218	6,586	1,687	20	15	無
酒田市立第四中学校	13,435	14,649	7,337	2,078	18	17	無
酒田市立第六中学校	9,737	19,180	5,333	1,283	15	12	無
酒田市立飛島中学校	1,784	9,065	754	608	0	0	無
酒田市立鳥海八幡中学校	6,548	21,594	3,526	1,648	13	12	無
酒田市立東部中学校	13,487	23,976	4,083	1,838	12	11	無
中学校計8校	75,643	129,401	38,338	12,643	106	90	

5. 教育施設一覧表（その他の学校施設）

《特別支援学校》

学 校 名	所 在 地	電 話
県立酒田特別支援学校	宮海字新林307	34-2019

《高等学校》

学 校 名	所 在 地	電 話	全・定別
県立酒田東高等学校	亀ヶ崎一丁目3-60	22-0456	全日制
県立酒田西高等学校	東泉町五丁目9-5	22-0254	全日制
	北新町一丁目1-57	21-2311	定時制
県立酒田光陵高等学校	北千日堂前字松境7-3	28-8833	全日制
酒田南高等学校	浜田一丁目3-47	22-4733	全日制
和順館高等学校	南千日町4-50	26-1670	通信制

《大学・専修学校》

学 校 名	所 在 地	電 話	学 科
東北公益文科大学	飯森山三丁目5-1	41-1111	1
市立酒田看護専門学校	中町三丁目7-16	24-2260	1
酒田調理師専門学校	幸町二丁目10-12	22-0397	2

6. 高等学校卒業後の状況

（令和2年5月1日現在）

	卒業生総数		大学等進学		専修学校進学者		就職		その他	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
酒田市	897	100	384	42.8	189	21.1	294	32.8	30	3.3
山形県	9,791	100	4,515	46.1	2,157	22.0	2,755	28.1	364	3.7
全国	1,037,284	100	578,941	55.8	219,995	21.2	184,842	17.8	53,506	5.2

7. 児童・生徒数等の推移

(1) 児童・生徒数の推移

(各年度5月1日現在)

	小 学 校			中 学 校			備 考
	男	女	計	男	女	計	
平成17年度	3,546	3,272	6,818	1,796	1,748	3,544	
平成18年度	3,365	3,215	6,580	1,829	1,721	3,550	
平成19年度	3,254	3,140	6,394	1,809	1,696	3,505	
平成20年度	3,184	3,122	6,306	1,778	1,662	3,440	
平成21年度	3,108	3,070	6,178	1,733	1,625	3,358	
平成22年度	3,011	3,014	6,025	1,693	1,576	3,269	
平成23年度	2,892	2,932	5,824	1,711	1,549	3,260	
平成24年度	2,818	2,846	5,664	1,588	1,555	3,143	
平成25年度	2,704	2,753	5,457	1,518	1,526	3,044	
平成26年度	2,626	2,647	5,273	1,417	1,539	2,956	
平成27年度	2,540	2,585	5,125	1,457	1,468	2,925	
平成28年度	2,454	2,499	4,953	1,440	1,448	2,888	
平成29年度	2,390	2,427	4,817	1,416	1,358	2,774	
平成30年度	2,336	2,333	4,669	1,300	1,335	2,635	
令和元年度	2,315	2,230	4,545	1,224	1,262	2,486	
令和2年度	2,251	2,149	4,400	1,185	1,240	2,425	
令和3年度	2,179	2,087	4,266	1,210	1,206	2,416	

※平成17年度は旧1市3町の合計

(2) 教員数の推移

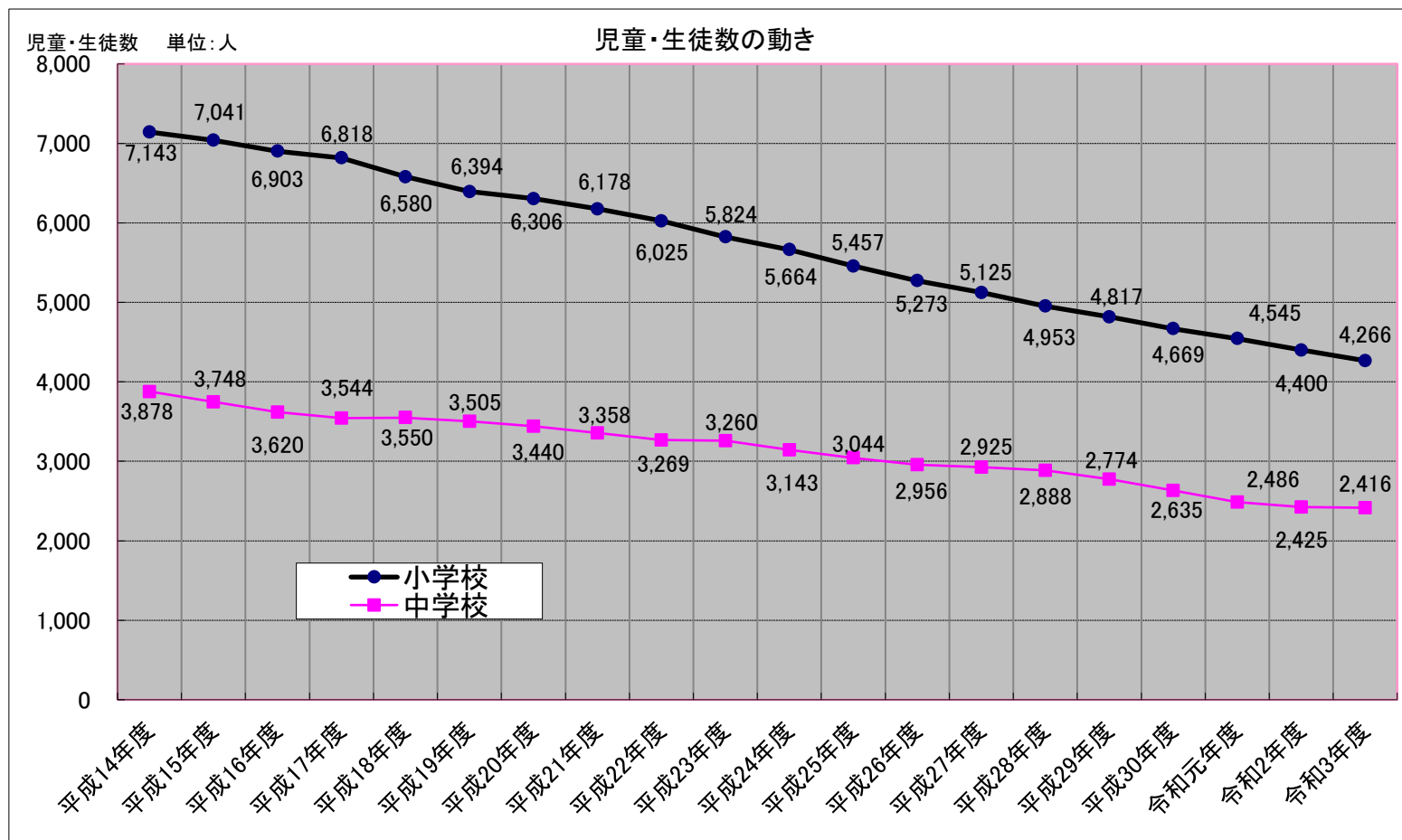
(各年度5月1日現在)

	小 学 校			中 学 校			備 考
	男	女	計	男	女	計	
平成17年度	176	267	443	143	103	246	
平成18年度	172	258	430	137	106	243	
平成19年度	172	250	422	140	103	243	
平成20年度	171	257	428	139	102	241	
平成21年度	174	266	440	142	108	250	
平成22年度	180	262	442	137	106	243	
平成23年度	181	243	424	134	108	242	
平成24年度	180	243	423	127	103	230	
平成25年度	176	230	406	124	99	223	
平成26年度	167	220	387	122	91	213	
平成27年度	169	220	389	121	94	215	
平成28年度	160	218	378	116	97	213	
平成29年度	151	216	367	115	93	208	
平成30年度	147	217	364	109	92	201	
令和元年度	143	208	351	106	98	204	
令和2年度	141	205	346	105	93	198	
令和3年度	136	205	341	105	96	201	

※教員数は、兼務者を含まない。

※平成17年度は旧1市3町の合計

(3) 児童・生徒の動き



※平成17年度以前は旧1市3町の合計

(4) 小中学校別 児童・生徒数、学級数の推計

(教育人口統計を基に作成。網掛けは複式学級)

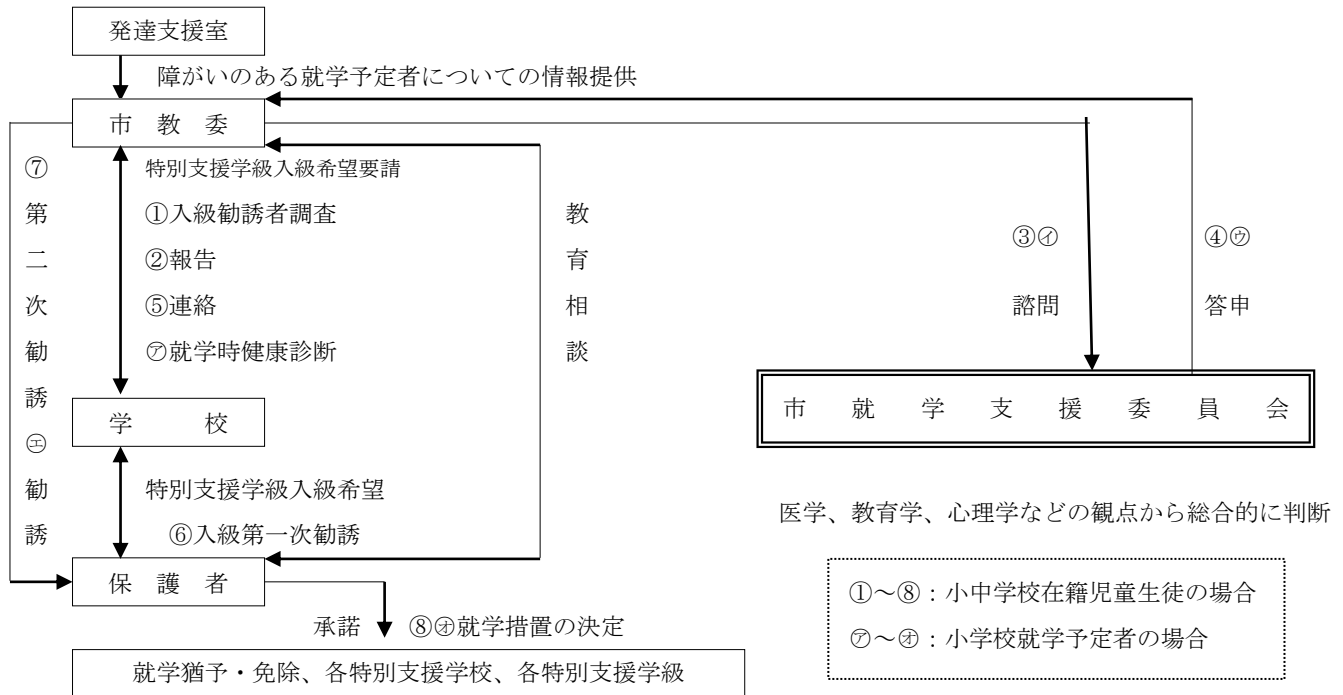
	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
1 琢成小	164	6	159	6	170	7	161	7	164	7	149	7	138	7
2 浜田小	198	7	192	7	178	7	172	7	163	7	155	6	147	6
3 若浜小	337	12	347	12	333	12	350	12	334	12	334	12	317	12
4 富士見小	347	13	324	12	317	12	312	12	297	12	296	12	278	12
5 亀ヶ崎小	439	17	459	17	446	17	451	17	436	16	408	15	395	14
6 松原小	488	19	456	18	453	18	468	18	470	18	476	18	459	18
7 松陵小	235	10	236	10	226	10	218	10	195	9	185	8	192	8
8 泉小	297	12	302	12	294	12	303	12	296	12	303	12	293	11
9 飛島小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 西荒瀬小	120	6	122	6	120	6	116	6	109	6	94	6	86	6
11 新堀小	62	6	56	5	51	5	54	5	46	4	50	5	53	4
12 広野小	74	6	67	6	58	6	55	5	55	5	51	5	47	5
13 浜中小	59	6	59	6	52	6	60	5	58	5	55	5	51	4
14 黒森小	33	4	40	4	38	4	34	3	30	3	29	3	26	3
15 十坂小	186	6	179	6	181	6	167	6	160	6	154	6	135	6
16 宮野浦小	346	13	327	12	332	12	308	12	283	12	266	11	262	11
17 平田小	132	6	134	6	137	6	131	6	130	6	127	6	125	6
18 鳥海小	147	6	145	6	133	6	135	6	121	6	124	6	116	6
19 一條小	64	5	58	5	61	5	58	5	66	6	62	6	59	6
20 八幡小	129	6	123	6	114	6	108	6	101	6	82	6	75	6
21 松山小	106	6	110	6	112	6	95	6	91	6	94	6	82	6
22 田沢小	20	3												
23 南平田小	205	8	209	8	214	9	209	9	200	9	193	8	186	8
通常学級計	4,188	183	4,104	176	4,020	178	3,965	175	3,805	173	3,687	169	3,522	165
1 第一中	375	13	352	12	324	11	320	11	309	11	325	12	308	11
2 第二中	292	10	289	10	299	11	289	10	301	11	297	11	296	11
3 第三中	510	17	508	17	514	17	482	16	462	15	434	14	465	15
4 第四中	419	15	424	15	416	15	411	14	408	14	385	13	367	13
5 第六中	340	11	375	12	366	12	355	12	333	12	319	12	313	12
6 飛島中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 鳥海八幡中	221	9	215	8	209	8	187	7	170	7	156	6	157	6
8 東部中	212	9	219	9	201	8	192	7	164	6	158	6	146	6
通常学級計	2,369	84	2,382	83	2,329	82	2,236	77	2,147	76	2,074	74	2,052	74

・令和3年度分は、学級編制表（令和3年5月1日）による。・令和4年度以降の推計は、3年度学級編制の数字に住民基本台帳（令和3年3月31日現在）の人数を加味して算出
 ・学級数は、国の少人数学級制度の現状維持及び教育山形「さんさん」プランの継続を前提に算出
 ・特別支援学級の学級数は加味しないで算出

8. 特別支援教育

(1) 就学支援

障がいのある児童生徒に適切な教育を行うため、専門家の意見を聴き総合的に判断し就学先を決定する。



(2) 就学状況

《小学校》

(令和3年4月1日現在)

	在籍数					在籍数
	知的	情緒	肢体	病弱	聴覚	
琢成	1	2	0	0	0	3
浜田	1	1	0	0	0	2
若浜	4	1	1	0	0	6
富士見	3	5	0	0	0	8
亀ヶ崎	4	2	0	2	0	8
松原	1	4	0	1	0	6
松陵	3	3	0	0	0	6
泉	8	2	0	0	0	10
西荒瀬	2	0	0	0	1	3
広野	0	0	0	0	0	0
新堀	1	1	0	0	0	2
浜中	0	0	0	0	1	1
黒森	1	0	1	0	0	2
十坂	4	3	1	0	0	8
宮野浦	2	1	0	0	0	3
平田	1	0	0	0	0	1
鳥海	0	1	0	0	0	1
一條	0	1	1	0	0	2
八幡	0	1	0	0	0	1
松山	1	0	0	0	0	1
田沢	0	0	0	0	0	0
南平田	4	0	0	0	1	5
合計	41	28	4	3	3	79

《中学校》

(令和3年4月1日現在)

	在籍数						在籍数
	知的	情緒	肢体	病弱	聴覚	弱視	
第一中	3	1	1	0	0	0	5
第二中	5	0	1	0	0	0	6
第三中	1	3	0	1	0	0	5
第四中	6	2	0	1	0	0	9
第六中	8	3	1	0	0	0	12
鳥海八幡	2	3	1	1	0	0	7
東部	1	1	0	1	0	0	3
合計	26	13	4	4	0	0	47

(3) 通級指導教室

(令和3年4月1日現在)

教室名	通級児童数
ことばの教室【浜田小】	41
スマイル教室【宮野浦小】	10

9. 小中学生の体位

令和2年度

			身長 (cm)			体重 (kg)		
性別	校種別	学年	酒田市	山形県	全国	酒田市	山形県	全国
男子	小学校	1	117.7	117.6	117.5	22.3	22.3	22.0
		2	124.3	123.2	123.5	26.0	24.9	24.9
		3	129.8	129.2	129.1	29.2	28.7	28.4
		4	135.2	134.6	134.5	32.9	32.2	32.0
		5	141.0	140.8	140.1	37.2	37.0	35.9
		6	147.1	147.4	146.6	41.3	41.9	40.4
	中学校	1	155.1	154.8	154.3	46.5	47.3	45.8
		2	162.4	162.4	161.4	52.5	53.0	50.9
		3	167.1	166.8	166.1	56.1	57.1	55.2
女子	小学校	1	117.3	117.1	116.7	22.3	21.7	21.5
		2	123.0	123.5	122.6	24.9	25.0	24.3
		3	130.0	129.7	128.5	28.9	28.6	27.4
		4	135.3	135.4	134.8	31.7	31.5	31.1
		5	142.1	142.3	141.5	36.1	36.2	35.4
		6	148.2	148.2	148.0	40.8	41.0	40.3
	中学校	1	152.9	153.2	152.6	45.1	45.5	44.5
		2	155.7	155.5	155.2	49.1	49.3	47.9
		3	157.0	157.1	156.7	51.8	51.2	50.2

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、健康診断の実施時期が当該年度末まで延長されました。このため、本集計結果は、成長の著しい時期において、測定時期を異にしたデータを集計したものとなっており、過去の数値と単純比較することはできませんのでご注意ください。



10. 社会教育施設・スポーツ施設の利用状況

(1) 生涯学習施設等の利用状況

(令和2年度)

	施設名	利用者数(人)
1	中央公民館	62,069
2	公益研修センター	51,677
3	出羽遊心館	3,937
4	ひらた生涯学習センター	7,057
5	ひらた農村コミュニティカレッジ	4,745
6	松山城址館	3,298
7	清亀園	389
8	とびしま総合センター	1,736
9	眺海の森天体観測館	650
合 計		135,558

(2) 文化施設の利用状況

(令和2年度)

	施設名	利用者数(人)
1	酒田市民会館(希望ホール)	18,666
2	酒田市美術館	26,183
3	酒田市写真展示館(土門拳記念館)	9,781
4	旧燈屋	2,389
5	酒田市立資料館	3,493
6	酒田市松山文化伝承館	3,243
7	旧阿部家	1,996
8	旧白崎医院	1,200
9	阿部記念館	82
合 計		67,033

(3) スポーツ施設の利用状況

(令和2年度)

	施設名	利用者数(人)		施設名	利用者数(人)
1	国体記念体育館	41,967	22	南遊佐グラウンドゴルフ場	4,776
2	親子スポーツ会館	30,458	23	光ヶ丘プール	130,275
3	武道館	28,845	24	八森野球場	1,522
4	相撲場	0	25	八森サッカー場	352
5	亀ヶ崎記念会館	8,787	26	八森パークゴルフ場	11,000
6	市体育館	2,474	27	八森グラウンドゴルフ場	4,122
7	スワンスケートリンク	12,338	28	八森ゴルフ練習場	27,299
8	勤労者体育センター	14,048	29	八森キャンプ場	103
9	南体育館	7,474	30	外山キャンプ場	702
10	鳥海地区体育館	245	31	松山多目的運動広場	2,269
11	八幡体育館	14,304	32	松山スキー場	1,972
12	修道館	487	33	松山人工ゲレンデ	52
13	松山体育館	4,139	34	平田スキー場	164
14	平田B&G体育館	10,710	35	眺海の森グラウンド	1,008
15	平田体育館	7,197	36	平田B&Gプール	1,773
16	光ヶ丘陸上競技場	45,219	37	平田B&Gヨットカヌー場	1,103
17	光ヶ丘野球場	6,231	38	国体記念テニスコート	14,869
18	屋内練習場	11,903	39	光ヶ丘テニスコート	22,363
19	光ヶ丘球技場	14,122	40	八森テニスコート	1,360
20	光ヶ丘多目的グラウンド	2,166	41	眺海の森テニスコート	8
21	飯森山多目的グラウンド	4,045	42	高畑グラウンドゴルフ場	3,128
				合 計	497,379

(4) 市立図書館利用状況

《令和2年度館別利用状況》

(単位:日/人/冊)

項目	開館日数	入館者数	1ヶ月当入館者数	貸出人数	1ヶ月当貸出人数	貸出冊数	1ヶ月当貸出冊数
中央図書館	297	145,445	12,120	91,664	7,639	272,191	22,683
児童図書室	297	19,296	1,608	9,979	832	45,166	3,764
ひらた図書センター	288	39,394	3,283	16,615	1,385	51,713	4,309
八幡分館	288	11,892	991	6,848	571	15,743	1,312
松山分館	285			367	31	633	53
光丘文庫	204	1,150	96				

《年度別利用状況(中央図書館)》

(単位:日/人/冊)

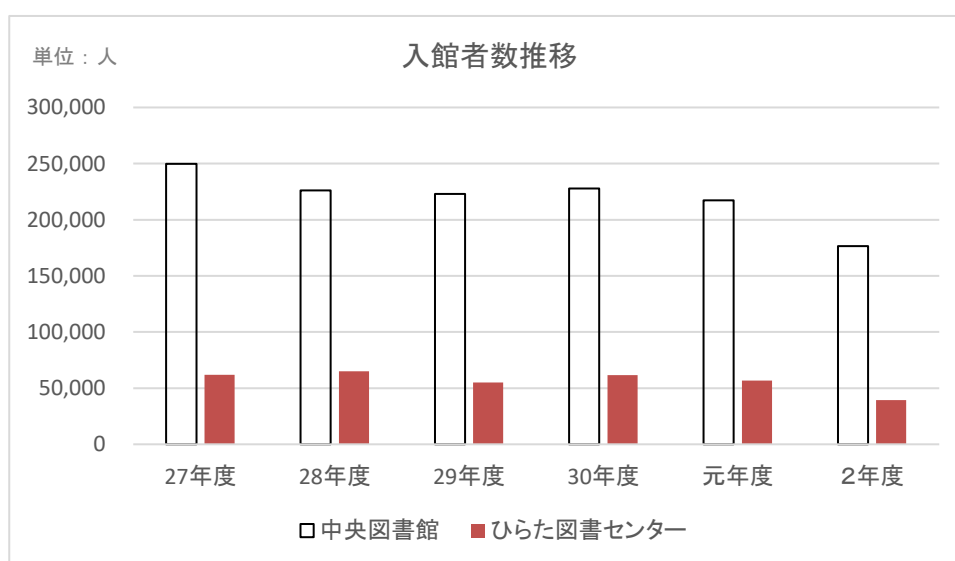
年度	開館日数	入館者数	貸出人数	貸出冊数	入館者 1日平均	貸出人数 1日平均	貸出冊数 1日平均
平成27	335	249,670	123,701	448,113	745	369	1,338
28	310	226,147	112,349	416,272	730	362	1,343
29	328	222,980	110,926	417,072	680	338	1,272
30	341	227,710	110,590	407,430	668	324	1,195
令和元	323	217,275	105,712	393,327	673	327	1,218
2	297	176,633	108,858	333,733	595	367	1,124

※貸出人数、貸出冊数は中央図書館・児童図書室・八幡分館・松山分館の合計を記載。

《年度別利用状況(ひらた図書センター)》

(単位:日/人/冊)

年度	開館日数	入館者数	貸出人数	貸出冊数	入館者 1日平均	貸出人数 1日平均	貸出冊数 1日平均
平成27	337	62,021	17,264	70,565	184	51	209
28	344	64,942	18,153	75,919	189	53	221
29	318	55,193	15,635	65,561	174	49	206
30	343	61,481	17,333	70,844	179	51	207
令和元	325	56,708	16,637	68,718	174	51	211
2	288	39,394	16,615	51,713	137	58	180



1.1. 市立図書館 蔵書

(1) 分類別蔵書冊数

(令和3年3月31日現在 単位：冊)

	中央図書館	児童図書室	八幡分館	松山分館	ひらた図書センター	光丘文庫	計
0. 総記	13,184	60	453	130	1,353	3,401	18,581
1. 哲学	7,580	0	515	65	1,871	3,378	13,409
2. 歴史	19,025	0	1,343	152	3,601	5,697	29,818
3. 社会	32,115	99	1,331	148	5,019	6,566	45,278
4. 自然	17,955	13	1,561	135	4,702	2,089	26,455
5. 技術	17,589	4	1,902	344	6,445	928	27,212
6. 産業	9,041	0	662	106	1,832	1,519	13,160
7. 芸術	22,252	2	1,199	97	4,916	1,550	30,016
8. 言語	3,909	0	373	23	971	670	5,946
9. 文学	71,063	7	7,831	2,144	18,779	6,551	106,375
絵本	176	16,417	2,791	1,088	7,975	0	28,447
紙芝居	0	1,198	182	0	566	0	1,946
雑誌	6,445	93	102	0	1,290	20,253	28,183
新聞	3,953	0	0	0	0	483	4,436
視聴覚資料	3,171	223	3	0	389	2	3,788
点字資料	31	0	0	0	0	917	948
計	227,489	18,116	20,248	4,432	59,709	54,004	383,998

※光丘文庫の蔵書内訳は、図書館システムに登録されている資料のみの数値。

このため、国書・漢籍・諸家文書・寄贈図書に分類される資料（約7万9千点）、写真・掛軸・巻物類（約900点）、古い新聞（約8万7千部）などは含まれていない。

1.2. 指定文化財及び登録有形文化財の状況

(令和3年4月1日現在)

区分		合計			
		国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	建造物	0	3	5	8
	絵画	0	24	66	90
	彫刻	0	1	8	9
	工芸品	2	12	34	48
	書跡	1	9	37	47
	典籍	0	5	18	23
	古文書	2	0	48	50
	考古資料	0	0	27	27
	歴史資料	0	3	18	21
	小計	5	57	261	323
無形文化財	演劇	0	0	0	0
	音楽	0	0	0	0
	工芸技術	0	0	1	1
	小計	0	0	1	1
民俗文化財	無形民俗文化財	0	3	12	15
	有形民俗文化財	0	0	16	16
	小計	0	3	28	31
史跡名勝天然記念物	史跡	4	3	12	19
	名勝	2	0	4	6
	天然記念物	1	6	11	18
	小計	7	9	27	43
指定文化財計		12	69	317	398
登録有形文化財		3			3
総計		15	69	317	401

13. 酒田市教育のあゆみ

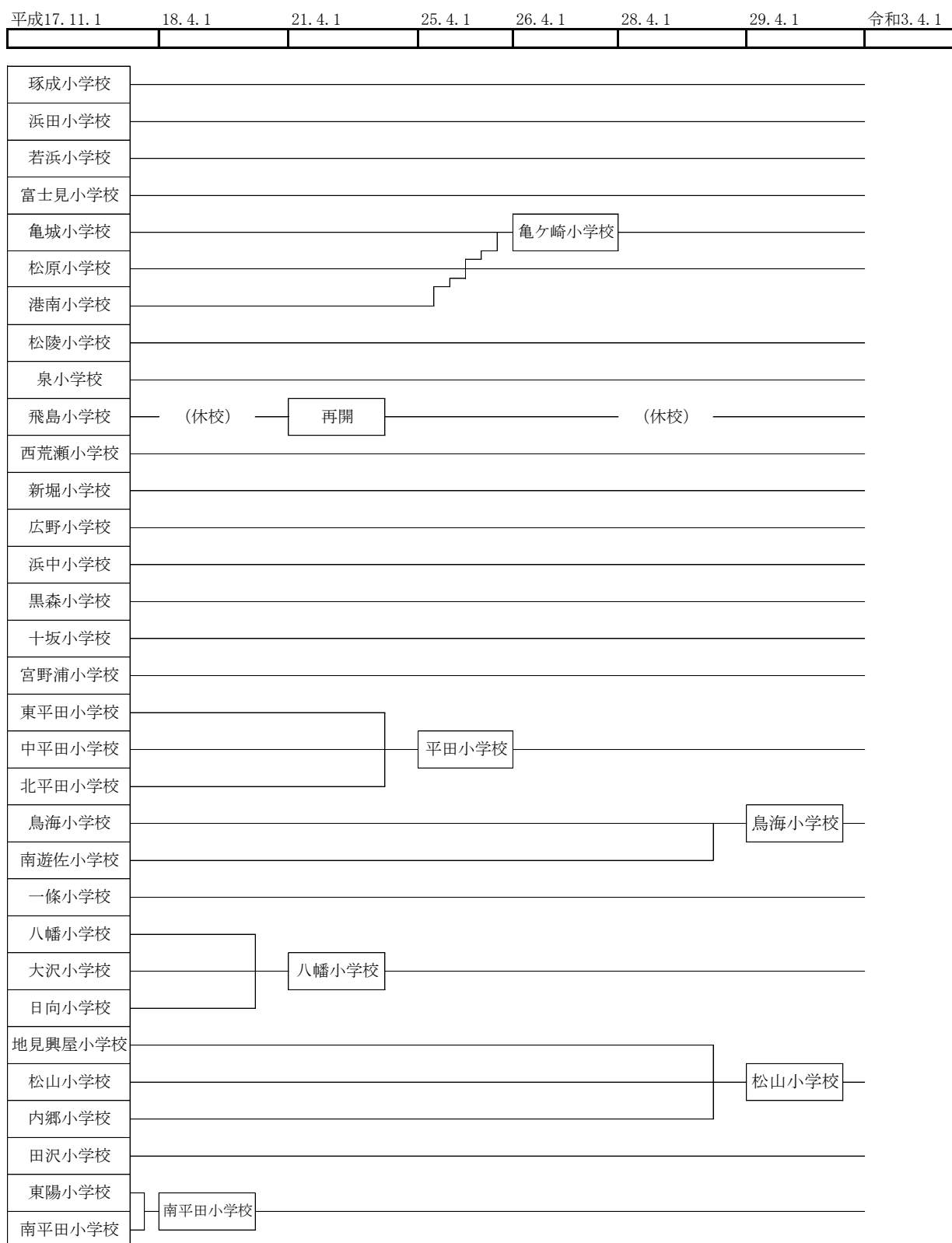
年号 (西暦)	月	できごと
平成17年 (2005)	11	酒田市・八幡町・松山町・平田町 1市3町合併 新「酒田市」として新たな船出 広野公民館、文部科学大臣表彰 受賞
平成18年 (2006)	3	酒田市公益研修センター多目的 ホール完成
	4	東陽小学校と南平田小学校が統合 し、新「南平田小学校」スタート
	5	市民憲章・市の木・花・鳥決定
	6	市光ヶ丘プール（屋外プール） 完成
	9	内郷小学校校舎改築
平成19年 (2007)	4	松原小学校において学校給食の 民間委託の実施
	11	西荒瀬公民館、文部科学大臣表彰 受賞
	12	中央図書館とひらた図書センタ ーとの統合システム稼動
平成21年 (2009)	4	八幡小学校、大沢小学校、日向小 学校が統合し、新「八幡小学校」 がスタート
	4	飛島小学校再開（児童2名）
	4	地区公民館廃止
平成22年 (2010)	1	八幡タウンセンターに八幡総合支 所、市立図書館八幡分館および観 音寺コミュニティセンターが移転
	4	鳥海中学校と八幡中学校が統合し 旧八幡中学校校舎で「鳥海八幡 中学校」がスタート
	4	機構改革により、文化（文化財保 護除く）、スポーツ（学校体育除 く）部門が市長部局に移管される
	4	酒田市教育振興基本計画策定
平成23年 (2011)	3	第一中学校校舎改築
	4	第一中学校と第五中学校が統合し、 新「第一中学校」がスタート
	4	飛島中学校再開（生徒1名）
	4	県立酒田特別支援学校が開校

年号 (西暦)	月	できごと
平成24年 (2012)	3	酒田中央高等学校閉校
	3	県立酒田北高等学校、酒田商業高 等学校、酒田工業高等学校閉校
	3	旧鳥海中学校校舎を改築し、鳥海 小学校が移転
	3	松原小学校校舎・屋内運動場改築
	3	第二中学校校舎・屋内運動場改築
	4	第二中学校と平田中学校が統合し、 新「第二中学校」がスタート
	4	県立酒田光陵高等学校開校
平成25年 (2013)	4	東平田小学校、中平田小学校、北 平田小学校が統合し、旧平田中学 校を改築し、「平田小学校」が スタート
平成26年 (2014)	3	亀城小学校校舎改築
	3	飛鳥中学校校舎増築・屋内運動場 改築
	4	亀城小学校と港南小学校が統合し、 「亀ヶ崎小学校」がスタート
	4	（旧県立商業高校へ仮移転）
	4	松山中学校と飛鳥中学校が統合し、 「東部中学校」がスタート
平成27年 (2015)	1	松山城址館完成
	4	新「教育委員会」体制に移行
	6	酒田市教育振興基本計画後期計画 策定
平成28年 (2016)	4	機構改革により、文化（文化財保 護除く）、スポーツ（学校体育除 く）部門が市長部局から教育委員 会に移管される
	10	飛島小学校休校（10/1～）
平成29年 (2017)	4	鳥海小学校に南遊佐小学校が統合
	4	地見興屋小学校、松山小学校、内 郷小学校が統合し、新「松山小学 校」がスタート（旧内郷小校舎を 使用）
	5	旧松山小学校改築・改修工事開始

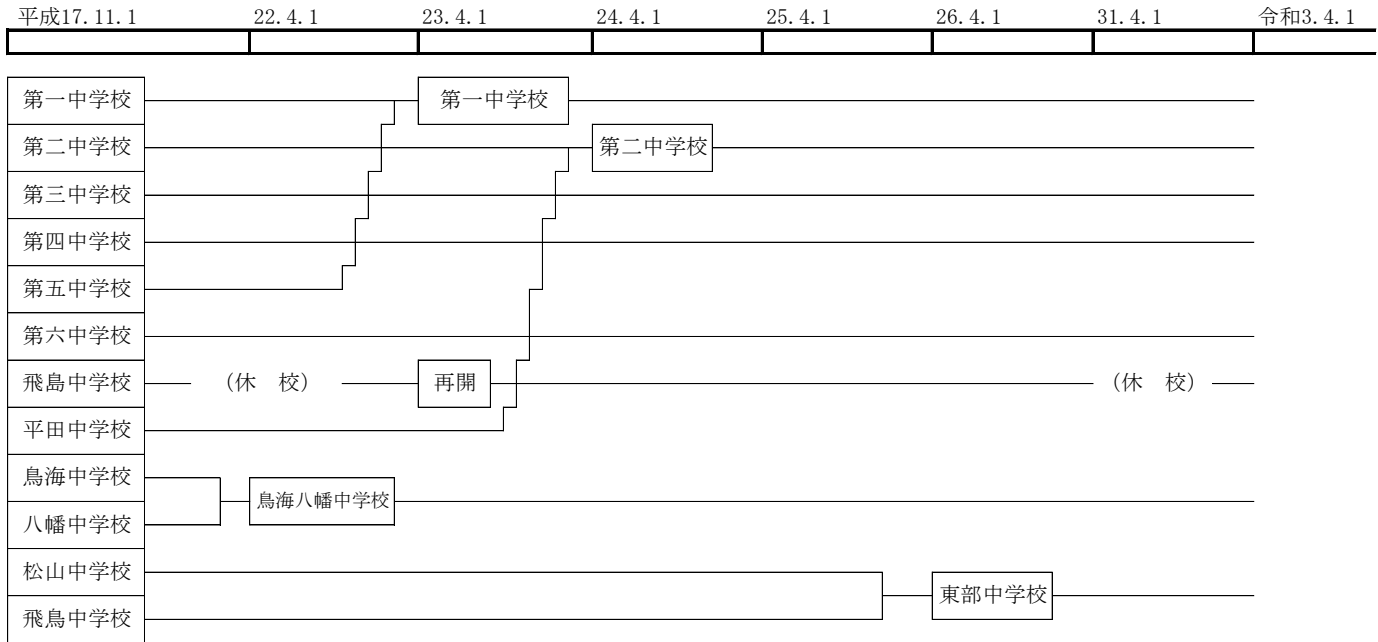
年 号 (西暦)	月	で き ご と
平成30年 (2018)	4	私立天真学園高等学校と酒田南高等学校が統合し、「酒田南高等学校」がスタート
平成31年 (2019)	3	飛島中学校休校
令和元年 (2019)	7	旧松山小学校の改築・改修工事完了
	8	新松山小が山寺地区に移転
令和2年 (2020)	3	小中学校全校普通教室にエアコン設置 第2期酒田市教育振興基本計画策定
令和2年 (2020)	11	酒田駅前交流拠点施設ミライニ 一部機能供用開始
令和3年 (2021)	3	山居倉庫が国指定史跡に指定
	4	G I G Aスクール タブレット教育スタート

1.4. 酒田市立小中学校の移り変わり (平成17年11月1日～令和3年)

(1) 小学校



(2) 中学校



酒田の教育

- 令和3年10月 -

【発行者】酒田市教育委員会

酒田市本町二丁目2番45号

(0234)26-5772